

# 津田塾生のための 留学ハンドブック

Study Abroad Handbook  
Tsuda University 2019

津田塾大学国際センター



# The World Is at Your Door

国際センター長 英語英文学科 准教授 Elizabeth I. Dow

Thank you for your interest in the study abroad programs here at Tsuda University. Our students choose to go abroad for a variety of reasons, from wanting to study a new language or subject matter, to wanting to make friends with people from other cultures and see the world through different lenses. Whatever the reason, the positive outcomes are numerous, including increased language and communication abilities and increased knowledge of not only the host culture but of one's home culture and indeed, oneself.

Research shows that those who have had the experience of studying and living in another culture are particularly good at generating creative ideas and "thinking outside the box." These are the important skills needed in an increasingly diverse society. Along with the recent influx of tourists to Japan, there is also an increasing number of people from other countries choosing to work and live in Japan. With this influx, there is a growing need for citizens, such as teachers, businesswomen, and government workers, who can negotiate cultural differences and help build good relationships. The study abroad experience is one of the best ways to prepare for this important work.

As you make the decision to study abroad, take the time to consider your objectives for this experience. Do you want to increase your language fluency? Do you want to develop your leadership abilities? Do you want to make a difference helping others? Do you want to investigate a definite subject in a certain context? Or do you simply want to experience a culture with different rhythms, values, beliefs and tastes, offering you a larger picture of the world we live in? Considering your objectives is an important step in the study abroad process.

If you do decide to "take the plunge" into a study abroad experience, please take the time to prepare yourself. Do your best to study the language and culture of the country you plan to visit, drop by our Center for International Exchange to get information about your program and talk with students who have already studied abroad. Furthermore, recognize that challenges and culture shock will also be a part of the experience, and they will make you stronger and more interculturally competent as you adjust. With motivation, preparation and determination, the world is at your door!

# 目次

I 留学のすすめ	4
II 協定校留学	
1. 協定校一覧	6
2. 学内選考	8
3. 協定校紹介	9
ブリンマー大学	9
インディアナ大学パーデュー大学インディアナポリス	10
ミネソタ州立大学モアヘッド	11
ランドルフ大学	12
サラール・ロレンス大学	13
スペルマン大学	14
カリフォルニア大学デービス校	15
カンザス大学	16
ウエスタン・ワシントン大学	17
マギル大学	18
アベリストウィス大学	19
ブリストル大学	20
エディンバラ大学	21
ウルバーハンプトン大学	22
ヨーク大学	23
リーズ大学	24
ブレーキング工科大学	25
ブレメン応用科学大学	26
ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ	27
セルジー・ポントワーズ大学	28
オーストラリア国立大学	29
ディーキン大学	30
フィリピン大学	31
梨花女子大学	32
国民大学	33
南京大学海外教育学院	34
香港樹仁大学	35
淡江大学	36
メトロポリタン自治大学	37
日加戦略的留学生交流促進プログラム	38
留学体験記 1 協定校留学（アメリカ スペルマン大学）	39
III 留学のための情報収集	
1. 留学全般	40
2. アメリカ留学	41
3. 英国留学	44
4. その他の国々	45
5. TOEFL®	51

6. IELTS™	52
留学体験記2 (留学したい人のための TOEFL iBT 試験勉強法)	55
7. その他語学能力試験	57
<b>IV 留学に関する学籍と手続き</b>	
1. 「留学」と「休学」の違い	59
2. 「留学」「休学」の手続き	62
3. 科目継続	68
4. 履修登録延期	69
5. 単位認定	69
6. セミナー登録	70
7. 帰国後の手続き	73
8. 4年間で卒業する条件	74
9. 教職課程履修と留学について (学芸学部)	76
<b>V 留学のための奨学金</b>	
1. 津田塾大学の奨学金	77
2. 学外の奨学金	77
留学体験記3 私費留学 (英国 サセックス大学)	80
<b>VI 留学と就職</b>	
1. 留学前の就職活動準備	81
2. 留学中の情報収集	82
3. 帰国後の活動	83
4. 進路決定までのスケジュール	84
5. 4年間で卒業を目指す場合	84
<b>VII 渡航準備</b>	
1. パスポートとビザの申請	85
2. 海外旅行保険	86
3. 健康面について	86
4. その他	87
<b>VIII 危機管理</b>	
1. 留学中の安全対策	88
2. 緊急連絡体制	92
<b>IX 学外学修について</b>	94
<b>X 留学Q&amp;A</b>	98
<b>XI 留学データ</b>	102

# I 留学のすすめ

日本初の女子留学生である津田梅子先生が1900年に女子英学塾を創立して以来、津田塾大学には学びや活動の機会を海外へ求める学生が多い校風があります。グローバル化が進む現代社会で学生時代を過ごす皆さんにはぜひ、在学中に海外留学を経験し、異文化の中で様々な発見をしてもらいたいものです。

本学には協定校留学制度があり、12カ国・地域、29の大学で学ぶ機会があります。協定校留学には定員があり、語学力と成績の基準をクリアし、選考試験を受ける必要があります。協定校留学に参加できない場合、あるいは希望する専攻が協定校では学べない場合には「私費留学」の方法があります。私費留学は一般的に経費がかかりますので、奨学金制度も事前に調べておくといでしょう。

海外留学を想像すると、楽しいことばかりが頭に浮かびますが、長期にわたって海外で勉強するためには強い精神力が必要です。留学の準備を始める前にまず、以下の4点について考えてみてください。

- ◇ 明確な目標
- ◇ 語学力
- ◇ 学力
- ◇ 経済力

留学に対する明確な目標設定は、充実した留学生活を送る上で非常に重要な要素となります。卒業後の進路を踏まえながら、留学して何を学ぶのか、何をしたいのか、なぜ留学が必要なのか、本当に海外に行きたいのか、困難なことがあっても耐え抜くことができるのか、熟考してみましょう。

海外の大学で学ぶためには当然、その国で使われている言語の十分な運用能力が必要です。出願の段階で求められる語学要求点を早めに取得できるよう準備をしてください。

また、語学力だけでなく、大学の授業についていけるだけの学力が必要です。GPAの基準を設けている大学もあります。語学の準備もさることながら、日々の学習を怠ることなく、少なくとも平均以上の成績を修めるよう努力してください。

そして、長期間海外で暮らすということは、経費もかかります。特に欧米諸国は授業料が高い国が多く、物価も東京より高いところもあります。事前にご家族と相談し、奨学金の必要な場合は早めに海外留学のための奨学金制度を調べてください。大きな奨学金ほど締切が早いので注意が必要です。留学先でのアルバイトは国によってはできない場合があります。

留学の準備には長い時間がかかります。右のスケジュールを参考に早めに第一歩を踏み出してください。

## 留学準備の進め方

留学中の学籍・学内の手続き・資金などを確認しておく

	協定校留学の場合	私費留学の場合	留意点
1年～1年半前	プランニング		留学したい国、時期、期間、専攻分野、帰国後の進路など大まかなプランを立てる
	TOEFL、IELTS などを受験する		何度か受験して出願までに要求点をクリアする
	情報を集める		国際センターやインターネット、留学雑誌、留学説明会などを利用して情報収集する
9ヵ月～1年前	協定校留学募集要項を入手する	資料を入手する	協定校留学説明会に参加し、協定校留学にするか、私費留学にするか検討する
6～9ヵ月前	↓ 学内選考試験に出願する	↓	
	↓ 学内選考試験を受験する		
	不合格の場合 ----->	出願する大学を決定する	学内選考試験に不合格になってからでも私費留学は間に合う場合が多い
	合格の場合 ↓	↓	
4～6ヵ月前	派遣先大学へ出願する	出願する	出願書類は不備のないように
	↓ 入学許可証を受け取る		寮の申し込みを早めに
2～3ヵ月前	↓ ビザ申請と渡航準備		本学の留学手続きも忘れないように
	↓ 留学！		

## Ⅱ 協定校留学

津田塾大学では海外の12カ国・地域の29大学と協定を結び、毎年本学学生を1年間または半年間派遣し、協定校からも外国人留学生を受け入れています。いずれも高い教育レベルを誇る大学と協定を交わしており、本学からの派遣学生は整ったサポート体制の下で安心して様々な分野において学ぶことができます。

### 1 協定校一覧

2019年2月現在

国名	協定校	派遣人数	派遣期間	対象
アメリカ	ブリンマー大学	1名	8月～翌5月	*1
	インディアナ大学パーデュー大学インディアナポリス	3名	8月～翌5月(注2)	*2
	ミネソタ州立大学モアヘッド	3名	8月～翌5月	*1
	ランドルフ大学	2名	8月～翌5月(注2)	*1
	サラール・ロレンス大学	1名	8月～翌5月(注2)	*1
	スペルマン大学	1名	8月～翌5月	*1
	カリフォルニア大学デービス校	3名	3月～12月または 3月～翌3月または 9月～翌6月	*2
	カンザス大学	1～3名	8月～翌5月	*1
	ウエスタン・ワシントン大学	2名	4月～翌3月または 9月～翌6月	*1
カナダ	マギル大学	3名	8月～翌4月	*1
英国	アベリストウィス大学(注1)	3名	9月～翌6月	*1
	ブリストル大学(注1)	3名	9月～翌6月(注2)	*1
	エディンバラ大学	3名	9月～翌5月	*1
	ウルバーハンプトン大学	2名	9月～翌5月	*3
	ヨーク大学(注1)	3名	9月～翌3月または翌6月	*1
	リーズ大学	3名	4月～翌1月または7月、8月、 9月～翌1月または6月	*1
スウェーデン	ブレーキング工科大学	3名	8月～翌6月(注2)	*1
ドイツ	ブレーメン応用科学大学	1名	3月～翌2月または 9月～翌7月(注2)	*4
	ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ	2名	10月～翌7月	*5
フランス	セルジー・ポントワーズ大学	2名	9月～翌6月(注2)	*5
オーストラリア	オーストラリア国立大学	3名	2月～11月	*1
	ディーキン大学	3名	語学研修付き:2月～10月 または8月～翌6月 直接入学:2月～10月または 翌2月、または7月～翌6月	
フィリピン	フィリピン大学	1名	8月～翌5月	*1
韓国	梨花女子大学	2名	3月～12月または 9月～翌6月	*1
	国民大学	2名	3月～12月または 9月～翌6月	*2
中国	南京大学海外教育学院	3名	2月～翌1月または 9月～翌6月	*1
	香港樹仁大学	2名	9月～翌5月	*2
台湾	淡江大学	2名	2月～翌1月または 9月～翌6月	*2
メキシコ	メトロポリタン自治大学	2名	9月～翌7月	*1

(注1) 学部によってはさらに高い英語力あるいは GPA を求められる。協定校別の当該年度の募集詳細を参照のこと。

(注2) 半年留学(後期のみ)も可能。

(注3) 各セクションごとの要求点については協定校別の当該年度の募集詳細を参照のこと。

\*1 全学科・全研究科      \*2 学芸学部全学科      \*3 数学科・情報科学科

\*4 情報科学科              \*5 学芸学部全学科・全研究科

# 協定校

日本初の女子留学生のひとりである津田梅子先生が1900年に女子英学塾を創立して以来、津田塾大学には学びや活動の機会を海外へ求める学生が多くいます。この伝統を受け継いで、さらにグローバルに活躍する人材を育てるため、国際センターが設立され、海外の大学・教育研究機関との学術・文化交流を促進しています。協定校留学をはじめとする学生のさまざまな活動を、国際センターが中心となって積極的にサポートしています。

津田塾大学は12カ国・地域の29大学と学生交流に関する協定を結び、毎年約35名の学生を1年または半年間留学生として派遣しています。



① ブリンマー大学 (アメリカ)



② インディアナ大学  
パーデュー大学インディアナ  
ポリス(アメリカ)



③ ミネソタ州立大学  
モアヘッド(アメリカ)



④ ランドルフ大学 (アメリカ)



⑤ サラー・ロレンス大学 (アメリカ)



⑥ スペルマン大学 (アメリカ)



⑦ カリフォルニア大学  
デービス校(アメリカ)



⑧ カンザス大学 (アメリカ)



⑨ ウェスタン・ワシントン大学 (アメリカ)



⑩ マギル大学 (カナダ)



⑪ アベリストウィス大学 (英国)



⑫ ブリストル大学 (英国)



⑬ エディンバラ大学 (英国)



⑭ ウルバーハンプトン大学 (英国)



⑮ ヨーク大学 (英国)



⑯ リーズ大学 (英国)



⑰ ブレーキングエ科大学 (スウェーデン)



⑱ ブレーメン応用科学大学 (ドイツ)



⑲ ハイネリッヒ・ハイネ大学  
デュッセルドルフ(ドイツ)



⑳ セルジー・ポントワーズ大学 (フランス)



㉑ オーストラリア国立大学 (オーストラリア)



㉒ ディーキン大学 (オーストラリア)



㉓ フィリピン大学 (フィリピン)



㉔ 梨花女子大学 (韓国)



㉕ 国民大学 (韓国)



㉖ 南京大学海外教育学院 (中国)



㉗ 香港樹仁大学 (中国)



㉘ 淡江大学 (台湾)



㉙ メトロポリタン自治大学 (メキシコ)



## 2 学内選考

### (1) 出願資格

- ① 学部生は派遣年の前年度までに 30 単位以上の科目を修得していること
- ② 出願時に学部 2 年生以上で、派遣期間中に本学に在学中であること
- ③ 本学の学業成績が原則として総合 GPA 2.8 以上かつ志願先大学の GPA 条件を満たしていること
- ④ 志願先大学の要求する語学能力を有していること
- ⑤ 十分な資金の準備ができること
- ⑥ 異文化適応能力があり、心身の健康状態が良好であること

### (2) 出願書類

- ① 協定校留学願書
- ② セミナー指導教員による志願者評価書
- ③ 志願先大学が要求する語学スコアのコピー  
※韓国・朝鮮語、中国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語の検定試験結果がある場合は、コピーを提出すること
- ④ 最新の成績通知書または最新の総合 GPA が表示された TsudaNet Web 履修成績 成績照会ページのコピー  
※大学院生は学部の成績通知書または成績証明書のコピーも提出すること  
※編入生は本学入学前に在籍していた大学等の成績通知書または成績証明書も提出すること

### (3) 学内選考試験

- 一次試験：語学能力試験  
二次試験：面接試験

一次試験の中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ドイツ語、フランス語は和訳・作文等の筆記試験。(過去問を国際センターで閲覧することができます。) 英語は講義等の聞き取りテストです。二次試験は、留学の目的やその大学を選んだ理由、学習計画や将来の希望などについて外国語と日本語で、個別またはグループ面接を行います。出願書類、本学での成績、一次試験ならびに二次試験の結果をもとに総合的に派遣生を選考します。

※ 学内選考試験の詳細は各期の募集要項で確認してください。

### (4) その他

- ① 留学期間を本学における修業年限に算入できる
- ② 留学先で修得した単位について学部生は 30 単位まで、大学院生は 10 単位まで本学の卒業・修了に必要な単位として認定を願い出ることができる

### 3 協定校紹介

※ 各協定校の所要経費は 2018 年 11 月 15 日の為替レートに基づいて計算した金額です。

## ブリンマー大学 Bryn Mawr College

所在地	アメリカ、ペンシルベニア州ブリンマー
留学期間	8月～翌年5月
募集人数	1人(交換留学生)
対象	全学科(2年生以上)、全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先:全額免除 本学:全額減免
寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費	寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約220万円(渡航費を除く)
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること ② 本学の学業成績が総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 95 または IELTS 7.0 以上 ④ 大学院生は GRE のスコアを取得していること

ブリンマー大学は1885年、女性に対してそれまで与えられてこなかった教育(女子大学初のPhDプログラムを含む)の機会を開くために創設されました。これにより一部の男性しか受けられなかったヨーロッパ式の教育プログラムを女性でも受けることができるようになりました。人文科学・自然科学両分野で評価の高い教育を行っています。

全米45州、海外約62カ国から約1,750人の学生が学んでいます。1931年から一部の大学院研究科で男子学生を受け入れています。女子教育は現在でも大学の重要な特色のひとつです。小規模教育の原則を守っており、授業の80%は25人以内、50%が15人以内で行われています。学生と教員の比率は9:1です。また近隣のHaverford College、Swarthmore College、The University of Pennsylvaniaとの共同学術プログラムを設けています。



本学が最初に学生交換協定を締結した大学であり、本学の創立者である津田梅子先生も、ブリンマー大学で生物学を学びました。

大学はフィラデルフィアから西11マイルのブリンマーに、135エーカーのキャンパスを構えています。主要な専攻分野は政治科学、英語、生物学、数学、心理学などです。

創立年	1885年
協定締結	1978年4月
学生数	学部生約1,350人、大学院生約400人(2018年)
学問分野	Africana Studies / Anthropology / Arabic / Archaeology / Architecture / Art History / Arts at Bryn Mawr College / Creative Writing / Dance / Fine Arts at Haverford / Music at Haverford / Theater / Asian Studies / Astronomy at Haverford / Biology / Biochemistry and Molecular Biology / Chemistry / Child and Family Studies / Cities / Classical and Near Eastern Archaeology / Classics / Comparative Literature / Computational Methods / Computer Science / Creative Writing / East Asian Languages and Cultures / Ecology / Economics / Education / English / Environmental Studies / Film Studies / Fine Arts at Haverford / French and Francophone Studies / Gender and Sexuality Studies / Geology / German and German Studies / Greek / Latin and Classical Studies / Growth and Structure of Cities / Health Studies / Hebrew and Judaic Studies / History / History of Art / International Studies / Italian and Italian Studies / Latin / Latin American, Iberian, and Latina/o Studies / Linguistics / Mathematics / Middle Eastern Studies / Museum Studies / Music at Haverford / Neuroscience / Peace, Conflict, and Social Justice Studies / Philosophy / Physics / Political Science / Psychology / Religion at Haverford / Romance Languages / Russian / Sociology / Spanish / Theater / Urban Studies / Visual Studies at Haverford / Women's Studies
学期	セメスター制(秋学期:8月末～12月、春学期:1月～5月)
宿舎	寮は11ある。9割以上の学生が寮生活を送っており、交換留学生は寮滞在が義務付けられている。
URL	<a href="http://www.brynmawr.edu/">http://www.brynmawr.edu/</a>

## インディアナ大学パーデュー大学インディアナポリス Indiana University-Purdue University Indianapolis (IUPUI)

所在地	アメリカ、インディアナ州インディアナポリス
留学期間	8月～翌年5月（秋学期のみの留学も可能）
募集人数	3人（派遣留学生）
対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2018年度：US\$29,821.50） 本学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担（寮またはホームステイ）
所要経費	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約490万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、派遣期間中に在学中であること（学部生のみ） ② TOEFL iBT 61 または IELTS 5.5 以上 ※ TOEFL iBT 80 または IELTS 6.5 以下の場合、IUPUIにおいて専門科目の履修に制限がある。
注意	学期開始前に IUPUI にて英語能力試験を受験する。成績によって Academic English の受講が義務付けられる。

インディアナ大学パーデュー大学インディアナポリス (Indiana University-Purdue University Indianapolis : IUPUI) は、インディアナ大学とパーデュー大学が1969年に共同で設立した州立大学で、先進的な高等教育機関として広く知られています。全米、そして世界各地（142カ国）から約3万人の学生が在籍し、準学士号から博士号まで350を超える学位プログラムで学んでいます。特に健康科学、工学、ビジネス、テクノロジーの分野に秀でています。インディアナ大学もしくはパーデュー大学から学位を授与されます。



キャンパスはアメリカ中西部を代表する大都市、インディアナポリスのダウンタウンから数ブロックのところに位置し、美術館や劇場、レストラン等に歩いて行くことができます。治安もよく、住みやすい都市で、その豊かな文化的遺産と多数の優れたスポーツ施設を誇りとしています。

IUPUIは夏期語学研修校の一つとなっており、これまでにたくさんのお本学学生が「インディアナ・プログラム」に参加しています。

創立年	1969年
協定締結	2009年1月
学生数	学部生 20,651人、大学院生 8,059人（2018年秋）
学問分野	School of Dentistry / School of Education / School of Engineering and Technology / School of Health and Human Sciences / Herron School of Art and Design / School of Informatics and Computing / Kelly School of Business / School of Liberal Arts / Lilly Family School of Philanthropy / Robert H. McKinney School of Law / School of Medicine / School of Nursing / School of Public and Environmental Affairs / Richard M. Fairbanks School of Public Health / School of Science / School of Social Work
学期	セメスター制（秋学期：8月末～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	学生寮、アパートメント等あり
URL	<a href="http://www.iupui.edu/">http://www.iupui.edu/</a>

## ミネソタ州立大学モアヘッド Minnesota State University Moorhead

所在地	アメリカ、ミネソタ州モアヘッド
留学期間	8月～翌年5月
募集人数	3人（派遣留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2018年度 \$7,410） 本学：在籍料相当額（年額 20万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約 260万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること ② 本学の学業成績が原則として総合 GPA 2.8 以上 ③ 学部課程：TOEFL iBT 61 または IELTS 5.5 以上 大学院課程：TOEFL iBT 79 または IELTS 6.5 以上

ミネソタ州立大学モアヘッドは1887年に州立の教育機関として創立されました。1921年に Moorhead State Teachers College となり、1957年に Minnesota State College、1975年には University になりました。2000年に現在の校名に変更されました。

主要な専攻分野は芸術・メディア・コミュニケーション、ビジネス・イノベーション、教育・社会福祉、人文社会科学、科学・保健・環境です。

充実した教員養成プログラムは定評があります。学生と教員の比率は23：1で、平均24人のクラスで授業が行われています。現在は総合大学として、リベラルアーツを基盤とした幅広い教育を提供することを目指しています。

全米43州、海外59カ国から約6,000人の学生が集まっており、約1,650人が学内の寮を利用しています。53%がミネソタ州出身者、41%がノースダコタ州出身者で、留学生は2.5%。キャンパスはノースダコタ州との州境にあり、自然に囲まれ、治安もよく、非常に住みやすい場所との評価を得ています。



創立年	1887年
協定締結	2003年3月
学生数	学部生、大学院生計 5,836人（2015年秋）
学問分野	<p><u>College of Arts, Media &amp; Communication</u> School of Art / School of Communication &amp; Journalism / School of Entertainment Industries &amp; Technology / School of Media Arts &amp; Design / School of Performing Arts</p> <p><u>College of Business &amp; Innovation</u> Computer Science &amp; Information Systems / Paseka School of Business / Professional Management Department</p> <p><u>College of Education &amp; Human Services</u> School of Social Work / School of Teaching &amp; Learning / Speech, Language, Hearing Sciences</p> <p><u>College of Humanities &amp; Social Sciences</u> Department of Economics, Law &amp; Politics / Department of History, Languages, Critical Race &amp; Women's Studies / English / Philosophy / Sociology &amp; Criminal Justice</p> <p><u>College of Science, Health &amp; the Environment</u> Anthropology &amp; Earth Science / Biosciences / Chemistry &amp; Biochemistry / Health &amp; Physical Education / Mathematics / Physics &amp; Astronomy / Pre-Health / Psychology / School of Nursing &amp; Healthcare Leadership</p> <p><u>Graduate Studies</u></p>
学期	セメスター制（秋学期：8月末～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	本学学生には優先的に学内の寮が提供される。
URL	<a href="http://www.mnstate.edu/">http://www.mnstate.edu/</a>

## ランドルフ大学 Randolph College

所在地	アメリカ、バージニア州リンチバーグ
留学期間	8月～翌年5月（秋学期のみの留学も可能）
募集人数	2人（交換留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程、博士課程）
学費の減免	留学先：半額免除（2018年度：US\$39,000 ここから半額免除） 本学：全額減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	留学先学費半額（US\$19,500）、寮舎費・食費（US\$13,580）、教材費、保険、諸雑費 年間約400万円（渡航費を除く）
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生あるいは大学院修士課程または博士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 79またはIELTS 6.5以上

ランドルフ大学は1891年に、ランドルフ・メイコン女子大学（Randolph-Macon Woman's College）として、女子に高等教育の機会を提供することを目的として、36人の学生と12人の教員で開校しました。教養単科大学として創立されたこの大学は、アメリカ南部の伝統ある私立女子大学として、古くからその高い教育水準を認められてきました。

2006年9月、大学理事会において共学化の案が採択され、2007年秋学期より男子学生の受け入れを開始し、共学となりました。学生数は約500人と小規模校ながら、全米34州、海外9カ国から学生が集まっています。学生と教員の比率は9：1で、平均学生数11人、多くても30人という少人数の授業が特色です。29の専攻と43の副専攻を提供しています。2005年度から教育学における大学院プログラムが開始されました。

キャンパスはバージニア州中央部、南北戦争当時栄えたリンチバーグ市にあり、首都ワシントンまでは車で約3時間半です。また優秀な卒業生を数多く輩出しており、その中にはノーベル賞作家であるパール・バックもいます。



創立年	1891年
協定締結	1996年3月
学生数	学部生626人（2018年）
学問分野	Art History / Art Studio / Biology / Business / Chemistry / Classics / Communication Studies / Dance / Economics / Education (Teacher Licensure) / Engineering Physics / English / Environmental Science / Environmental Studies / French / Global Studies / History / Liberal Studies / Mathematics / Museum and Heritage Studies / Music / Philosophy / Physics / Physics Education / Political Science / Psychology / Religious Studies / Sociology / Spanish / Sport and Exercise Studies / Theatre / Design Your Own Major
学期	セメスター制（秋学期：8月末～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	大学構内には6つの寮があり、ほとんどの学生が寮生活を送っている。食事も、学内の食堂で3食とることになる。
URL	<a href="http://www.randolphcollege.edu/">http://www.randolphcollege.edu/</a>

## サラール・ロレンス大学 Sarah Lawrence College

所在地	アメリカ、ニューヨーク州ブロンクスビル／ヨンカーズ
留学期間	8月～翌年5月（秋学期のみの留学も可能）
募集人数	1人（交換留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約210万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年次以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること（ただし受講できるのは学部授業のみ） ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 90またはIELTS 6.5以上 ※ TOEFL iBT 100またはIELTS 7.0以下の場合、スカイプによるインタビューあり
その他	週に2、3時間、日本語アシスタントを務める

1926年に不動産王 William Van Duzer Lawrence により、ウエストチェスター郡の彼の私有地に女子大学として設立されました。大学名は彼の妻、Sarah にちなんで名付けられています。1966年からは男女共学となりました。

私立のリベラル・アーツ・カレッジであり、厳格な学問理念と少人数教育で知られています。海外53カ国より学生が集まり、学生数は学部生が約1,400人、大学院生が約300人、女子学生が約71%を占めています。留学生数は学生全体の14%。学生に対する教師の数の比率は9対1です。個々の学生への教授陣の指導はOxford/Cambridge systemを見習い形成され、全ての分野の学習で重要な要素となっています。

奨学金に重点を置いており、特に人文科学、舞台芸術、ライティングの分野の奨学金に力を注いでいます。また自主研究を高く評価しています。

ニューヨークから北に電車で30分ほどの好ロケーションに東京ドーム4個分ほどの広大なキャンパスを所有しています。多くの作家、女優、脚本家などを輩出していることで有名です。



創立年	1926年
協定締結	2011年5月
学生数	学部生1,377人、大学院生298人（2018年）
学問分野	Creative and Performing Arts / History and the Social Sciences / Humanities / Natural Sciences and Mathematics
学期	セメスター制（秋学期：9月～1月、春学期：1月～5月）
宿舎	留学生には寮が優先的に提供される。
URL	<a href="http://www.slc.edu/">http://www.slc.edu/</a>

## スペルマン大学 Spelman College

所在地	アメリカ、ジョージア州アトランタ
留学期間	8月～翌年5月
募集人数	1人（交換留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免
寮舎費・食費	全額免除（寮あり）（長期休暇中の寮舎費・食費は自己負担となる）
所要経費	教材費、保険、諸雑費 年間約80万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること（大学院は設置されていない） ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 79またはIELTS 6.0以上

スペルマン大学の歴史は1881年に2人の女性が100ドルの資金をもとに、バプティスト教会の地下室で11人の黒人女性を対象に学校を開いたことに始まります。その後学校は多くの協力者を得て発展し、黒人女性のための大学として確固たる地位を確立しました。その教育の質は高い評価を受けています。

また世界でも有数の黒人教育組織 Atlanta University Center Consortium のうちの1校であり、Clark Atlanta University、Interdenominational Theological Center、Morehouse College、Morehouse School of Medicine と単位互換や図書館の共同利用を行っています。

ジョージア州アトランタに32エーカーの歴史あるキャンパスを構えています。全米43州、海外10カ国から約2,100人の学生が集まっており、そのうちアフリカ系アメリカ人が全体の95%を占めています。学生と教員の比率は10:1です。

創立の経緯や私立の小規模女子大学であること、また多くの卒業生の活躍など、本学と共通することも多く、両大学の信頼関係は深いものとなっています。



創立年	1881年
協定締結	1996年6月
学生数	約2,100人（2017/18年）
学問分野	Art / Biochemistry / Biology / Chemistry / Child Development / Comparative Women's Studies / Computer Sciences / Drama & Dance / Economics / Education / Engineering / English / Environmental Science / French / History / Human Services / Independent Major / International Studies / Japan Studies / Mathematics / Music / Philosophy / Physics / Political Science / Psychology / Religious Studies / Sociology & Anthropology / Spanish / World Languages & Literature
学期	セメスター制（秋学期：8月～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	大学には11の寮があり、約1,200人の学生が生活している。本学学生も寮の一室が与えられる。
URL	<a href="http://www.spelman.edu/">http://www.spelman.edu/</a>

## カリフォルニア大学デービス校 University of California, Davis (UCD)

所在地	アメリカ、カリフォルニア州デービス
留学期間	3月～12月または3月～翌年3月または9月～翌年6月
募集人数	3人(派遣留学生)
対象	全学科(2年生以上)
学費の減免	留学先：協定によるGSP学費自己負担(2018年度：US\$19,825 割引適用後) 本学：在籍料相当額(年額20万円)に減免
寮舎費・食費	自己負担
所要経費	留学先学費、住居費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約420万円(本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、派遣期間中に在学中であること(学部生のみ) ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 80(各セクション19)またはIELTS 7.0以上 TOEFL iBT 71またはIELTS 6.5以上のスコアをもっている学生は、英語研修付きプログラム(1学期間または専門科目と並行して1～2コマ、Academic Englishを履修する)に参加することができる。
注 意	① UCDでGPA 2.0を維持すること

カリフォルニア大学デービス校(UCD)は、2,000ヘクタールの広大な敷地に、約3万人の学生が、100を越す専攻コースで学ぶ州立の総合大学です。カリフォルニア大学(University of California)の10のキャンパスの1つで、1905年に設置されました。サンフランシスコから車で1時間(120km)のところであり、キャンパス内の移動には一般的に自転車が用いられています。カリフォルニア大学のうちで最も敷地面積の広い大学です。

教養、サイエンス、エンジニア、農業、環境、生物、法律、マネージメント、医学、獣医学などの学部・学科があり、全米トップ12校にランキングされています。高度な研究機関として多くの研究室とキャンパス内外に研修施設を持ち、その研究成果により教授陣は世界的な評価を得ています。

学生クラブや様々な同好会、スポーツ施設やレクリエーション施設なども充実しており、キャンパスライフを楽しむことのできる環境が整っています。U.S. News and World Report's 2018の調査では“America's Best Colleges”の12位にランキングされています。

本学からの派遣学生はUCDのGlobal Study Program(GSP)のもとで学びます。GSPとは選ばれたパートナー大学から派遣される学生のためのプログラムで、派遣学生はUCDの正規授業を受講することができます。



創立年	1905年
協定締結	2009年7月
学生数	学部生 30,066人、大学院生 8,303人 (2017年秋)
学問分野	College of Agricultural and Environmental Sciences / College of Engineering / College of Letters and Science / College of Biological Sciences
学期	クォーター制(秋学期：9月下旬～12月中旬、冬学期：1月上旬～3月中旬、春学期：3月下旬～6月、夏学期：6月～7月、8月～9月)
宿舎	アパート、ホームステイ
URL	<a href="http://www.ucdavis.edu/">http://www.ucdavis.edu/</a>



## カンザス大学 University of Kansas

所在地	アメリカ、カンザス州ローレンス
留学期間	8月～翌年5月
募集人数	1～3人（交換留学生または派遣留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：交換留学の場合、全額免除 派遣留学の場合、全額自己負担（2018年度：文系 \$26,187） 本学：在籍料相当額（年額 20万円）に減免
寮舎費・食費	交換留学の場合：全額免除（長期休暇中の寮舎費・食費は自己負担） 派遣留学の場合：自己負担
所要経費	交換留学の場合：教材費、保険、諸雑費 年間約 80万円（本学学費、渡航費を除く） 派遣留学の場合：留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約 450万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること ② TOEFL iBT75（各セクション17）または IELTS 6.0（各セクション5.5）以上 ③ 大学院生は GRE のスコアを所有していること
注意	TOEFL iBT 79（各セクション18）または IELTS 6.5（各セクション6.0）以下の場合、学期開始前に英語能力試験を受験する。成績によって Academic English の授業を 1～2 コマ程度受講する。

カンザス大学は 1864 年に創立された、中西部でも有数の大規模な総合大学であり、教育、研究ともに高い評価を受けています。14 のカレッジがあり、専攻分野は 200 以上あります。またほとんどの専攻分野で大学院を持っています。

学生のうち約 65% がカンザス州出身ですが、他に全米 50 州、海外 112 カ国以上から学生が集まっています。学生と教員の比率は 17 : 1 です。留学生の受入れには積極的で、留学生数は 2,000 人を超えています。

メイン・キャンパスはカンザス州北東、州都トペカから東に約 20km、カンザスシティからは西に約 25km に位置する人口 8 万人の町、ローレンスにあります。大学は設備が充実しており、特に図書館は公立のものとしては全米でもトップクラスの量と質の高さを誇っています。また自然史博物館や昆虫博物館、人類学博物館なども併設しています。



創立年 1864年

協定締結 2003年5月

学生数 学部生 18,975人、大学院生 5,840人（2018年秋）

学問分野 Architecture & Design / Arts / Business / Education / Engineering / Journalism & Mass Communications / Health Professions / Languages / Literatures & Cultures / Law / Liberal Arts & Sciences / Medicine / Music / Nursing / Pharmacy / Public Affairs and Administration / Social Welfare

学期 セメスター制（秋学期：8月末～12月、春学期：1月～5月）

宿舎 キャンパス内に様々なタイプの設備の整った学生寮があり、女子寮もある。

URL <http://www.ku.edu/>

## ウェスタン・ワシントン大学 Western Washington University

所在地	アメリカ、ワシントン州ベリンガム
留学期間	4月～翌年3月または9月～翌年6月
募集人数	2人（交換留学生1人、派遣留学生1人）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：交換留学の場合、州内授業料自己負担（2018年度：US\$11,442.30） 派遣留学の場合、州外授業料自己負担（2018年度：US\$23,544.30） 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	交換留学の場合：留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約275万円（本学学費、渡航費を除く） 派遣留学の場合：留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約415万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること （大学院の授業は原則として受講できない） ② TOEFL iBT 79 または IELTS 6.5 以上

1893年に教員養成機関 New Whatcom State Normal School として設立され、その後幾度かの名称変更を経て1961年に現校名になりました。男女共学の州立大学で学生数は約16,000人。大学院と6つのCollegeを擁する総合大学ですが、少人数教育をモットーとしています。学生の国際感覚の向上にも力を入れており、アジア各国の言語および文化を扱うプログラムが開講されているほか、アジアをはじめヨーロッパの大学と多数交流協定を持っています。

シアトルから90マイル北、カナダとの国境に近いベリンガム市の緑豊かなキャンパスは、市街とチャックナット湾を見下ろす位置にあります。4,000人近い学生がキャンパス内の寮で生活しています。学部生の25.6%がエスニックマイノリティの学生で構成されています。学生と教員の比率は18：1です。

クォーター制をとっているため4月から留学を開始することができます。



**創立年** 1893年

**協定締結** 1981年6月

**学生数** 学部生 15,915人、大学院生 728人（2017年秋）

**学問分野** College of Business and Economics / Fairhaven College of interdisciplinary Studies / College of Fine and Performing Arts / College of Humanities and Social Sciences / Huxley College of the Environment / College of Sciences and Technology / Woodring College of Education

**学期** クォーター制（秋学期：9月～12月、冬学期：1月～3月、春学期：4月～6月）

**宿舎** 寮またはアパート

**URL** <http://www.wwu.edu/>

## マギル大学 McGill University

所在地	カナダ、ケベック州モントリオール
留学期間	8月～翌年4月
募集人数	3人(派遣留学生)
対象	全学科(2年生以上)、全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先:全額自己負担(2018年度:文系C\$16,815.60) 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免
寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費	留学先学費、宿舍費、食費、教材費、保険、諸雑費 文系の場合年間約340万円(本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、派遣期間中に在学中であること(学部生のみ) ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 90(各セクション21)またはIELTS 6.5(各セクション6.0)以上

マギル大学は Royal Institution for the Advancement of Learning として、1821年にモントリオールに創設されました。その後学部・学科の拡張を続け、現在ではカナダでも有数の大規模校となりました。

女子学生が最初に受け入れられたのは1884年のことです。カナダでは英語とフランス語が公用語ですが、マギル大学はフランス語圏のモントリオールにありながら、創立以来ずっと原則的に英語で授業を行っているユニークな大学です。また、語学・文学の授業は30カ国語以上で行われています。



教育水準は非常に高く、国際的な名声により多数の留学生が在籍しています。特に語学教育や理学・医学部は評価が高く、外国語教育学部ではカナダで唯一、英語及びフランス語を母語としない人を語学教師として育成しています。

学生のうち英語を母語とするのは45.2%、フランス語は20.3%、その他が34.5%。全学生のうちケベック州出身が50.3%を占めます。留学生は29.4%と、留学生の受入れにも積極的です。

キャンパスはモントリオールのダウンタウンの中心にあり、緑に囲まれ、歴史的な建物と現代的な建物が立ち並んでいます。

1993年から本学主催の夏期語学研修「津田・マギルプログラム」を実施しており、これまでにたくさんの本学学生が「マギル・プログラム」に参加しています。

---

創立年	1821年
協定締結	1996年1月
学生数	学部生・大学院生計 37,230人 (2017年秋)
学問分野	Faculty of Agricultural & Environmental Sciences / Faculty of Arts / School of Continuing Studies / Faculty of Dentistry / Faculty of Education / Faculty of Engineering / Faculty of Law / Desautels Faculty of Management / Faculty of Medicine / Schulich School of Music / Faculty of Science
学期	セメスター制(秋学期:8月末～12月、春学期:1月～4月)
宿舎	学内外に寮、アパート、シェアハウスなどさまざまなタイプの宿舎がある。女子寮もある。
URL	<a href="http://www.mcgill.ca/">http://www.mcgill.ca/</a>

## アベリストウィス大学 Aberystwyth University

所在地	英国、ウェールズ、アベリストウィス
留学期間	9月～翌年6月
募集人数	3人(派遣留学生)
対象	全学科(2年生以上)、全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先:全額自己負担(2018年度:文系£13,450 理系£15,000) ※ 留学生は£2,000奨学金として減免される 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免
寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 文系の場合年間約370万円(本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること(大学院生は事前に国際センターに申し出ること) ② International Politics: IELTS 7.0(各セクション6.0)、それ以外の分野: IELTS 6.5(各セクション5.5) 6週間の英語研修に参加する場合は International Politics: IELTS 6.5(各セクション5.5)、それ以外の分野: IELTS 6.0(各セクション5.5)
注 意	アベリストウィス大学での希望専攻科目に関する事前知識が必要

University College Walesとして1872年に創立されたウェールズで最も歴史の古い大学。その後、1894年にWales大学と合併しました。チャールズ皇太子が大学総長です。大学のモットーは「知識のない世界は世界がないに等しい。」

国際政治学部は1919年に創設され、世界中の国際政治学部の中で一番歴史のある学部です。140年近い歴史のある大学ですが、施設の開発を率先して行い、2000年にはウェールズ最大の芸術センター、演劇・映画・テレビセンター、2006年には国際政治学部の建物などを新たに完成させました。

施設の充実だけでなく、大学は教育、指導法、学生の満足度の向上に努め、数々の学生対象の調査でトップに格付けされています。例えば、2019年度版The Times / Sunday TimesのGood University Guideはアベリストウィス大学を英国の中で授業の質において第1位と評価しました。

大学のメインキャンパスは、アベリストウィスの町とカーディガン湾を見下ろすPenglais Hillに所在し、美しい海岸線の風景を堪能することができます。英国の中では治安の良い地域で、インドアやアウトドア・スポーツを楽しめる環境です。



創立年 1872年

協定締結 2010年12月

学生数 学部生9,340人、大学院生1,800人(2011/12年)

学問分野 Art / Biological, Environmental & Rural Sciences / Business / Computer Science / Education / English & Creative Writing / English Language / Geography & Earth Sciences / History & Welsh History / Information Management, Libraries & Archives / International Politics / Law & Criminology / Learn Welsh / Lifelong Learning / Mathematics / Modern Languages / Physics / Psychology / Theatre, Film & Television Studies / Welsh & Celtic Studies

学 期 3学期制(1学期:9月～12月、2学期:1月～3月、3学期:4月～6月)

宿 舎 留学生には寮が保証される。

U R L <http://www.aber.ac.uk/en/>

## ブリストル大学 University of Bristol

所在地	英国、イングランド、ブリストル
留学期間	9月～翌年6月（専攻分野により秋学期のみの留学も可能）
募集人数	3人（派遣留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2018年度：£16,500） 本学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約450万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること （大学院の授業は原則として受講できない） ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ IELTS 6.0（Writing 6.0、それ以外のセクション5.5）以上 専攻分野によってはさらに高いスコアが求められる。
注 意	英語スコアによっては学期前英語研修が義務付けられる（6週間または10週間）。もしくは秋学期に英語科目を1、2コマ履修する。 ブリストル大学公式ホームページで確認すること。

The University of Bristol の前身は、1876年創立の University College, Bristol で、1909年に University になりました。英国で初めて女性に高等教育の門戸を開いた大学としても有名です。1946年には国内で初めての演劇学科が創設されています。Arts、Humanities、Social Sciences、Engineering、Science、Life Sciences の6学部があり、45学科・15リサーチセンターを有しています。

大学のあるブリストルは、イングランド南西部、エイボン川に臨む港湾都市で、商業、ハイテク産業などの中心地のひとつです。ロンドンから列車で約1時間半の距離に位置しています。また政府によって“Centre of Culture”とされている文化的な町でもあります。学内には、学生会館、バー、レストラン、書店、劇場などがあり、14の図書館には約125万冊の蔵書が収められています。スポーツ施設としては、サッカー場、テニスコート、屋内プールなどがあります。

学部学生数は約14,000人で、約100カ国からの留学生が16%を占めるなど、留学生の受け入れにも積極的です。



創立年	1909年
協定締結	2001年10月
学生数	学部生 18,606人、大学院生 6,444人（2017/18年）
学問分野	Anthropology and Archaeology / Film and TV / Music / Modern Languages / Philosophy / Theatre / Classics & Ancient History / English Literature / History / History of Art / Religion and Theology / Anatomy / Biochemistry / Biological Sciences / Cellular and Molecular Medicine / Experimental Psychology / Neuroscience / Pharmacology / Psychology / Aerospace Engineering / Civil Engineering / Computer Science / Electrical and Electronic Engineering / Engineering Mathematics / Mechanical Engineering / Chemistry / Earth Sciences / Geographical Sciences / Mathematics / Physics / Economics, Finance and Management / Education / Law / Policy Studies / Politics and International Studies / Sociology
学期	セメスター制（秋学期：9月～1月、春学期：1月末～6月）
宿舎	学生寮（食事付き、または自炊）、フラット
URL	<a href="http://www.bristol.ac.uk/">http://www.bristol.ac.uk/</a>

## エディンバラ大学 University of Edinburgh

所在地	英国、スコットランド、エディンバラ
留学期間	9月～翌年5月
募集人数	3人(派遣留学生)
対象	全学科(2年生以上)、全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先:全額自己負担(2018年度:£16,700) 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免
寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約450万円(本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、翌年の派遣時に在学中であること(ただし、受講できるのは学部の授業のみ) ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ Science Engineering 希望の場合、IELTS 6.5(各セクション5.5)以上 Humanities, Arts, Social Sciences 希望の場合、IELTS 6.5(各セクション5.5)以上
注 意	2年生以上を対象とした授業を履修希望の場合はIELTS 6.5(各セクション6.0)以上必要

1583年に創設された、スコットランドで4番目、英国全土でも6番目に古い歴史を持つ大学です。当時から、スコットランド的な特徴を保持しながらも、ヨーロッパをはじめ世界中から学生が集まる国際的な大学でした。大学の規模は決して大きくはありませんが、教育・研究の幅の広さは英国でも上位に入ります。The College of Arts, Humanities and Social Sciences、the College of Medicine & Veterinary Medicine、the College of Science and Engineeringの3カレッジ・20スクールを有しています。

学生の大部分はイングランドとスコットランドの出身ですが、EU諸国から4,000名、その他海外からの留学生が8,600名余り学んでおり、学内での国際交流が活発にはかれています。

エディンバラはグレートブリテンおよび北アイルランド連合王国を構成する4つの国の一つであるスコットランドの首都であり、文化面・生活面でスコットランドという一つの国としての意識やプライドがしっかりと根をおろしています。また北ヨーロッパ随一の自然や歴史的建築物の美しさを誇っており、エディンバラ大学の校舎はその中に点在し、大学が街に溶け込んでいます。



**創立年** 1583年

**協定締結** 1991年12月

**学生数** 学部生 25,951人、大学院生 15,361人 2018年7月現在(2017/18年)

**学問分野** Business School / School of Divinity / School of Economics / Edinburgh College of Art / The Moray House School of Education / School of Health in Social Science / School of History, Classics and Archaeology / School of Law / School of Literatures, Languages and Cultures / School of Philosophy, Psychology and Language Sciences / School of Social and Political Science / Edinburgh Medical School / Royal (Dick) School of Veterinary Studies / School of Biological Sciences / School of Chemistry / School of Engineering / School of GeoSciences / School of Informatics / School of Mathematics / School of Physics and Astronomy

**学 期** セメスター制(秋学期:9月～12月、春学期:1月～5月)

**宿 舎** 学寮は大学近辺に数ヶ所あり、約2,700名収容できる。さらにフラットと呼ばれる宿舎もある。本学学生のほとんどは学寮に滞在するが、フラットで生活する学生もいる。

**U R L** <http://www.ed.ac.uk/>

## ウルバーハンプトン大学 University of Wolverhampton

所在地	英国、イングランド、ウルバーハンプトン
留学期間	9月～翌年5月
募集人数	2人(派遣留学生)
対象	数学科、情報科学科(2年生以上)
学費の減免	留学先：全額自己負担(2018年度：£11,700) 本学：在籍料相当額(年額20万円)に減免
寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約350万円(本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	英語
出願資格	① 応募時に数学科、情報科学科2年生以上に在学しており、派遣期間中に在学中であること。(学部生のみ) ② IELTS 6.0(各セクション5.5)以上

ウルバーハンプトン大学が1969年創立のWolverhampton Polytechnicを前身として大学の地位を得たのは1992年ですが、ウルバーハンプトンの町は16世紀にさかのぼる長い教育の歴史を持っています。3つのキャンパスと約2万人の学生を抱え、英国でも有数の大規模な総合大学です。

Faculty of Arts、Faculty of Education、Health and Wellbeing、Faculty of Science and Engineering、Faculty of Social Sciencesの4学部により構成され、研究機関としても国内外で高い評価を得ています。

ウルバーハンプトンはイングランド中心部にあり、ロンドンからは列車で約2時間。バーミンガムに程近い景観の美しい山の上に位置しています。

ウルバーハンプトン大学と本学との本協定は、数学科と情報科学科の学部生を対象としています。



創立年	1992年
協定締結	2004年6月
学生数	学部生 18,880人、大学院生 4,327人 (2010年秋)
学問分野	Wolverhampton School of Art / School of Humanities / School of Performing Arts / Institute of Education / Institute of Health / Institute of Human Sciences / Institute of Community and Society / School of Architecture and Built Environment / School of Sciences / School of Engineering / School of Mathematics and Computer Science / School of Pharmacy / University of Wolverhampton Business School / University of Wolverhampton Law School School of Social, Historical and Political Studies / International Academy / Centre for International Development and Training / Centre for African Entrepreneurship and Leadership
学期	セメスター制(秋学期：9月～1月、春学期：1月～5月)
宿舎	学生寮、フラット
URL	<a href="http://www.wlv.ac.uk/">http://www.wlv.ac.uk/</a>

## ヨーク大学 University of York

所在地	英国、イングランド、ヨーク
留学期間	9月～翌年6月（秋学期＋冬学期のみの留学も可能）
募集人数	3人（派遣留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（協定校割引適用：2018年度：文系の場合£14,127） 本学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 文系の場合年間約410万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること（大学院の授業は原則として受講できない） ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ Departmentにより英語要求点異なる。下記のページにより確認すること。 <a href="http://www.york.ac.uk/study/undergraduate/applying/entry/english-language/">http://www.york.ac.uk/study/undergraduate/applying/entry/english-language/</a> (例) English and Related Literature, : IELTS 6.5 (各セクション5.5) 以上 Politics: IELTS 6.5 (各セクション5.5) 以上 Computer Science and Engineering: IELTS 6.5 (各セクション6.0) 以上 Mathematics: IELTS 6.5 (各セクション6.0) 以上
注 意	入学前に付属の語学研修センターで実施される語学研修に参加することが望ましい。

ヨーク大学は1963年に創設された、比較的新しい大学です。創立当時200人だった学生数は、現在は1万人近くに増え、30以上の学科・リサーチセンターを有するまでになっています。教育水準は非常に高く、教育・研究の充実に関して、ケンブリッジ大学と並んでトップとの評価を受けています。

ヨーク大学はカレッジ制をとっており、大多数の教職員、全ての学生がそれぞれ9つのカレッジのうちのどれかに属していて、ほとんどの学科が、特定のカレッジに属します。学部一年生と留学生は学寮か大学の宿舎を保証されます。

約13,000人の学部学生のうち、500人近くが海外からの留学生です。大学のあるヨークは、イングランド北東部ノース・ヨークシャーの商業都市で、千年の歴史を持ち、名所旧跡も多い土地です。ロンドンからは列車で約2時間の距離にあります。メイン・キャンパスはヘズリントンにあり、湖や野鳥など、景観の良さで知られています。大学には7の図書館があり、総蔵書数は約60万冊。広大な運動場をはじめ、スポーツ施設も充実しています。

1991年から本学主催の夏期語学研修「津田・ヨークプログラム」を実施しており、これまでにたくさんの本学学生が「ヨーク・プログラム」に参加しています。



創立年	1963年
協定締結	2001年10月
学生数	学部生 13,415人、大学院生 3,360人（2017/18年）
学問分野	Archaeology / Biology / Chemistry / Computer Science / Economics and Related Studies / Education / Eighteenth-Century Studies / Electronic Engineering / English and Related Literature / Environment and Geography / Health Economics / Health Sciences / History / History of Art / Language & Linguistic Science / Law / Management / Mathematic / Medieval Studies (PG only) / Modern Studies / Music / Politics / Economics and Philosophy / Philosophy / Physics / Politics / Psychology (full year students only) / Renaissance and Early Modern Studies / Reviews and Dissemination / Social Policy and Social Work / Sociology / Theatre / Film and Television / Women's Studies (PG only)
学 期	3学期制（秋学期：9月～12月、春学期：1月～3月、夏学期：4月～6月）
宿 舎	学生寮（食事は自炊）、フラット ※留学生（単身者）には宿舎100%保証
U R L	<a href="http://www.york.ac.uk/">http://www.york.ac.uk/</a>



## リーズ大学 University of Leeds

所在地	英国、イングランド、リーズ
留学期間	4月～翌年1月または7月、8月、9月～翌年1月または6月
募集人数	3人(派遣留学生)
対象	全学科(2年生以上)、全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先:全額自己負担(2018年度:£14,800) 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免
寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約400万円(本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること(履修できるのは学部授業のみ) ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ 20週間の事前語学研修つき IELTS 5.0(各セクション4.5)以上(4月開始) 10週間の事前語学研修つき IELTS 5.5(各セクション5.0)以上(7月開始) 6週間の事前語学研修つき IELTS 5.5(各セクション5.5)以上(8月開始) 事前語学研修なし IELTS 6.0(各セクション5.5)以上(9月入学) 専攻分野によって英語要求点異なる。詳しくは以下のウェブサイトで確認すること <a href="http://www.leeds.ac.uk/info/130117/exchange_and_study_abroad/119/language_requirements#languages">http://www.leeds.ac.uk/info/130117/exchange_and_study_abroad/119/language_requirements#languages</a>
注 意	事前語学研修つきの場合 IELTS for UKVI のスコア提出が必須 Direct Entry(9月入学)の場合は通常の IELTS (Academic Module) でよい

ロンドンから2時間のイングランド中央部に位置するリーズ大学は、19世紀後半から20世紀初頭にかけて産業や工業の近代化を支えるために英国の主要都市に創設された一連の大学の1つです。19世紀に創設されたYorkshire College of Science and TechnologyとLeeds Medical Schoolの2校が合併し1904年に誕生しました。校舎に「赤いレンガ」が使用されたことから、マンチェスター大学やシェフィールド大学と共にリーズ大学はRed Bricksの愛称で知られるようになりました。

34,000人以上の学生数を擁する大きな大学で、学部のプログラムが500、大学院が300あります。現在150カ国以上から約7,000人の留学生がリーズ大学で学んでいます。

事前語学研修つきで4月スタート、7月スタート、8月スタートが選べます。Direct Entry(事前語学研修なし)は9月スタートです。



創立年	1904年
協定締結	2017年6月
学生数	学部生 約25,000人、大学院生 約9,000人(2018年)
学問分野	Art, Design, Media and Communication / Biological, Biomedical and Sports Sciences / Business, Management, Finance and Economics / Chemistry, Food Science and Nutrition / Education, Sociology and Social Policy / Engineering and Computing / English, History and Humanities / Geography, Environment and Earth Sciences / Languages, Cultures and Societies / Law, Criminology and Politics / Languages, Cultures and International Relations BA (Full time), Mathematics and Physics / Medicine, Dentistry, Psychology and Healthcare
学期	セメスター制(秋学期:9月下旬~1月、春学期:1月~6月初旬)
宿舎	締め切りまでに申し込みれば学内外の寮(食事付き、または自炊)が保証されている、フラット
URL	<a href="https://www.leeds.ac.uk/">https://www.leeds.ac.uk/</a>

## ブレーキング工科大学 Blekinge Institute of Technology

所在地	スウェーデン、カールスクロナ
留学期間	8月～翌年6月（秋学期のみの留学も可能）
募集人数	3人（交換留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約200万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	スウェーデン語、交換留学生用の授業に一部英語で行われるものもある。
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること ② TOEFL iBT 61 または TOEFL ITP 500 または IELTS 5.5 以上
注 意	英語で行われる科目はホームページで確認すること。

1989年創立のスウェーデンの中では新しい大学のひとつです。応用情報技術、環境に優しい産業や社会の開発に力を注いでいます。ソフトウェア工学部は世界的に有名であり、数多くのERASMUS\* 奨学金が毎年ソフトウェア工学部で学んでいます。

スウェーデンの南、バルト海に面するカールスクロナ、ロネビー、カールシャマンの3つの都市にキャンパスが所在します。大学周辺は、Vodafone（現 Telenor）、Ericsson AB、Wireless Independent Provider（WIP）のようなテレコミュニケーションやソフトウェア会社が多くあります。カールスクロナは1998年UNESCO世界遺産に登録された歴史的都市です。また、ロネビークャンパスは、2005年にスウェーデンで最も美しいと評価された Ronneby Brunnsparck に隣接します。

留学生は約70カ国、約550名。授業は主にスウェーデン語で実施されており、交換留学生用に Computing, Engineering 等の分野で英語による授業が提供されています。

\* ERASMUS-EU 諸国における教育・文化プログラムの一つで、大学レベルでの人物交流の促進を図る計画。



創立年	1989年
協定締結	2010年4月
学生数	約7,900人（2018年3月）
学問分野	学部課程：Department of Computer Science and Engineering / Department of Creative Technologies / Department of Software Engineering / Department of Technology and Aesthetics / Department of Applied Signal Processing / Department of Health / Department of Industrial Economics / Department of Mathematics and Natural Sciences / Department of Mechanical Engineering / Department of Spatial Planning / Department of Strategic Sustainable Development 修士課程：11プログラム 博士課程：10プログラム 交換留学生用 course list ならびに英語で行われる科目はホームページで確認すること。
学期	セメスター制（秋学期：8月下旬～1月中旬、春学期：1月中旬～6月上旬）
宿舎	Blekinge Student Union のHP から情報を得て、各自で手配する。
URL	<a href="http://www.bth.se/">http://www.bth.se/</a>

## ブレーメン応用科学大学 Hochschule Bremen, University of Applied Sciences

所在地	ドイツ、ブレーメン
留学期間	3月～翌年2月、または9月～翌年7月（冬学期のみの留学も可能）
募集人数	1人（交換留学生）
対象	情報科学科2年生以上
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担
所要経費	宿舍費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約190万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	ドイツ語、英語
出願資格	① 応募時に情報科学科2年生以上に在学しており、派遣期間中に在学中であること（学部生のみ） ② TOEFL iBT 61 または TOEFL ITP 500 または IELTS 5.5 以上

1982年に経済大学、工科大学、社会学大学、航海大学の4つの単科大学が併合し、設立された公立大学。その前身となるのは1799年に創設されたBremen School of Navigation（航海大学）です。ドイツで10番目の大都市であり、歴史の古いブレーメンに所在します。4つのキャンパスから構成され、全てのキャンパスは公共交通機関を利用しやすい位置にあります。

大学教育の特徴は革新的、実用指向。ドイツで最大級の応用科学の大学で、国際的な学位取得数はドイツの中でもトップの大学です。国際的学術交流を積極的に取り組み、約365の海外の大学と協定を結んでいます。また、世界の250以上の大学と共同研究を行っています。

大学のあるブレーメンは1200年以上の歴史ある国際的な港町であり、自動車生産から宇宙・航空産業、電子産業、食品・嗜好品企業まで、伝統ある各業群や、様々な規模のイノベティブな企業が、ブレーメンに拠点を持っています。

ブレーメン応用科学大学との本協定は、情報科学科学生のみを対象としています。

授業はドイツ語で行われます。一部英語で行われる留学生向けの授業もありますが、情報科学の専門科目はほとんどドイツ語で行われます。



創立年	1982年
協定締結	2010年3月
学生数	約9,000人（2018年）
学問分野	エンジニアリング、自然科学、経済学、社会科学など約70の学位コースがある。
学期	セメスター制（夏学期：3月初め～7月中旬、冬学期：9月初め～2月中旬）
宿舎	学内に学生寮はないが、近隣に学生向けアパートなどがある。
URL	<a href="http://www.hs-bremen.de/">http://www.hs-bremen.de/</a>

## ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ Heinrich Heine University Düsseldorf

所在地	ドイツ、デュッセルドルフ
留学期間	10月～翌年7月
募集人数	2人(交換留学生)
対象	学芸学部全学科(2年生以上)、全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額(年額20万円)に減免
寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費	寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約190万円(本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	ドイツ語
出願資格	① 応募時に学芸学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ ヨーロッパ言語共通参照枠B1相当(独検の場合2級)以上 ④ 原則としてドイツ語Ⅱを履修中または修了していること

デュッセルドルフ生まれの19世紀の詩人、ハインリッヒ・ハイネにちなんで名付けられたこの大学は、ハインリッヒ・ハイネの理念に基づき、文化的多元主義、人種及び宗教の寛容さ、並びに男女同権を強く支持しています。

1965年に創立され、5つの主要学部(経営学・経済学、人文科学、法学、数学・自然科学及び医学)のもと、ドイツ文学、歴史、法律及び医学など人気の高い学科をはじめとして50の学科を揃えています。32,000人の学生、約3,300人の教職員を抱え、世界110カ国を超える国の留学生が学ぶ、国際的かつ革新的な大学です。



授業はドイツ語で行われますが、一部英語で行われる授業もあります。大学図書館は、毎日利用することができます。

キャンパスライフは勉学のみならず、ソーシャルイベントやレジャー活動、バーベキュー大会、学園祭、映画祭等を楽しむことができます。学生サービスセンターは、学生一人一人へのカウンセリング、学習指導を行っている他、多数の学生自治会による個人指導及び学習グループも組織されています。また、国際学生オリエンテーションサービスでは外国人留学生のためのサポート、及び外国人留学生による様々なサポートを提供しています。

大学が位置するデュッセルドルフは国際ビジネスや様々な産業の中心都市であり、数多くの名所、ショッピング街、文化イベントが揃う、生活するのに最高の町であり、ヨーロッパ最大の日本人コミュニティがあります。

創立年	1965年
協定締結	2017年11月
学生数	32,000人
学問分野	The departments of the Faculty of Arts and Humanities English Department / German Studies / Historical Sciences / Jewish Studies / Classical Philology / Department of Art History / Media-and Cultural Studies / Department of Modern Japanese Studies / Philosophy / Romance Studies / Social Sciences / Linguistics and Information Science
学期	セメスター制(冬学期:10月1日～3月31日、夏学期:4月1日～9月30日)
宿舎	学内外に学生寮あり。
URL	<a href="https://www.uni-duesseldorf.de">https://www.uni-duesseldorf.de</a>

## セルジー・ポントワーズ大学 The University of Cergy-Pontoise

所在地	フランス、ヴァル＝ドワーズ県
留学期間	9月～翌年6月（秋学期のみの留学も可能）
募集人数	2人（交換留学生）
対象	学芸学部全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担
所要経費	寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約190万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	フランス語、英語
出願資格	① 応募時に学芸学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL-iBT 61 または IELTS 5.5 以上かつフランス語能力がヨーロッパ言語共通参照枠 B1 相当（仏検2級）以上が望ましい ④ 原則としてフランス語Ⅱを履修中または修了していること

1991年に創立されたセルジー・ポントワーズ大学は、パリ地域にある17の国立大学の一つです。学部、修士、博士課程で、法律、経済・経営、国際学・現代言語、人文科学、科学技術など幅広い分野における教育プログラムを提供しています。ヨーロッパ、オーストラリア、カナダ、中国、インド、日本、韓国、ロシア、アフリカ、南米の54カ国の305大学と協定を結び、1,800名以上の留学生が在籍しています。



本学学生は Faculty of Languages の提供する科目から自由に履修科目を選択します。授業はフランス語または英語で行われます。

外国人留学生向けのフランス語の授業もあります。（2018-19年度を受講料は1セメスター60ユーロ、1年間110ユーロ）

留学生のために年間を通して地元やパリで文化的催しが開催されます。その他、学生団体がパーティ、スポーツイベント、会議、ショー等をおこなっており、留学生団体も日帰り旅行や社交イベント等を企画しています。

セルジー・ポントワーズの街は、外国企業を含め、多数の企業が集中するヴァル＝ドワーズ県に位置し、パリまでは車で40分、オペラ座近くの駅からも電車で40分という便利な場所です。劇場、美術館・博物館、コンサートホールを備えた活動的な都市であり、2つの国際空港も近いフランス最大の経済圏の一つです。大学は最寄りのCergy-Préfecture駅から、大学図書館、ショッピングモール、商店街を経て5分ほどの距離にあり、川沿いのヨットハーバーに近く、豊かな自然に恵まれています。

創立年	1991年
協定締結	2017年10月
学生数	約18,500人（2015/16年）
学問分野	〈留学生に開かれている学問分野〉 Languages / French Literature / Sciences / Economics and management / Law / School of Education / Linguistics and Communication / History and Geography ※本学学生は Faculty of Languages のもとで学ぶ
学期	セメスター制（秋学期：9月～1月、春学期：1月～6月）
宿舎	交換留学生専用の宿舎がある。学外のアパートやホームステイも選択できる。
URL	<a href="https://www.u-cergy.fr">https://www.u-cergy.fr</a>

## オーストラリア国立大学 Australian National University

所在地	オーストラリア、キャンベラ
留学期間	2月～11月
募集人数	3人(派遣留学生)
対象	全学科(2年生以上)、全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先:全額自己負担(2018年度AUD26,539) 本学:全額減免
寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費	寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約400万円(渡航費を除く)
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること(大学院の授業は原則として受講できない) ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ IELTS 6.5(各セクション6.0)またはTOEFL iBT 80(Reading, Writing:各20、Listening, Speaking:各18)以上

オーストラリア国立大学は1946年に、大学院研究を唯一専門とする国立大学として創設された大学で、全豪ナンバーワン、世界でもトップクラスの教育水準を誇る大学です。学部は、人文社会科学、商学/経済学、アジア太平洋学、工学/情報工学、法学、医学/生物学/環境学、数学の7つのカレッジ(学部)から構成されています。また、生物化学、地球科学、物理化学/工学、天文学、化学、アジア太平洋学など、9つのリサーチスクール(The Institute of Advanced Studies)を擁しています。国内外94カ国から約25,500人もの学生が集まっています。



キャンベラの中心部に145ヘクタールのメイン・キャンパスを構え、200を超える建物を保有しています。ハーレー・グリフィン湖を臨むキャンパスは、対岸に市の中心街があるにも関わらず、カンガルーや白オウムなどの野生動物が生息するなど、非常に自然に恵まれた環境です。図書館の蔵書数は200万冊を超え、アジア・太平洋地域では他に類をみない規模を誇っています。

本学とは1981年に学生交換協定を締結しましたが、それより前の1974年からオーストラリア人実業家ダンカン夫妻(夫人は本学卒業生)の篤志により、その奨学金で本学学生が留学していました。

創立年	1946年
協定締結	1981年4月
学生数	25,500人(2018年)
学問分野	Actuarial Studies / Archaeological Practice / Arts / Asian Studies / Biotechnology / Commerce / Computational Science / Economics / Electronic Commerce / Engineering / Finance / Information Technology / International Business / Laws / Medical Science / Music / Philosophy / Photonics / Religions / Science / Security Analysis / Software Engineering / Translation
学期	Semester制(1学期:2月～6月、2学期:7月～11月)
宿舎	本学学生はUrsula Hallと呼ばれる男女共同寮に入ることが多い。定員は200名弱で3食付。1年を通してコンサートやスポーツ大会など様々なイベントが企画されている。そのほかの寮を希望することもできる。
URL	<a href="http://www.anu.edu.au/">http://www.anu.edu.au/</a>

## ディーキン大学 Deakin University

所在地	オーストラリア、ビクトリア州メルボルン (Burwood campus : メインキャンパス)
留学期間	語学研修付き : 2月~10月、または8月~翌年6月 直接入学 : 2月~10月または翌年2月、または7月~翌年6月
募集人数	3人 (派遣留学生)
対象	全学科 (2年生以上)、全研究科 (修士課程)
学費の減免	留学先 : 全額自己負担 (2019年度 : 3科目登録の場合 1学期 AU \$ 7,590 4科目登録の場合 1学期 AU \$ 10,120) 本学 : 在籍料相当額 (年額 20万円) に減免
寮舎費・食費	自己負担 (寮あり)
所要経費	留学先学費、住居費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約 380万円 (3科目登録、寮滞在の場合) (本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣年度に在学中であること ② 20週間の事前語学研修付き : IELTS 4.5 または TOEFL iBT 35 (W13) または TOEFL ITP460 以上 (2月または8月開始) 直接入学 : IELTS 6.0 (各セクション 6.0) または TOEFL iBT 65 (Writing 21) 以上

1974年に創立されたディーキン大学は、第2代オーストラリア首相、アルフレッド・ディーキンにちなんで名付けられました。2016年のTimes Higher Education World University Rankingsで世界の大学のうちトップ2%にランクインし、またVictorian International Education Awardsで2014年と2016年に“International University of the Year”を獲得するなど高い評価を受け、オーストラリア国内の大学の中でも最も急成長を遂げている大学のひとつです。

ビクトリア州のメルボルンに1ヶ所、ジーロングに2ヶ所、ワナンブルに1ヶ所、合計4ヶ所にキャンパスを構えています。



Faculty of Arts and Education、Faculty of Business and Law、Faculty of Health、Faculty of Science、Engineering and Built Environmentの4つの学問領域のもと、300以上の学位コースで学ぶことができます。

メイン・キャンパスであるメルボルン・バーウッド・キャンパス (Melbourne Campus at Burwood) はメルボルン郊外東部にあり、中心部からはトラムで約45分です。活気ある都会型キャンパスで、26,000人以上の学部生、院生が学んでいます。

ディーキン大学附属英語学校 (DUELI : Deakin University English Language Institute) を持ち、1998年から留学生向けの英語の集中プログラムを提供しています。DUELIでの事前語学研修付きのプログラムに参加した場合、DUELIクラブのイベント運営に関してインターン生あるいはボランティア生として活動できるチャンスがあります。

創立年	1974年
協定締結	2018年6月
学生数	56,000人
学問分野	Architecture and built environment / Arts, humanities and social sciences / Business / Education / Engineering / Environment / Health / Information technology / Law / Nursing and midwifery / Psychology / Science / Sport
学期	トライメスター制 (以下“T”と表記) T1 : 2月~7月、T2 : 7月~10月、T3 : 11月~2月
宿舎	キャンパス内の寮 (自炊)、食事付きのホームステイなど
URL	<a href="http://www.deakin.edu.au/">http://www.deakin.edu.au/</a>

## フィリピン大学 University of the Philippines

所在地	フィリピン、ケソン、ディリマン
留学期間	8月～翌年5月
募集人数	1人(交換留学生)
対象	全学科(2年生以上)、全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先:全額免除 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免
寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費	寮費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約50万円(本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること ② 本学の学業成績が原則として総合GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 61 または TOEFL ITP 500 または IELTS 5.5 以上
注 意	授業は基本的に英語で行われるが、ある程度のフィリピン語の理解力があることが望ましい

フィリピン大学は1908年に人文、教養、医学という3つのカレッジとともに創立されました。現在フィリピン大学には国内各地に6つの分校があり、それぞれが多数のカレッジで幅広い専攻分野を提供しています。

本学からの交換留学生が籍を置くディリマン校はマニラやミンダナオなどフィリピン大学分校のうちでもっとも主要な学校で、様々なカレッジを有し、学部・大学院あわせて376のコースがあります。またリサーチセンターも併設しており、その多くはフィリピンの高等教育委員会によって“National Center of Excellence”として認定されています。本学からの交換留学生は決まったカレッジに所属しないので、あらゆるカレッジから自分の好きな科目を選ぶことができます。



フィリピンの公用語は英語とフィリピン語で、フィリピン大学での授業は基本的に英語で行われますが、本学派遣生の多くが選択する Social Work and Community Development の分野ではフィリピン語の知識は不可欠です。

創立年	1908年
協定締結	1991年11月
学生数	学部生 13,322人、大学院生 8,473人 (2017年8月)
学問分野	Archaeological Studies Program / College of Architecture / College of Arts and Letters / Asian Center / Asian Institute of Tourism / Cesar E.A. Virata School of Business / School of Economics / College of Education / College of Engineering / College of Fine Arts / College of Home Economics / College of Human Kinetics / Institute of Islamic Studies / School of Labor and Industrial Relations / College of Law / School of Library and Information Studies / College of Mass Communication / College of Music / National College of Public Administration and Governance / College of Science / College of Social Sciences and Philosophy / UPD Extension Program in Pampanga and Olongapo / College of Social Work and Community Development / School of Statistics / Technology Management Center / School of Urban and Regional Planning
学期	セメスター制 (1学期:8月～12月、2学期:1月～5月)
宿舎	主にインターナショナル・センターと呼ばれる学生寮に入る
URL	<a href="http://www.upd.edu.ph/">http://www.upd.edu.ph/</a>



## 梨花女子大学 Ewha Womans University

所在地	韓国、ソウル
留学期間	3月～12月、または9月～翌年6月
募集人数	2人（交換留学生または派遣留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：交換留学の場合、全額免除 派遣留学の場合、全額自己負担（2018年度：8,000,000KRW） 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	交換留学の場合：寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約90万円（本学学費、渡航費を除く） 派遣留学の場合：留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約170万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	韓国・朝鮮語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること ② 韓国・朝鮮語の学習をしていること ③ TOEFL iBT または TOEFL ITP のスコアを提出すること

梨花女子大学は1886年にメソジストの宣教師であるアメリカ人 Mary F. Scranton によって創設された、女子大学としては世界でも他に類を見ない大規模な総合大学です。韓国で最も古い女子大学であり、女子教育の先導的役割を果たしてきました。1910年には College に、1946年には韓国教育省認可の University 第1号になりました。現在は世界を視野に入れた更なる発展を目指しています。

学部課程は12のカレッジ、69の学科・専攻を有しています。現在は大学院と留学生に限って、男子学生を受け入れています。

キャンパスは首都ソウルの中心地にあり、学生は市内で催される様々な文化的行事を見逃すことがありません。広大なキャンパスは街中にあるにもかかわらず、自然に恵まれた環境です。

英語による授業も数多く提供しています。



創立年	1886年
協定締結	1987年9月
学生数	学部生 14,812人、大学院生 5,518人（2018年10月）
学問分野	人文科学大学（人文科学部、キリスト教学部） 社会科学大学（社会科学部、言論・広報・映像学部） 自然科学大学（数理物理科学部、分子生命科学部） 工科大学（ソフトウェア学部、次世代技術工学部、未来社会工学部、ヒューマンマシンバイオ工学部） 音楽大学（音楽学部、舞踊科） 造形芸術大学（造形芸術学部、デザイン学部、繊維・ファッション学部） 師範大学 法科大学 経営大学（経営学部） 医科大学（医学予備科） 薬学大学（薬学科） Scranton 大学（スクラントン学部：自己設計専攻、国際学部：国際学専攻・グローバル韓国学専攻、融合学部：脳認知科学専攻）
学期	セメスター制（春学期：3月～6月、秋学期：9月～12月）
宿舎	学寮は4,300人を収容できる。1～4人部屋あり。 その他留学生用に International House がある（1人部屋か2人部屋）。
URL	<a href="http://www.ewha.ac.kr/">http://www.ewha.ac.kr/</a>

## 国民大学 Kookmin University

所在地	韓国、ソウル
留学期間	3月～12月または9月～翌年6月
募集人数	2人(交換留学生)
対象	全学科(2年生以上)
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額(年額20万円)に減免
寮舎費・食費	自己負担(学寮は1学期約112万KRW)
所要経費	寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約90万円(本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	韓国・朝鮮語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、派遣期間中に在学中であること(学部生のみ) ② 韓国・朝鮮語の学習をしていること ③ TOEFL iBT または TOEFL ITP のスコアを提出すること

国民大学は戦後の1946年、大韓民国臨時政府指導者たちが中心となり、新しい国を作るための人材を養成することを目的として設立された韓国初の私立大学であり、現在はグローバルな学術交流を先導する教育機関として成長し続けています。

国民大学は、文科大学、社会科学大学、工科大学、造形大学のほか13大学(日本の各部に該当する)並びに一般大学院、特殊大学院及び附属研究所から構成されている総合大学です。

26カ国の140校以上の教育機関と姉妹校提携及び学術交流協定を結び、交換・訪問学生制度や単位認定語学研修などを実施しています。特に1998年に新設された国際学部の日本地域研究は国民大学の三本の柱といわれており、国内の大学ではトップを競う分野となっております。附属研究所の一つである日本学研究所は韓国政府の学術基金に支えられ、多様な長期プロジェクトを遂行しており、韓国における日本研究の拠点としての役割を果たしています。

英語および日本語による授業も数多く提供しています。



創立年	1946年
協定締結	2016年4月
学生数	学部生 15,162人(2018年10月)
学問分野	College of Social Sciences / College of Law / College of Economics & Commerce / College of Creative Engineering / College of Design / College of Science and Technology / College of Arts / College of Physical Education / College of Business Administration / College of Computer Science / College of Architecture / College of Automotive Engineering / College of General Education
学期	セメスター制(春学期:3月～6月、秋学期:8月末～12月)
宿舎	学内外に学寮あり
URL	<a href="http://www.kookmin.ac.kr">http://www.kookmin.ac.kr</a> (Korean) <a href="http://english.kookmin.ac.kr">http://english.kookmin.ac.kr</a> (English)

## 南京大学海外教育学院 Institute for International Students, Nanjing University

所在地	中国江蘇省南京市
留学期間	2月～翌年1月または9月～翌年6月
募集人数	3人(派遣留学生)
対象	全学科(2年生以上)、全研究科(修士課程)
学費の減免	留学先:全額自己負担(2018年度:19,000元) 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免
寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約115万円(本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	中国語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること(ただし、受講できるのは学部の授業のみ) ② 中国語Ⅱを履修中または単位修得済みであること

南京市の中心部に位置する南京大学は中国において古い歴史と伝統を持つ最も著名な大学のひとつです。幅広い研究領域、充実した研究設備をもち、現在、学部における82の専攻、修士課程における213の専攻、博士課程における139の専攻と23の博士後研究員室、そのすべてで留学生を受け入れています。中国で最大規模の図書館を所有し、465万冊以上の蔵書があります。また、キャンパスには研究所、総合研究センター、分析センター、ネットワーク情報センター、教育テクノロジーセンターなどの施設があります。



本学と協定を結ぶ、海外教育学院は南京大学鼓楼キャンパスにあり、初級から大学院レベルまでの中国語プログラムを提供しています。1955年に最初の留学生を受け入れて以来、100以上の国から数多くの留学生を受け入れてきました。現在は韓国、アメリカなどから約1,800名の留学生が南京大学海外教育学院で学んでいます。留学生は中国語のほか、中国近代史、中国経済、中国絵画、中国哲学、太極拳などを選択することができます。

キャンパスのある南京市は江蘇省の省都で、長江下流の沿岸に位置します。同市は江南地域の中心的な経済都市で、悠久の伝統と文化を有します。四季があり、風光明媚で、快適かつ安全に暮らせませす。夏場の気温は高く、7・8月の平均気温は30度を超すこともあります。北京、西安、洛陽に並ぶ中国四大古都の一つで、歴史的遺跡、とりわけ六朝時代、明朝時代、中華民国時代の遺産が数多く保存されています。

創立年	1955年(南京大学海外教育学院) 1902年(南京大学)
協定締結	2011年4月
学生数	1,798人(2012年12月)
学問分野	中国語、中国近現代史(日中関係)、中国文化論
学期	2学期制(秋学期:9月～1月、春学期:2月～6月)
宿舎	留学生には寮が優先的に提供される。
URL	<a href="http://hwxy.nju.edu.cn/">http://hwxy.nju.edu.cn/</a> (南京大学海外教育学院) <a href="http://www.nju.edu.cn/">http://www.nju.edu.cn/</a> (南京大学)

## 香港樹仁大学 Hong Kong Shue Yan University

所在地	中国香港島
留学期間	9月～翌年5月
募集人数	2人(交換留学生)
対象	全学科(2年生以上)
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額(年額20万円)に減免
寮舎費・食費	自己負担
所要経費	寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約110万円(本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	英語(一部広東語で行われるものもある)
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、派遣期間中に在学中であること(学部生のみ) ② IELTS 6.0(各セクション5.5)またはTOEFL iBT 79以上

樹仁大学は初めての私立の4年制大学として1971年に香港に設立されました。中等教育を終了した学生を受け入れるための教育機関の整備を求める声に応え設立され、過去40年以上にわたり優秀な人材を輩出してきました。また、21世紀における香港と中国本土との調和のとれた関係に寄与することのできる人材を育てることも樹仁大学の使命と考えられています。

人文社会科学を中心に11の学科において幅広い専門分野を学ぶことができます。授業は基本的に英語で行われますが、広東語で行われる科目もあります。

キャンパスは、香港島の中心街・銅鑼湾からミニバスで10分程度の距離にあります。学内に2～4人部屋からなる寮があります。



創立年	1971年
協定締結	2016年6月
学生数	学部生5095人、大学院生141人 合計5236人(2015年)
学問分野	中国語・中文学、英語・英文学、歴史、ジャーナリズム・コミュニケーション、会計学、経営学、経済学・財政学、法学・ビジネス、カウンセリング・心理学、社会学、社会福祉
学期	第1学期：9月～翌1月 第2学期：1月～5月
宿舎	学寮あり
URL	<a href="http://www.hksyu.edu/">http://www.hksyu.edu/</a>

## 淡江大学 Tamkang University

所在地	台湾省台北県淡水鎮
留学期間	2月～翌年1月または9月～翌年6月
募集人数	2人(交換留学生)
対象	全学科(2年生以上)
学費の減免	留学先:全額免除 本学:在籍料相当額(年額20万円)に減免
寮舎費・食費	寮舎費:全額免除 食費:自己負担
所要経費	食費、教材費、保険、諸雑費 年間約75万円(本学学費、渡航費を除く)
授業の言語	中国語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、派遣期間中に在学中であること(学部生のみ) ② 中国語Ⅱを履修中または修了していること
注意	派遣学生選考一次試験(中国語能力試験)は繁体字を含む

淡江大学は1950年、淡江英語専科学校として開校し、その後1958年に文理学院となり、1980年に大学となりました。現在では台湾最大の学生数を抱える大規模な私立大学です。専攻分野は8学部50学科(研究科含む)に及び、総蔵書数は100万冊を越えます。台北・淡水の二つのキャンパスに加え、2006年には蘭陽キャンパスが建設されました。テンポの速い発展をした大学として、様々なパイオニア的試みを実施したことも特色のひとつにあげられます。教授法プログラムや図書館システム、大学行政での積極的なコンピューター利用、また学生による授業評価の取り入れや夜間学部の設立など、台湾の私立大学としては初めてという試みを多くしてきました。



現在は「量より質の重視」の方針をとり、「国際化、情報化、未来化」という3つの理念を打ち立てています。教育の質を厳しく追及し、より地域に根ざした総合大学として発展し、ひいては国際的な学術研究の舞台で活躍できる、世界でトップクラスの総合大学へと成長していくことを目下の課題としています。

創立年	1950年
協定締結	1994年4月
学生数	27,041人(2014/15年度)
学問分野	文学部、理学部、工学部、商管学部、外国語文学部、教育学部、グローバル企業発展学部
学期	2学期制(1学期:9月～1月、2学期:2月～6月)
宿舎	本学学生は松涛館という4人部屋からなる学寮又は留学生用の麗澤国際寮に入る。
URL	<a href="http://www.tku.edu.tw/">http://www.tku.edu.tw/</a> <a href="http://foreign.tku.edu.tw/lang/index-j.asp">http://foreign.tku.edu.tw/lang/index-j.asp</a>

## メトロポリタン自治大学 Universidad Autónoma Metropolitana

所在地	メキシコ、メキシコシティ
留学期間	9月～翌年7月
募集人数	2人（交換留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程、博士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担
所要経費	宿舍費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約110万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	スペイン語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上あるいは大学院修士課程または後期博士課程に在学しており、派遣期間中に在学中であること ② スペイン語Ⅱを履修中または修了していること ③ DELE B1を取得していることが望ましい
注意	語学能力によっては8月の語学研修を義務付けられる

メトロポリタン自治大学は共学の公立大学で、5つのキャンパスを持っています。本学からの派遣学生はイスタパラパ（Iztapalapa）キャンパスで学びます。学生数は15,000人、教員数は約700人です。授業はスペイン語で行われ、英語で開講している科目はありません。留学生向けのスペイン語コースもありません。

専攻分野は① Social Sciences and Humanities、② Basic Sciences and Engineering、③ Biological and Health Scienceの3分野に分かれています。



創立年	1974年
協定締結	2005年10月
学生数	約15,000人
学問分野	Social Anthropology / Economics / Philosophy / Sociology / Computing / Electronic Engineering / Energy Engineering / Chemical Engineering / Chemistry / Biomedical Engineering / Physics / Hydrological Engineering / Mathematics / Biology / Experimental Biology / Hydrobiology / Food Engineering / Biochemical Industrial Engineering / Animal Production
学期	3学期制（1学期：9月～12月、2学期：1月～3月、3学期：4月～7月）
宿舎	ホームステイ、アパート等
URL	<a href="http://www.uam.mx/">http://www.uam.mx/</a> （メトロポリタン自治大学） <a href="http://www.izt.uam.mx/">http://www.izt.uam.mx/</a> （メトロポリタン自治大学イスタパラパ）

## 日加戦略的留学生交流促進プログラム

日加戦略的留学生交流促進プログラムは、日本コンソーシアム協定大学とカナダコンソーシアム協定大学に在籍する学生を相互に交換する学生交流プログラムです。コンソーシアム形式の計画的・継続的な交流により、1対1の交流協定では難しい幅広い日加間の学生交流に資することを目的としています。

主な事業内容は、短期の学生交流プログラムである日加学術フォーラムの実施および本コンソーシアム枠での交換留学です。

交換留学の参加のためには学内の選考試験を経て日本コンソーシアムの推薦を受ける必要があります。留学先授業料は全額免除となります。詳しくは当該年度の募集要項で確認してください。

### 日加コンソーシアム加盟校 (2019年2月現在)

日本コンソーシアム加盟校 (9大学)	カナダコンソーシアム加盟校 (10大学)
桜美林大学	University of Alberta
関西学院大学	University of British Columbia
城西国際大学	York University
西南学院大学	Queen's University
津田塾大学	Université de Montréal
名古屋大学	Concordia University
法政大学	Université Laval
北海道大学	University of Prince Edward Island
明治大学	University of Waterloo & Renison
	University of Regina

## 留学体験記 1 協定校留学 (アメリカ スペルマン大学)

学芸学部 国際関係学科 蒲 怜奈

(留学期間：2017.8～2018.5 留学開始時：3年次)

私は2017年8月から2018年5月まで、アメリカのジョージア州アトランタにある、スペルマン大学に交換留学生として留学しました。

アトランタはアメリカ南部にある大きな都市で、アメリカのハブ空港である Hartsfield-Jackson 空港もあります。スペルマン大学はその空港から車で15分くらいのところにあります。スペルマン大学がある地区は主に黒人の人たちが多く住む地区で、決して治安がいいとは言えないところでした。大学内には常に警察がいて、夜はもちろん、昼間もあまり一人で出歩かないように、と言われていました。アトランタと言っても、地区によって住んでいる人種の割合が違います。電車に乗って北の方に行けば小綺麗な街が広がり、白人が多く見られるようになります。お店やレストランごとに見られる人種も違い、意識的なのか無意識的なのかはわかりませんが、人種ごとに住み分けがされている感じでした。どこに行っても日本人がいる日本とは違い、人種によって行く場所や住む場所が違うのはとても新鮮で、人種問題の根深さを実感しました。

スペルマン大学は、HBCU という歴史的黒人大学の1つの女子大で、学生はほぼ黒人でした。留学生もアフリカからくる留学生がほとんどで、アジア人留学生は私一人でした。私がスペルマン大学に留学したのは、女性学に興味があったのと、今まで日本で日本人というマジョリティとして生きてきた自分を、スペルマン大学でアジア人というマイノリティになる環境に置き、今まで見えなかった違う視点からの社会や差別というものを、身を以て体験したいと思ったからです。そのため、スペルマン大学は私にとってぴったりの環境でした。アメリカ人たちが思う「日本人」というステレオタイプと自分自身とのギャップや偏見に苦しんだり、逆に、今まで差別されてきた黒人たちの苦しみを心から理解できないことにとっても苦しんだこともありました。クラスの子達と仲良くなれても、人種の壁を超えて本当に仲良くなれているのか、と疑問に思うこともありました。留学を終えて最終的に思ったのは、やはり人種問題は根深すぎて私一人ではどうしようもないことだけれど、互いに歩み寄って、もっと深く知ろう、という気持ちがとても大切で、一番怖いのは無関心、または無知であるということでした。

私はこの留学を通して、様々な視点から物事を見たり、考えたりする力を得ました。この留学で得た経験と、日本にいたら知ることなかった広くて深い世界は、これから先私の人生において、就職活動をする上でも、社会に出て仕事をする上でも、活かされていくと思います。



Japan club の宣伝のために盆踊りを披露した後に撮った集合写真



## Ⅲ 留学のための情報収集

### 1. 留学全般

#### 津田塾大学国際センター

国際センターには協定校のカタログをはじめとして、アメリカや英国、その他の国々の大学・大学院の資料が多数あります。資料のほとんどは貸し出しをしています。留学奨学金の資料や留学情報雑誌も自由に閲覧することができます。パソコンも置いてありますので、大学のウェブサイトを見るなど留学情報の収集に積極的に利用してください。

留学に関する質問や相談は毎日受け付けています。そのほか国際センターでは、さまざまな国際交流プログラムに関する情報を提供していますので、留学や国際交流に関心のある方は立ち寄って掲示をご覧ください。

国際センターのウェブサイト (<http://www2.tsuda.ac.jp/cie>) にも協定校の情報等を掲載しています。「留学・国際交流情報リンク集」には留学に役立つ各国のウェブサイトの紹介もしていますので、参考にしてください。

また、国際センターでは本学留学体験者および受入交換留学生による大学紹介を中心とした「留学フェア」をはじめ、内外の関係者による留学関連の説明会を開催していますので活用してください。

取扱資料 各国大学・大学院資料、留学ガイドブック・マニュアル、留学雑誌・書籍、留学報告書、奨学金資料、語学試験資料、TOEFL・IELTS 関連資料、語学研修・国際交流プログラム、ボランティア・インターンシップ関連資料等

場 所 小平キャンパス7号館1F

開室時間 月～金 9:00～11:15 12:15～16:30

留学相談 月～金 12:15～16:15

Tel 042-342-5164 Fax 042-342-5290

Email [cie@tsuda.ac.jp](mailto:cie@tsuda.ac.jp)

#### 独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学支援サイト

日本学生支援機構（JASSO）では、海外留学を考える方にぜひ読んでいただきたい基本情報をまとめ、公開しています。

<http://ryugaku.jasso.go.jp>

なお、奨学金については P77～79 を参照してください。

また、語学検定試験については P57、58 を参照してください。

## 2. アメリカ留学

本学はアメリカの以下の9大学と、学生交流に関する協定を結んでいます。

ブリンマー大学、インディアナ大学パーデュー大学インディアナポリス、ミネソタ州立大学モアヘッド、ランドルフ大学、サラール・ロレンス大学、スペルマン大学、カリフォルニア大学デービス校、カンザス大学、ウエスタン・ワシントン大学

協定校の詳細についてはP.9～17を参照してください。

### EducationUSA、フルブライト・ジャパン

EducationUSA、フルブライト・ジャパンは日米両国政府が共同で運営管理する公的機関として、アメリカの大学・大学院への留学に関する無料相談、情報提供、リファレンス資料、説明会のサービスをAmerican Center Japanにて行っています。

American Center Japan  
〒107-0052 東京都港区赤坂1-1-14 野村不動産溜池ビル8階  
<http://americancenterjapan.com>

〈資料室〉\*リファレンスサービスには予約が必要です。  
開館時間：月～金 13:00～17:00（日米の祝祭日、臨時休館日を除く）  
予約メール：AmCtrJapan@state.gov

〈米国への語学・大学留学に関する質問・相談〉\*個別相談は予約が必要です。  
場所：EducationUSA アドバイジングセンター／American Center Japan内  
受付時間：月・水・金 13:00～17:00（日米の祝祭日、臨時休館日を除く）  
問い合わせフォームあるいは電話での質問・相談も受け付けています。  
TEL：03-5545-7435（月・水・金 13:00～17:00）  
<https://americancenterjapan.com/toiwase-ryugaku/>

フルブライト奨学金のほか、アメリカ留学に関する奨学金については日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）のホームページを参照してください。

<http://www.fulbright.jp/scholarship/index.html>  
直接ご相談のある方は、下記の時間にご利用ください。  
受付時間：月～金 9:00～17:30（日米の祝祭日、臨時休館日を除く）  
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル207号  
TEL：03-3580-3231

## 役立つウェブサイト

以下のウェブサイトは、EducationUSA (<https://jp.usembassy.gov/ja/education-culture-japan/study-usa-japan/advising-japan/>) のサイトからリンクされています。

- よくある質問 (日米教育委員会・フルブライトジャパン)
- アメリカ留学情報 (留学ガイド)
- アメリカ合衆国 留学情報 (日本学生支援機構)
- 奨学金情報
- 大学検索 College Board
- 大学院検索 Peterson's Grad School Bound
- 語学留学検索 Intensive English USA
- 語学留学検索 Commission on English Language Program Accreditation (CEA)
- 語学留学検索 University Consortium of Intensive English Programs (UCIEP)
- 語学留学検索 EnglishUSA
- 学生ビザ よくある質問
- ビザ問い合わせ先

## アメリカ留学Q&A

Q：アメリカ留学にはどの程度の語学力が必要でしょうか？

4年制大学の場合一般的には最低でも TOEFL iBT で 61 点以上、IELTS で 5.5 以上必要とされています。点数が足りない場合には、事前語学研修の参加や語学科目の履修を義務付ける「条件付入学許可」を出す大学もあります。早めに何度か TOEFL iBT あるいは IELTS を受験してスコアアップに努めましょう。(詳しくは P.51 ~ 54 参照)

Q：TOEFL 以外に受けなければならない試験があると聞きましたが…

Non-degree (Visiting) student (学位を取得しない学生) あるいは Transfer student (編入生) として留学する場合、英語のスコアの提出だけでよい場合がほとんどですが、中には SAT あるいは ACT のスコアを求められることがあります。どちらも 2 年制・4 年制大学進学を希望する高校生のための進学適性テストです。アメリカの大学が SAT のスコア提出を要求してくる場合、各大学のカタログなどを見ても、一般に TOEFL のように“〇〇点以上”と明記されていません。勿論、得点が高ければ高いほどよいのですが、仮にスコアが低くても他の面で条件を満たしていれば入学を許可される可能性があります。

Q：アメリカ留学にはどれくらいお金がかかりますか？

評判のよい私立大学は授業料が非常に高く、授業料だけで 1 年間 30,000 ~ 50,000 ドルかかることもあります。州立大学で 10,000 ~ 37,000 ドル。生活費は月 900 ~ 1,300 ドルかかるでしょう。その他、渡航費、保険などの費用がかかります。

Q：最初の授業登録はどのように行われるのですか？

まず留学先の大学に着いてから、授業のスケジュール表を渡され、Academic Advisor の助言のもとに登録する授業を選びます。編入の場合、Advisor はあなたが学位取得を目指していると考えて、長期的展望に立って、必要と思われるコースの受講を勧めてくることと思います。1 年間の留学の場合、自分のとりたい科目を基に、Advisor と交渉することになるでしょう。出願時に成績証明書の提出が間に合わず、本学で修得した単位の Transfer ができなかった科目がある場合は、最新の成績証明書を持参し、それを示しながら交渉するとよいでしょう。

**Q：何科目登録したらよいのでしょうか？**

留学生は、各学期に12単位以上登録することが義務づけられています。1つ3単位の科目なら4つ登録することになります。これは少ないと感じるかもしれませんが、アメリカの大学では3単位の科目の場合、週3回1時間の授業があり、毎回宿題が山のように出るのが普通ですから、4科目でも毎日の予習、復習は相当ハードになります。

**Q：授業はどのように進められるのですか？**

まず最初の授業の時に、担当教員からシラバス（授業の進行予定表）が配られます。シラバスには、その講義の概要、読むべき本のリスト、課されるペーパーやテスト、評価基準や授業の進め方等が詳しく書かれており、これにそって授業が進められていきます。教室では教員と学生が活発に意見を述べ合う形で授業が行われますので、きっちり予習して積極的に討論に参加することが求められます。授業やペーパーのためにこなさなければならぬ読書量は相当なもので、これでかなり苦労したという留学経験者も多いようです。

**Q：一度登録した科目を放棄することはできますか？**

登録後、授業に出てみて、その科目の登録を取り消したくなった学生のために、登録科目を変更できる期間が1、2週間、学期の初めに設けられています。Add & Drop と呼ばれるこの期間に、できるだけ登録科目を決定するようにしてください。この期間内であれば、登録を取り消した科目について、成績証明書には何も残りません。留学生は最低12単位登録することになっていますので、12単位内で登録を取り消したい科目がある時には、他の科目を代わりにとらなければなりません。この場合には、新たに登録したい科目の担当教員の許可を得る必要があります。Add & Drop の期間を過ぎた後でも、一定期間内であれば登録した科目の放棄（Withdraw）ができますが、手続きがより面倒になり、放棄願が認められないこともあります。また、授業料は単位数で決まりますので、いつまでに登録を取り消せば全額あるいは何%払い戻してもらえるかを確認することも必要です。

**Q：4年制大学で学んだことのない分野をアメリカの大学院で学ぶことはできますか？**

学部レベルの専門が異なっても大学院留学が可能な場合があります。ただし、専攻分野によっては大学で一定の単位数を修得していること、あるいは同分野の学士号を取得していることが大学院入学の条件になっていることがありますので、調べてみてください。

## 3. 英国留学

本学は英国（イングランド、スコットランド、ウェールズ）の以下の6大学と、学生交流に関する協定を結んでいます。

アベリストウィス大学、ブリストル大学、エディンバラ大学、リーズ大学、ウルバーハンプトン大学、ヨーク大学  
協定校の詳細についてはP.19～24を参照してください。

### ブリティッシュ・カウンシル

ブリティッシュ・カウンシル (British Council) は諸外国に英国の理解を深めるために設立された英国政府公認の機関です。東京センターでは大学、大学院、語学、専門、短期など、さまざまなタイプの留学に関する情報を提供しています。なお、面談での相談は留学フェア等のイベントの際に行われます。

ブリティッシュ・カウンシルのウェブサイトでは、大学学部留学・大学院留学・語学留学の情報のほか、コース検索や奨学金情報も調べることができます。

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-2

Tel 03-3235-8031 (火～金 9:30～17:00) Fax 03-3235-8040

Email 英会話スクール・教室問合せ courses@britishcouncil.or.jp

その他の問い合わせは、ウェブサイトの専用フォームから

<http://www.britishcouncil.jp>

### 役立つウェブサイト

留 学 全 般	Study UK	英国の教育制度やコースの選び方など、留学希望者が留学計画を立てる際に役立つ情報を得られるブリティッシュ・カウンシルによるサイト
	UKCISA	英国で学ぶ留学生および関係者のための情報提供サイト。ビザ、授業料と奨学金、修学中及び卒業後の就労など様々な情報に加え留学生のための最新ニュースも閲覧できる
	UCAS (大学入学選考センター)	英国内の学部、大学院等高等教育機関に関する情報の提供
語 学 研 修	English UK	Accreditation UK の認定を受けた英語学校の全国組織。コース検索ができる
	Accreditation UK	ブリティッシュ・カウンシルと English UK による英国内英語学校認定制度。認定校の検索ができる
ビザ情報	英国内務省 GOV. UK	英国政府のビザサービスならびにビザ情報提供サイト
	VFS GLOBAL	外部委託機関によるビザ情報提供サイト

## 英国留学Q&A

Q：4月から留学を開始できる制度があると聞きました。どのような制度ですか？
JYA (Junior Year Abroad) もしくは Study Abroad Programme といい、4月から9月まで英語研修を受け、10月から1学期間 (あるいは2学期間) 希望する学科を選択して、英国の学生や世界各国からの留学生たちと一緒に勉強をする、という制度です。半年間の英語研修がついているので、英語力がやや足りない場合でも受け入れてもらうことができます。
Q：英国留学にはIELTSの証明が必要なのですか？
入学にはIELTSでBand6 (各セクション5.5) 以上が必要です。ライティングのスコアを要求する大学もあります。また、英国政府は2015年4月6日より、これまで実施されてきたIELTSに加えビザの取得を目的としたIELTS for UK Visas and Immigration (IELTS for UKVI) を導入しました。IELTS for UKVIは認定を受けた東京と大阪のテストセンターでのみ受験可能です。Highly Trusted Sponsor (HTS) の資格を持つ教育機関へ、学位 (学士、修士、博士など) レベルの留学のためにTier4学生ビザを申請する場合、留学先の教育機関が指定する語学力証明を提出する必要があります。教育機関によって受験するIELTSの試験タイプが異なりますので、必ず留学先の教育機関へ確認してから申し込みをしてください。(詳しくはP.52～54参照)
Q：英国留学にはどれくらいお金がかかりますか？
1年間の学部留学で授業料が文系コースで11,000～16,000ポンド、理系コースで13,000～18,000ポンド。生活費がロンドンなど都市部で1ヵ月1,020ポンド程度、その他の地域で820ポンド程度かかるでしょう。

## 4. その他の国々

### ▶▶ 北米、中南米 ◀◀

#### (1) カナダ

本学はマギル大学と学生交流に関する協定を結んでいます。

また、本学は、「日加戦略的留学生交流促進プログラム」を実施する日加コンソーシアムの加盟校です。

カナダコンソーシアム加盟校 (2019年2月現在)

アルバータ大学、ブリティッシュコロンビア大学、ヨーク大学、クイーンズ大学、モントリオール大学、コンコーディア大学、ラヴァル大学、プリンスエドワードアイランド大学、ウォータールー大学レニソン校、レジャイナ大学

協定校の詳細についてはP.18、及び「日加戦略的留学生交流促進プログラム」の詳細についてはP.38を参照してください。交換留学参加校は募集要項で確認してください。

#### 駐日カナダ大使館 E・H・ノーマン図書館

留学資料コーナーでは、大使館で作成した留学案内資料の他、カナダ各地の大学、カレッジ、専門学校、語学学校等から送られてくるパンフレットを入手できます。

〒107-8503 東京都港区赤坂7-3-38

利用時間 月～金 12:30～16:30

休館日 土日、カナダおよび日本の休日の一部

Tel 03-5412-6200 Fax 03-5412-6287

Email tokyo.lib-bib@international.gc.ca

### 役立つウェブサイト

留学情報	EduCanada	留学生のためのカナダ留学情報全般
語学研修	Languages Canada	語学研修機関の団体で、公立と私立の英語およびフランス語研修プログラムを認定している。
奨学金	EduCanada (Scholarships のページ)	留学生対象の奨学金・助成金を検索できる
ビザ情報	カナダビザ申請センター (CVAC)	学生ビザ申請は、オンライン申請、もしくは、カナダビザ申請センター (CVAC) を通して行う。CVAC 経由の場合書類はカウンター受付もしくは郵送により提出。詳細は下記 CVAC のウェブサイトを参照のこと。 <a href="http://www.vfsglobal.ca/Canada/Japan/japanese/index.html">http://www.vfsglobal.ca/Canada/Japan/japanese/index.html</a> [日本語]

## (2) メキシコ

本学はメトロポリタン自治大学と学生交流に関する協定を結んでおり、5つのキャンパスのうちのイスタパラパ・キャンパスで学ぶことができます。協定校の詳細についてはP.37を参照してください。

### 役立つウェブサイト

基本情報	駐日メキシコ合衆国大使館	メキシコに関する基本情報、領事部関連情報等
学校検索	Universia. net	スペイン語圏の大学を結ぶ大学関連情報サイト。大学検索も可。留学生向けの情報もある。
教育制度	メキシコ教育省	メキシコの教育制度についての情報を掲載
	ANUIES/ 高等教育機関協会	メキシコの教育制度について掲載。大学検索も可能
奨学金	メキシコ政府奨学金	メキシコ大使館のメキシコ政府奨学金に関する情報
	メキシコ国家科学技術審議会 / Consejo Nacional de Ciencia y Tecnologia	奨学金の情報
ビザ情報	駐日メキシコ合衆国大使館	ビザ関係の問合せ先 <a href="mailto:conjpn@sre.gob.mx">conjpn@sre.gob.mx</a>

## ▶▶オセアニア◀◀

### (1) オーストラリア

本学はオーストラリア国立大学、ディーキン大学と学生交流に関する協定を結んでいます。協定校の詳細についてはP.29～30を参照してください。

### 役立つウェブサイト

留学情報	Study in Australia	オーストラリア政府公式留学情報ウェブサイト。オーストラリアの教育システム、中・高校、語学学校、専門学校、大学などの留学情報、学校検索、奨学金情報等を網羅
学校検索	Commonwealth Register of Institutions and Courses for Overseas Students (CRICOS)	留学生を受け入れることのできる連邦政府登録校および各種コースの検索ができる
語学研修	全国英語学校認定機構 / NEAS : National ELT Accreditation Scheme	英語学校認定制度の審査の基準 (教師の資格、カリキュラム、学校設備、料金など) が掲載されている
	English Australia	NEAS 等の認定を受けている英語学校が加盟している自主運営組織。加盟校の検索ができる
奨学金	エンデバー奨学金	オーストラリアでの学習、研究や専門的能力開発のために提供される、留学生のための奨学金
ビザ情報	駐日オーストラリア大使館	オンライン申請

## (2) ニュージーランド

### 役立つウェブサイト

留学情報	Study in New Zealand	留学に関する情報を提供
留 学 生 受 入 教 育 機 関	ニュージーランド資格庁 / NZQA : New Zealand Qualification Authority	工科大学・ポリテクニクや語学学校など、高校以降の教育を提供する総合大学以外の公立・私立の教育機関の品質保証を行っている。 また、NZQF (New Zealand Qualifications Framework) というシステムを設置し、高校、総合大学、工科大学・ポリテクニクなどで取得した単位や学位、資格が全国的に互換されるようになっている。
	Universities New Zealand	Universities New Zealand の大学教育プログラム委員会とアカデミック・クオリティ・エージェンシーが大学資格の質を調査して保証している。
奨 学 金	Study in New Zealand	留学生向けの奨学金の検索ができる
語学研修	English New Zealand	認定語学学校が加盟している自主運営組織。加盟校の検索ができる
ビザ情報	ニュージーランド移民局 / Immigration New Zealand (INZ)	ビザ取得に必要な各種申請書がダウンロードできる

## ▶▶アジア◀◀

## (1) 中 国

本学は南京大学海外教育学院、香港樹仁大学と学生交流に関する協定を結んでいます。協定校の詳細については P.34 ~ 35 を参照してください。

### 公益社団法人日本中国友好協会 留学センター

メールによる無料カウンセリングなどのサービスのほか、中国政府奨学金募集の案内も行っている。

〒 101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-4 日中友好会館 6 階

月～金 10:00 ~ 17:00 (土日祭日は休み)

Tel 03-3291-4231 Fax 03-3291-4237

Email ryugaku@j-cfa.com

<http://www.j-cfa.com/abroad/index.html>

### 役立つウェブサイト

留学情報	留学中国網	中国留学服務中心によるウェブサイト
奨 学 金	霞山会	アジア諸国から中国・台湾への留学生、研究者等への支援を行っている
	中国国家留学網	国家留学基金管理委員会による中国政府奨学金情報
ビザ情報	駐日中華人民共和国大使館	ビザ取得に関する情報が掲載されている



## (2) 韓 国

本学は梨花女子大学、国民大学と学生交流に関する協定を結んでいます。協定校の詳細については P.32 ~ 33 を参照してください。

### 役立つウェブサイト

留学情報	Study in Korea	教育科学技術部国立国際教育院の留学生向け情報ページ。韓国の教育制度、留学手続き、大学など高等教育機関情報、大学付属語学コースのリスト、留学体験談など
ビザ情報	駐日大韓民国大使館	ビザ取得に関する情報が掲載されている

## (3) フィリピン

本学はフィリピン大学と学生交流に関する協定を結んでいます。協定校の詳細については P.31 を参照してください。

### 役立つウェブサイト

留学情報	CHED (Commission on Higher Education)	フィリピン高等教育委員会。住所、ホームページ、プログラム内容など、各大学の情報が地域別にまとめている
ビザ情報	駐日フィリピン共和国大使館	ビザ取得に関する情報が掲載されている

## (4) 台 湾

本学は淡江大学と学生交流に関する協定を結んでいます。協定校の詳細については P.36 を参照してください。

### 役立つウェブサイト

留学情報	Study in Taiwan	台湾教育省が発信する留学生向け台湾教育情報。奨学金検索ページ、語学留学実現への手引きや語学学校リストへのリンクをまとめたページ、基本的な教育統計を掲載している
	公益財団法人日本台湾交流協会東京本部	台湾から日本への渡航に関する情報が主だが、奨学金留学生についての情報もある。
奨 学 金	霞山会	アジア諸国から中国・台湾への留学生、研究者等への支援を行っている
ビザ情報	台北駐日経済文化代表処	ビザ取得に関する情報が掲載されている

## ▶▶ヨーロッパ◀◀

### (1) スウェーデン

本学はブレーキング工科大学と学生交流に関する協定を結んでいます。協定校の詳細については P.25 を参照してください。

#### 役立つウェブサイト

留学情報	Study in Sweden	スウェーデン文化交流協会 (SI : Swedish Institute) が運営している外国人留学生のためのスウェーデンの高等教育情報。スウェーデンの大学・語学学校、奨学金、生活など留学全般に関する情報。Programs から学位プログラムの検索もできる
奨学金	The Swedish Institute 奨学金	奨学金留学生を世界各国から募集する。
	スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団助成金	主に医学、人文科学、社会科学、自然科学、技術の中で研究、開発、教育、訓練を推進することを目的とし、北欧諸国と日本の組織、機関、個人に奨学金を提供している
ビザ情報	駐日スウェーデン大使館	スウェーデン移民局のウェブサイトからオンラインで居住許可申請を行う

### (2) スペイン

#### 役立つウェブサイト

留学情報	Study in Spain	スペイン政府観光局のウェブサイト。語学留学から大学留学までを網羅し、大学の宿舎なども直接検索できる
	スペイン大使館経済商務部	スペインの概要、留学フェア等スペイン関連イベント情報、関連ニュースなど。スペインの政府系機関などへのリンクあり
	セルバンテス文化センター	レベルからセルバンテス文化センターでの語学コースの検索可
語学研修	スペイン語学学校連盟 FEDELE	州単位で組織されるスペイン語学学校協会によって構成されている連盟。加盟校の検索ができる
ビザ情報	駐日スペイン大使館	ビザ取得に関する情報が掲載されている

### (3) ドイツ

本学はブレーメン応用科学大学、ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフと学生交流に関する協定を結んでいます。協定校の詳細については P.26 ~ 27 を参照してください。

#### ドイツ学術交流会 Deutscher Akademischer Austauschdienst (DAAD) 東京事務所

ドイツ連邦共和国の大学が共同で設置している機関。

ドイツ留学に関する情報や奨学金について掲載されている。ニュースレターを発行して、ドイツの研究政策、ドイツの大学に関する情報、DAAD 奨学金や関連機関の奨学金情報、関連する募集要項発表のお知らせ、大学における日独交流などについて電子メールで情報を提供している (ドイツ語・日本語)。

〒 107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56 ドイツ文化会館内

事務時間 月～金 10:00～12:30、13:30～17:30 (一般の訪問受付時間は14:00～17:00のみ)

Tel 03-3582-5962 Fax 03-3582-5554

Email daad-tokyo@daadjp.com

http://tokyo.daad.de/wp/lang/ja/

#### 役立つウェブサイト

語学研修	東京ドイツ文化センター (ゲーテ・インスティトゥート)	東京ドイツ文化センターが実施するドイツ語コース、ドイツの語学学校、ドイツ語検定試験情報
	studienwahl.de	ドイツ連邦雇用庁と、各州の文部大臣からなる常設委員会が共同で運営するウェブサイト。大学教育に関する情報を掲載
	Kursnet	ドイツ連邦雇用庁が運営するウェブサイト。キーワードや職業名からドイツ国内で職業教育を提供している学校を検索できる
ビザ情報	駐日ドイツ連邦共和国大使館・総領事館	ビザなしで入国した後に滞在許可申請を行う

## (4) フランス

本学はセルジー・ポントワーズ大学と学生交流に関する協定を結んでいます。協定校の詳細については P.28 を参照してください。

### フランス政府留学局 Campus France 日本支局 東京メインオフィス (駐日フランス大使館内)

〒 106-8514 東京都港区南麻布 4 丁目 11-44 フランス大使館 1F

業務時間 月～金、9:00～18:00

電話受付時間 月～金、14:00～18:00

留学に関する個別相談 毎月第2・4金曜日 14:00～18:00 (電話・フォームの送信とともに前日の17時までに完了していない場合、予約不可)

Tel 03-5798-6266 Fax 03-5798-6304

Email tokyo@campusfrance.org

http://www.japon.campusfrance.org/ja/

#### 役立つウェブサイト

奨学金	フランス政府給費留学生	在日フランス大使館による奨学金情報
語学研修	Agence de Promotion du FLE (Le français langue étrangère en France)	語学学校 (大学付属・公立・私立) のプログラムを紹介
ビザ情報	駐日フランス大使館	ビザ取得に関する情報が掲載されている

## (5) ロシア

役立つウェブサイト

留学情報	Education in Russia for Foreigners	ロシア留学に関する情報掲載
ビザ情報	駐日ロシア連邦大使館	ビザ取得に関する情報が掲載されている

## 5. TOEFL®

### TOEFL® テストとは

TOEFL テスト (Test of English as a Foreign Language) は、1964 年に英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテストとして、米国非営利教育団体である Educational Testing Service (ETS) により開発されました。大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な、「読む」「聞く」「話す」「書く」の 4 つの技能を総合的に測定します。

### TOEFL® テストの種類

TOEFL テストには、TOEFL iBT® テスト (TOEFL Internet-based Test) と改訂版 TOEFL® ペーパー版テスト (The revised TOEFL® Paper-delivered Test) があります。日本では、TOEFL iBT テストが実施されています。

また、TOEFL テストと相関性の高い団体向けテストプログラムとして、TOEFL ITP® テスト (TOEFL Institutional Test Program) があります。TOEFL ITP のスコアは学内プログラムの効果測定、プレースメント (クラス分け)、交換留学の選考などに利用されています。(出典：CIEE Japan ウェブサイト <http://www.cieej.or.jp/toefl/> または <https://www.ets.org/toefl>)

本学では年 3 回、TOEFL ITP の学内試験を実施しています。詳細は、国際センターの掲示およびウェブサイトを確認してください。

### (1) インターネット版 TOEFL (TOEFL iBT テスト) の概要

TOEFL iBT テストは「読む」「聞く」「話す」「書く」の 4 つのセクションから構成され、総合的な英語のコミュニケーション能力を測ることができます。全てコンピューター上で解答し、試験の所要時間は 4 時間～4 時間半です。スコアは各セクション 0～30 点、合計 120 点満点です。

【実施日】 年間 30～40 回、主に土、日に全国の試験会場で実施。7 日に一度受験可能。

【受験料】 受験日の 7 日前まで US\$235

受験日の 4 日前まで (オンライン) 受験日の前営業日 17:00 まで (電話) US\$275

テスト申し込み後にテスト日や会場を変更する場合はテスト日の 4 日前までに手続きを行う (空席がある場合のみ)。変更手続きには US\$60 の費用がかかります。

(クレジットカード、paypal Account で支払い。日本円による受験料はレートの変動によりその都度異なるため手続きの際に TOEFL テスト日本事務局のウェブサイトに表示される金額を確認すること。)(2019 年 2 月現在)

### (2) テスト結果

テストの採点は、TOEFL テストの実施団体である米国 ETS で行われます。採点終了後、オンライン (My Home Page) で確認できます。

米国 ETS での採点終了時期 試験日から 10 日

My Home Page でのスコア確認可能予定日 ETS ウェブサイトに記載

確認可能予定日を大幅に過ぎて My Home Page でスコアが確認できない場合は、ETS へ問合せください。

### (3) 詳細の問合せ先

①・テストそのものについて

- テストに関する受験者個人情報について
- スコア発行、発送状況について
- 受験料引落し、払い戻しについて

Educational Testing Service: ETS < Customer Support Center in Japan >  
0120-981-925 (フリーダイヤル) (9:00 ~ 17:00 日本時間 土日祝休)  
Email TOEFLSupport4Japan@ets.org

②・TOEFL iBT 申し込みについて

- TOEFL iBT 受験に関わる一般情報について

TOEFL iBT Regional Registration Center (RRC)  
プロメトリック株式会社 RRC 予約受付センター  
Tel 03-6204-9830 (9:00 ~ 18:00 土日祝休)

郵送 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ アカデミア 5F  
<http://www.prometric-jp.com>

③ TOEFL テスト全般について

TOEFL 公式ウェブサイト <http://www.ets.org/toefl>

### (4) TOEFL PBT, TOEFL ITP と TOEFL iBT のスコア相関表

TOEFL PBT, TOEFL ITP	TOEFL iBT
600	100
577	90 ~ 91
550	79 ~ 80
523	69 ~ 70
500	61
480	54 ~ 55

## 6. IELTS™

### IELTS™ とは

IELTS(アイエルツ) は International English Language Testing System の略称で、受験者の英語力を公正に、また、できるかぎり多角的に測定するために開発された国際英語運用能力試験です。

試験は、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのセクションで構成されており、各セクションのスコアと総合評価とが、それぞれ 1.0 から 9.0 まで、0.5 刻みのバンドスコアで示されます。

英国、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほとんどの大学や大学院で英語力を証明するテストとして認められており、アメリカでも入学の際に採用する教育機関が増えています。

英国政府は 2015 年 4 月 6 日より、これまで実施されてきた IELTS (アカデミック・モジュールとジェネラル・モジュール) に加え、ビザの取得を目的とした IELTS for UK Visas and Immigration (IELTS for UKVI) を導入しました。IELTS for UKVI は認定を受けた東京と大阪のテストセンターでのみ受験可能です。Highly Trusted Sponsor (HTS) の資格を持つ教育機関へ、学位 (学士、修士、博士など) レベルの留学のために Tier4 学生ビ

を申請する場合、留学先の教育機関が指定する語学力証明を提出する必要があります。教育機関によって受験する IELTS の試験タイプが異なりますので、必ず留学先の教育機関へ確認してから申し込みをしてください。



## (1) テスト会場

IELTS は全国主要都市で実施しています。ただし、実施会場は試験日より異なります。

## (2) テスト日程

ほぼ毎週実施しています。詳しい日程は日本英語検定協会または JSAF（日本スタディ・アブロード・ファンデーション）のウェブサイトで確認できます。

## (3) 受験料

IELTS 25,380 円（税込）（2019 年 2 月現在。受験料については必ず事前に確認してください。）

## (4) 受験申し込み締切

日本英語検定協会または JSAF のウェブサイトを確認してください。受験者数が定員に達した場合、その回の申し込みを早く締め切ることがあります。

## (5) 支払い方法

申し込み方法によって支払い方法が異なるので最新の情報を確認してください。

## (6) テスト結果

筆記試験から 13 日目に公式なテスト結果（Test Report Form）が受験者自宅宛に 1 通発送されます。これは再発行できないので、紛失しないよう注意してください。なお、発送に先立ち、13 日目からオンラインでスコアを確認することができます。

## (7) その他注意

申し込みには受験日に有効なパスポートが必要です。試験当日にも同じパスポートを持参してください。

## (8) 詳細問合せ先

公益財団法人日本英語検定協会 IELTS 東京テストセンター  
 東京・横浜・札幌・仙台・埼玉・金沢会場  
 〒162-8055 東京都新宿区横寺町 55  
 Tel 03-3266-6852 Fax 03-3266-6145  
 Email jp500ielts@eiken.or.jp

公益財団法人日本英語検定協会 IELTS 大阪テストセンター  
 大阪・京都・神戸・名古屋・広島・岡山・福岡会場  
 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地 1-3-16 京富ビル 4F  
 Tel 06-6455-6286 Fax 06-6455-6287  
 Email jp512ielts@eiken.or.jp

一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション（JSAF）  
 IELTS 公式テストセンター  
 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-4-15 三井生命高田馬場ビル 5F  
 Tel 03-6273-9356 Fax 03-6273-9357

## IELTS 学内試験の実施

年に2回、学内で本学学生を対象としたIELTS（アカデミック・モジュール）の公式試験を実施しています。日程は国際センター掲示板またはウェブサイトを確認してください。

## IELTS for UK Visas and Immigration (UKVI)

留学先の教育機関から英国ビザ申請用のIELTS（IELTS for UKVI）のスコア提出を求められた場合、認定されたテストセンターで受験する必要があります。

### (1) テスト会場

IELTS for UKVIは東京と大阪2都市で実施しています。

### (2) テスト日程

Speaking TestはWriting Test日と同日または前後3日間で行います。Speaking Testの日程と時間は、Writing Test日1週間前に届きますので、メールを確認してください。Speaking Testの日時の指定は受け付けておりません。

### (3) 受験料

IELTS for UKVI 30,600円（税込）（2019年2月現在。受験料については必ず事前に確認してください。）

### (4) 受験申し込み締切

選択した受験地の空席状況による。

### (5) 支払い方法

クレジットカード（VISAもしくはMasterCard）でのオンライン決済のみ。

### (6) その他注意

申し込みには受験日に有効なパスポートが必要です。試験当日にも同じパスポートを持参してください。

### (7) 詳細問合せ先

ブリティッシュ・カウンシル

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-2

Tel 03-3235-8031（火～金 9:30-17:00） Fax 03-3235-8040





### ーリスニング学習ー



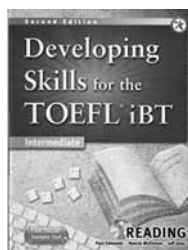
『リスニング問題 190』



『リスニングのエッセンス』

自身のレベルと好みに合う参考書を、どちらかから選ぶとよいと思います。

### (3) リーディング



『Developing Skills for the TOEFL iBT READING BOOK』



『TOEFL iBT リーディング実践編』

「リスニング 1 回 + 音読 1 回」 × 5-10 セットで音読をしてください。

『Developing Skills for the TOEFL iBT READING BOOK』が 1 番おすすめです。入手が難しければ『TOEFL iBT リーディング実践編』を使うと良いでしょう。

### (4) ライティング・スピーキング



『TOEFL iBT TEST スピーキング+ライティング完全攻略』

ライティングとスピーキングは型を覚えることが重要です。

特にスピーキングは慣れが重要なので、オンライン英会話を利用した練習も行くと良いでしょう。

テキストが一通り終わったら、TOEFL iBT の公式問題集で練習を積みましょう。



『The Official Guide to the TOEFL Test with DVD-ROM』



『Official TOEFL iBT® Tests Volume 2』

## 4. 留学をしたい方へのメッセージ

「英語力が足りないから留学は無理かな」と思う方もいるかもしれません。

正しい勉強法できちんと時間をかければ、留学は実現できます。

ぜひ海外で学び、たくさんの世界に触れてください。

## 7. その他語学能力試験

### 本学第二外国語言語の検定試験の基本情報

中国語	HSK 中国語能力試験	【筆記試験】1～6級 【口頭試験】初級、中級、高級	HSK は中国政府教育部直属機関によって主催され、中国政府が認定する資格 (HSK 日本実施委員会)
	中国語検定試験	準4級、4級、3級、2級、 準1級、1級 (11月のみ)	この資格の適用地域は日本のみ。日本国内において、中国語能力を測る指標として使われることが多い (一般財団法人日本中国語検定協会)
	TOCFL (華語文能力測驗)	準備級 (Pre-A1)、入門級 (A1)、基礎級 (A2)、進階級 (B1)、高階級 (B2)、流利級 (C1)、精通級 (C2)	台湾政府公認である中国語能力試験。台湾での学位取得目的の留学の際に出願者の語学力を審査する目的で要求されることの多い試験 (国家中国語能力試験推進委員会)
朝鮮語	韓国語能力試験	TOPIK I、TOPIK II	韓国政府が認定・実施する唯一の韓国語試験。韓国の大学など高等教育機関への留学希望者を対象とした韓国政府公認の韓国語力判定テスト (大韓民国教育省・国立国際教育院 (NIIED))
	ハングル能力検定試験	1級、2級、準2級、3級、4級、 5級	日本では初めての韓国・朝鮮語検定として1993年の6月に1回目の試験を実施 (ハングル能力検定協会)
スペイン語	スペイン語認定証 Diplomas de Español como Lengua Extranjera (DELE)	A1 (入門)、A2 (初級)、B1 (中級)、 B2 (中上級)、C1 (上級)、 C2 (最上級)	外国語としてのスペイン語検定試験。スペイン教育文化スポーツ省認定。スペイン国外ではセルバンテス文化センターが実施する、高い信頼性をもったスペイン語能力試験 (セルバンテス文化センター)
	スペイン語技能検定試験	1級 (プロ級)、2級 (最上級)、 3級 (上級)、4級 (中級)、 5級 (初級)、6級 (入門)	1973年に開始されたスペイン語検定試験 (公益財団法人日本スペイン協会)
ドイツ語	ドイツ語検定試験	欧州言語共通レベル (GER) 初級 A1. 最高レベル C2 A1、A2、B1、B2、C1、C2	世界中で認められており、その合格証は多数の国々の企業および教育機関で資格証明書として通用する (東京ドイツ文化センター (ゲーテ・インスティトゥート))
	ドイツ語技能検定試験	1級・準1級・2級・3級・4級・ 5級	日本語話者向けのドイツ語の検定試験 (公益財団法人ドイツ語学文学振興会)

ロシア語	ロシア語検定試験	入門レベル、基礎レベル、 第1～第4レベル	ロシア連邦教育科学省認定。ロシア語検定試験は、外国語としてロシア語を学ぶ人のための、ロシア連邦教育科学省が認定する国家試験（ロシア語検定試験実行委員会）
	ロシア語能力検定	1級・2級・3級・4級 (5月：3・4級のみ、10月：1～4級)	ロシア語能力検定委員会が実施する、日本語話者向けのロシア語の検定試験（ロシア語能力検定委員会）
フランス語	DELFL (Diplôme d'études en langue française)・DALFL (Diplôme approfondi de langue française)	A1、A2、B1、B2、C1、C2	DELFL、DALFL は、フランス国民教育省認定の外国語としてのフランス語資格試験。言語に関する欧州共通基準 (CECRL) の6段階に対応しており、聴解、読解、文書作成、口頭表現の4つの力が評価される。(日本フランス語試験管理センター)
	TCF (Test de Connaissance du Français、フランス語能力テスト)	点数に応じて受験者のレベルを言語に関する欧州共通基準 (CECRL) の6段階で判断する	TCF は、フランス国民教育省が認定した総合的なフランス語学力レベルを測るテスト。自身のフランス語能力を、英語のTOEICのように簡単に早く確実に計ることを望む、フランス語を母語としない16歳以上の人全てを対象としている。(日本フランス語試験管理センター)
	実用フランス語技能検定試験	1級・準1級・2級・準2級・3級・4級・5級	日本の学習者を対象として、文部科学省の後援を受け実施される唯一のフランス語の技能検定試験（公益財団法人フランス語教育振興協会）
	TEFL (Test d'Evaluation de Français) フランス語能力認定試験	< A1、A1、A2、B1、B2、C1、C2	フランス文部省認可、パリ商工会議所が実施する世界共通のフランス語能力試験。フランスの大学編入などで採用され、世界90カ国で実施。(パリ商工会議所)

出典：各試験主催・実施団体ウェブサイト

※各検定試験におけるレベルについては、下記表を参照ください。

【外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠】

熟練した言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。単年で日常的な範囲なら、身近で日常的な事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

(出典) ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

## Ⅳ 留学に関する学籍と手続き

留学を考えるにあたっては、本学における留学に関する学籍の違いや手続き方法、所属する学部学科・コース等の履修について十分理解したうえで計画的に準備を始めてください。詳細については履修要覧の「学籍」の項をよく読んでください。以下は、学部を中心として説明します。「教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室」と記載がある個所については、各所属キャンパスで手続きを行ってください。

海外には秋に学期が始まる大学があります。その場合、本学での履修が中断されますが、本学での単位修得を妨げないよう「科目継続」や「登録延期」などの措置があります（留学期間を含めて4年間で本学を卒業できる場合もあります）。

### 1. 「留学」と「休学」の違い

留学に係る学籍には「留学」と「休学（による留学）」の2種類があります。「留学」と「休学」のどちらを選んだ方がよいのか、あるいは自分の留学計画はどちらに相当するのか、以下のそれぞれの特徴をよく見て検討してください。

なお、協定校留学は「留学」、語学研修のみの場合は「休学」となります。その他の長期留学についてのみ「留学」か「休学」を選び手続きを行います。

#### 【「留学」・「休学」の違い一覧】

学籍	留学（休学しないで留学する）	休学（休学して留学する）
留学資格	本学に1年以上在学し、前年度までに30単位以上修得済みであること	前提となる条件はない。
期間	最長2年間	通算して4年間まで
修業年限 <sup>(注1)</sup>	1年までは修業年限 <sup>(注1)</sup> および在学期間に、残りの1年（2年目）は在学期間 <sup>(注2)</sup> に算入される。	在学期間にも修業年限にも算入されない。
本学学費	協定校への留学：当該年度の募集要項による。 協定校以外への留学：留学期間中は本学学費を在籍料*相当額に減免する。  *在籍料：年額20万円（半期10万円）	休学期間中は在籍料*を納入する。  *在籍料：年額20万円（半期10万円）
単位の認定	審査により本学の他の認定科目と合わせて30単位まで認定され、本学の卒業要件として算入できる。	原則としてできない。 (詳細はP.69～70を参照のこと)
卒業	1年間の留学期間を含め4年間での卒業の可能性あり	4年間での卒業不可
留学先大学の条件	以下の条件をすべて満たすこと ①学士号以上の学位授与権を有する教育機関であること ②単位修得を目的とした留学であること ③留学先受入学部（学科）が本学所属学部（学科）と共通する分野であること ④留学期間について、受入先が2学期制をとる場合には1学期以上、3学期ないし4学期制をとる場合には2学期以上であること	留学の学籍を満たさない場合

(注1) 本学の教育課程を修了するために必要な期間（4年間）

(注2) 本学において在学することができる期間（休学期間を除き8年間）

## (1) 「留学」の学籍

留学の学籍として認められる期間は最長2年間で、そのうちの1年までは修業年限、残りの1年は在学期間となります。

<b>Q：「留学」の学籍の場合、留学先の大学を選ぶ際に条件はありますか？</b>
<p>次の条件をすべて満たしていることが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学士号以上の学位授与権を有する教育機関であること</li> <li>② 単位修得を目的とした留学であること</li> <li>③ 留学先受入学部（学科）が本学所属学部（学科）と共通する分野であること</li> <li>④ 留学期間について、受入先が2学期制をとる場合には1学期以上、3学期ないし4学期制をとる場合には2学期以上であること</li> </ul>
<b>Q：語学研修付き留学の場合、学籍はどうなりますか？</b>
<p>語学研修（1学期相当）と留学が同一大学で行われ、受入れ先大学からの受入れ通知に「語学研修付き留学」と明記されている場合、語学研修期間も含め「留学」の学籍となります。ただし、語学研修付き留学の許可を得て「留学」の学籍となった後、諸般の事情により語学研修のみで帰学した場合や語学研修期間終了時に大学への入学許可が得られなかった場合は、「休学」の学籍となります。なおこの事例では、語学研修期間の過ごし方が重要であるため、対象となる学生は、語学研修付き私費留学が許可された場合、語学研修終了後速やかに語学研修時の成績評価および大学への入学許可書を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室へ提出してください。</p>
<b>Q：「留学」の学籍の場合、津田塾大学の履修状況に条件はありますか？</b>
<p>本学に少なくとも1年以上在学し、前年度までに30単位以上の科目を修得していなければなりません。</p>
<b>Q：4年間で卒業することはできますか？</b>
<p>「留学」の学籍で留学した場合は、留学期間が修業年限に含まれ、単位認定の申請ができるので、単位修得状況、留学時期や留学期間にもよりますが、卒業要件を満たせば4年で卒業することも可能です。詳細は教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室で確認してください。</p>
<b>Q：留学先で修得した単位は津田の卒業単位として認められますか？</b>
<p>留学先の大学で履修した科目が本学で開講されている科目に相当すると認められた場合、修得した単位が本学の科目の単位として認定される制度があります。詳細はP. 69～70 5. 単位認定を参照してください。</p>
<b>Q：後期から留学する場合、第2タームまでに履修した科目の単位はどうなりますか？</b>
<p>複数タームにまたがって開講される科目の履修を当年度の途中のターム末で中断し、翌年度の途中から履修を再開する、「科目継続」という制度があります。（学芸学部のみ） 詳細はP. 68 3. 科目継続を参照してください。</p>

## (2) 「休学」の学籍

休学期間は、半年または1年とし、修業年限および在学期間に算入されません。

Q：どのような場合に「休学」の学籍になるのですか？
「留学」の学籍を満たさない場合です。以下のような例は「休学」となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1年間あるいは半年間の語学研修を受ける。</li> <li>• コミュニティ・カレッジや専門学校に留学する。</li> <li>• 専攻とかけ離れた分野の勉強をする。</li> <li>• 聴講生として履修する。</li> </ul>
Q：「休学」の学籍で注意すべきことは？
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 休学期間は修業年限に含まれないため、4年間で卒業することはできません。</li> <li>• 留学先で修得した単位の認定は原則としてできません。</li> <li>• 半年間休学すると通年科目の単位が修得できません。(留学の場合も同じ)</li> <li>• 休学期間中の本学学費は在籍料の納入となります。(詳しくは「(3)「留学」「休学」の場合の本学学費」にて確認してください。)</li> </ul>

「留学」と「休学」には以上のような違いがあります。つまり、留学期間を含めて4年間で卒業したい場合、また留学先で修得した単位を本学を卒業するために必要な単位の一部としたい場合は、必ず「留学」の学籍であることが必要になります。

条件を満たしているのであれば、留学先で修得した単位の認定が申請できる「留学」を選ぶことをお勧めします。

※「留学」より帰国し、本学での学業を再開する場合は「帰学」、「休学」による留学から帰国し学業を再開する場合は「復学」の手続きを行う必要があります。

## (3) 「留学」「休学」の場合の本学学費

### 留 学

協定校への留学：当該年度の募集要項による

協定校以外への留学：留学期間中は本学学費を在籍料相当額に減免する。

在籍料：年額 20 万円、半期 10 万円

※「履修登録延期願」を提出して、翌年度第1タームから履修を再開する場合、帰学する学期（前期）の学費は減免されません。

※学費減免を受けるためには、以下の期日までに「留学願」を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室へ提出しなければなりません。

前期：5月31日（31日が土日の場合はその前の金曜日まで）

後期：10月31日（31日が土日の場合はその前の金曜日まで）

### 休 学

休学期間中は在籍料（年額 20 万円、半期 10 万円）を納入する。

※ただし、以下の期日までに「休学願」を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室へ提出しなければなりません。

前期：5月31日（31日が土日の場合はその前の金曜日まで）

後期：10月31日（31日が土日の場合はその前の金曜日まで）

## 2. 「留学」「休学」の手続き

「留学」か「休学」か、自分の計画に合う方が決まったら、それぞれ次のような流れで手続きを行い、許可を得てください。

### 〈共通事項（各書類の説明）〉

留学願／休学願…留学／休学期間は、次のいずれかとする。

1年間：4月1日～翌年3月31日または10月1日～翌年9月30日

半年間：4月1日～9月30日または10月1日～翌年3月31日

留 学 許 可 願…教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出する前にセミナー担当教員（担当が非常勤教員の場合は学科主任）に「留学」について、面接のうえ指導してもらうこと。

海外滞在計画書…留学者の手続きの進行状況、科目継続、卒業計画、教員免許取得予定等を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室が把握しておくための書類。

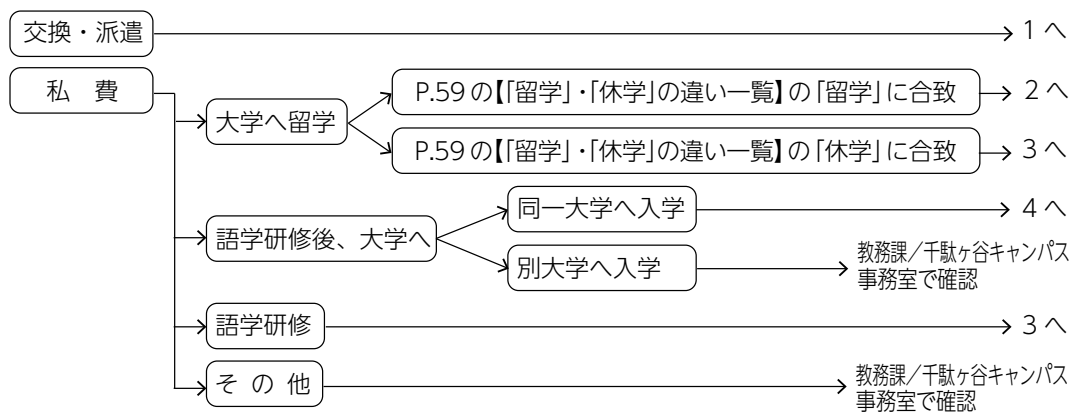
科目継続届（学芸学部開講科目のみ）：教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室で手続き後、各科目担当教員と面談のうえ、許可のサインをもらう。詳細は p. 68 を確認のこと。

### Attention!

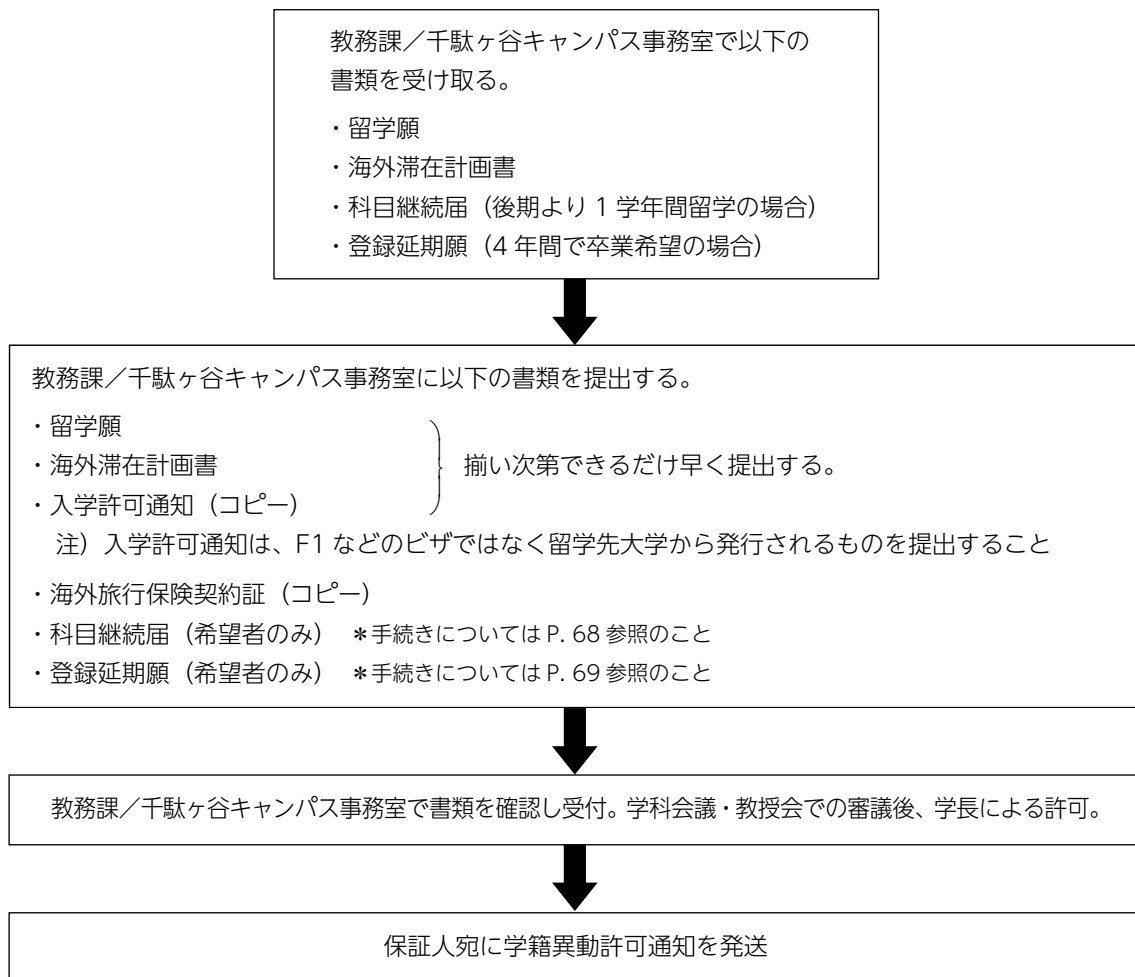
学籍変更については、様々なケースがあります。必ず事前に教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に相談してください。

学芸学部の学生は、留学・休学の申請について、教務課への書類提出だけでなく、学芸学部事務室にも申し出てください。セミナーについて確認しておく必要があります。（P. 70～73 参照）

学籍に関する手続きの流れについては、該当の説明を参照してください。



## 1. 交換・派遣留学 手続きの流れ〔学籍：留学〕

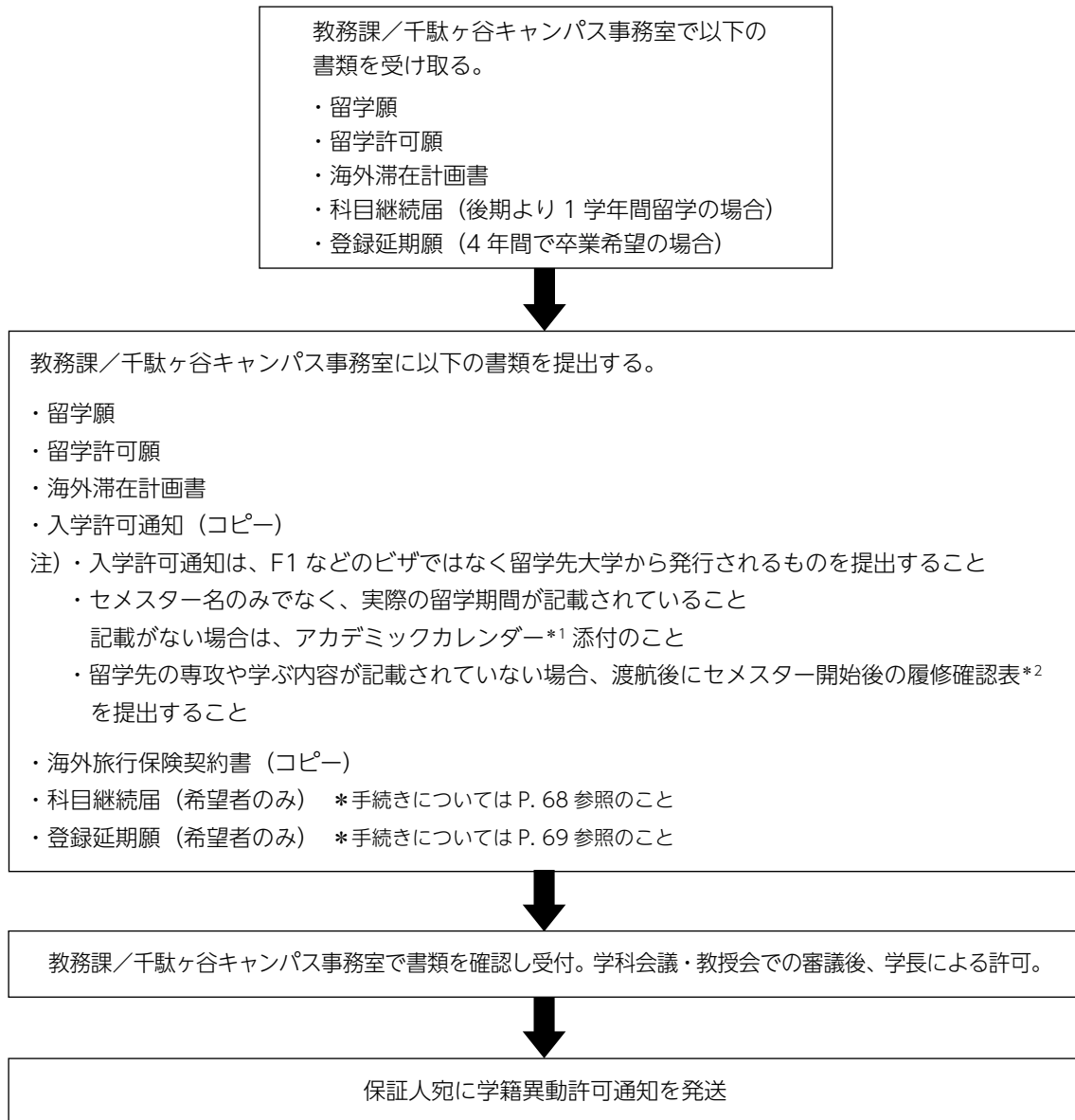


### Attention!

協定校への留学の場合、留学期間終了後に続けて休学・留学を申請することはできません。留学期間終了後は本学で履修を再開してください。



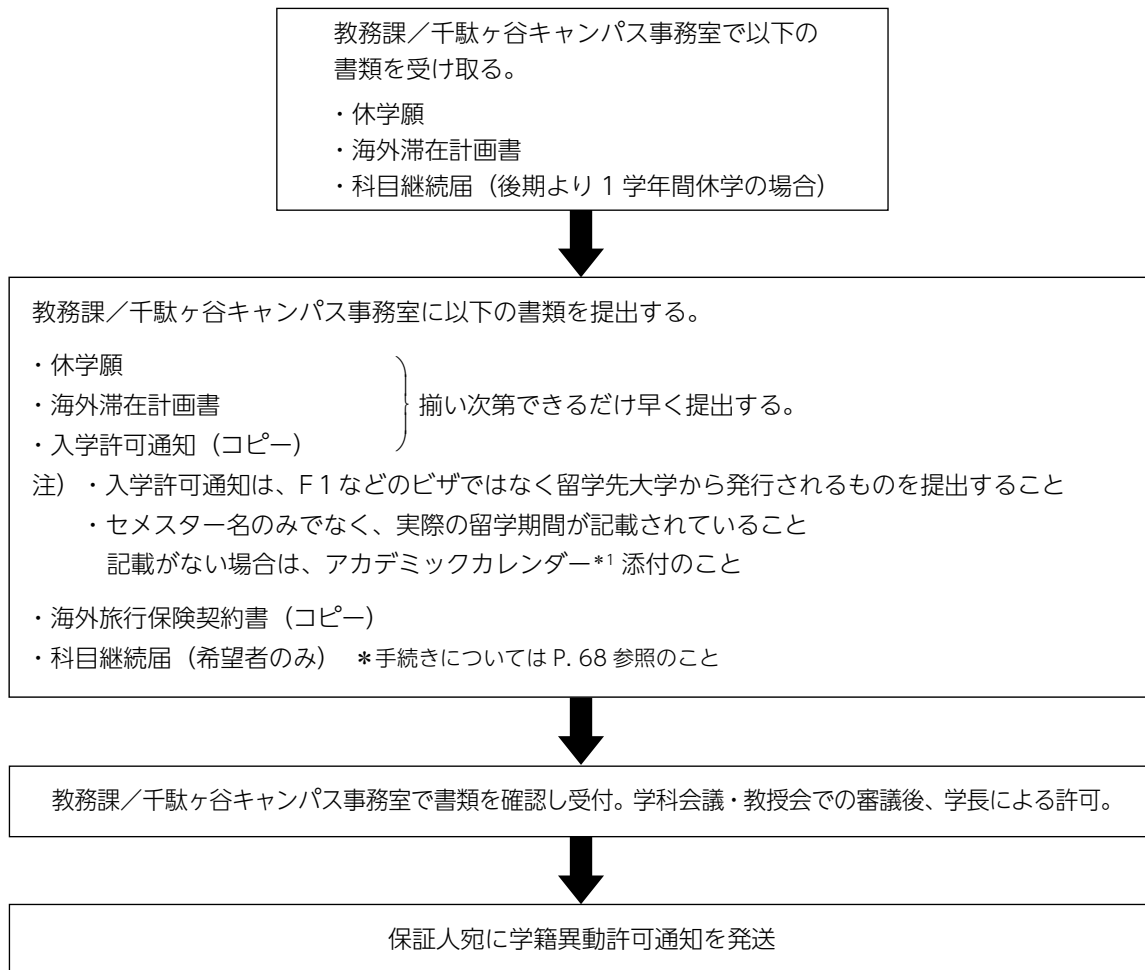
## 2. 私費留学 手続きの流れ〔学籍：留学〕



\*1 アカデミックカレンダーは、留学先大学のホームページ等に掲載されています。該当期間を印刷の上、提出してください。

\*2 現在の履修状況が確認できる正式な書類を提出してください。  
ex) 履修登録後、WEB上で履修確認表を出力し、メール添付にて提出する。  
履修証明書を発行し、メール添付にて提出する。

### 3. 休学による留学／語学留学による休学 手続きの流れ〔学籍：休学〕



\*1 アカデミックカレンダーは、留学先大学のホームページ等に掲載されています。

該当期間を印刷の上、提出してください。

〈学籍変更について〉

学籍を「休学」から「留学」に変更する予定がある場合には、事前に教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に相談してください。その際、留学前に渡す書類は、**休学願・留学願・留学許可願・海外滞在計画書**（以上4枚）です。また、留学への学籍変更決定時には**留学先の入学許可通知（コピー）**、必要に応じて**アカデミックカレンダー**や**セメスター開始後の履修確認表\*2**を提出することになります。

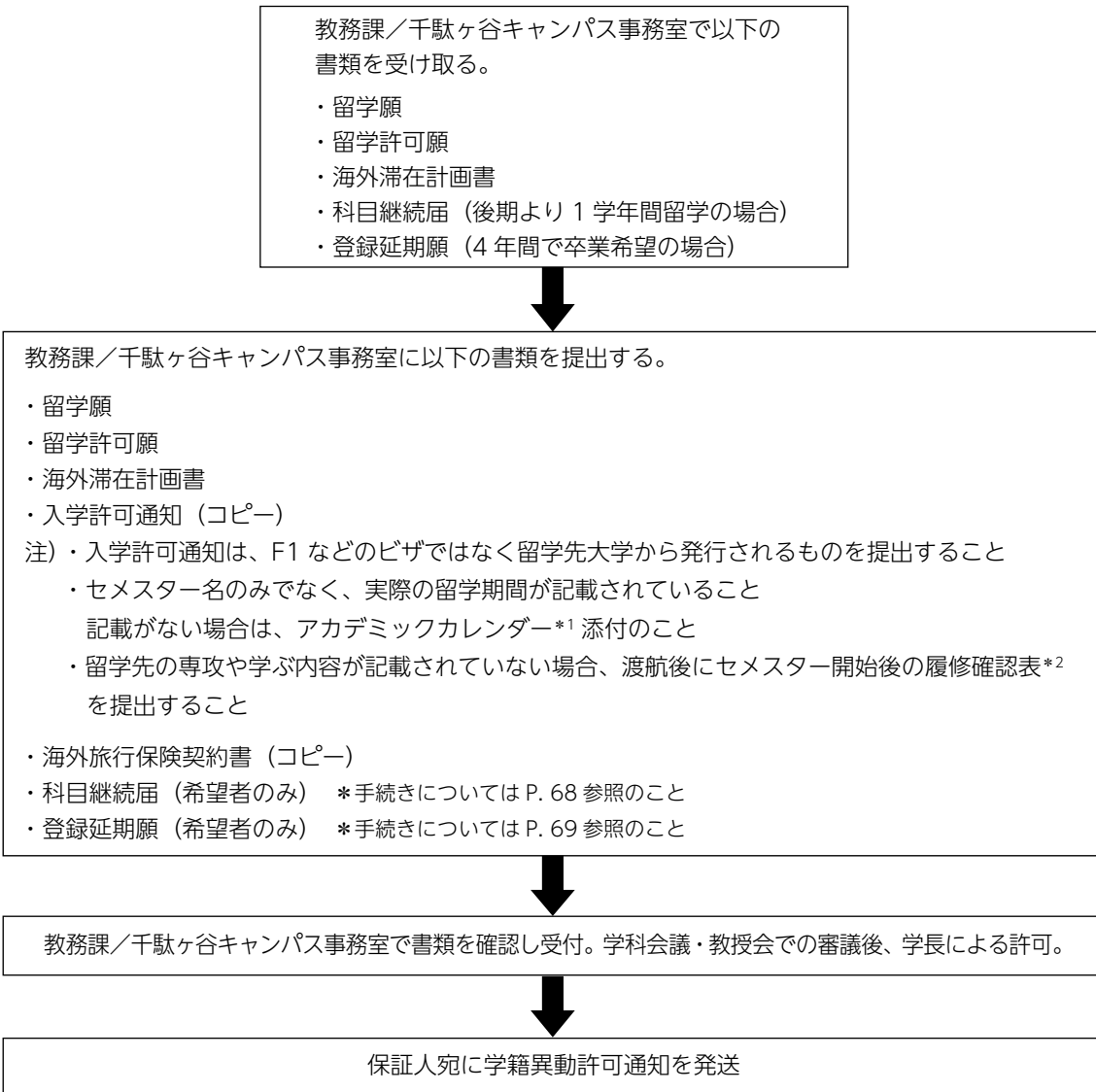
\*2 現在の履修状況が確認できる正式な書類を提出してください。

ex) 履修登録後、WEB上で履修確認表を出力し、メール添付にて提出する。

履修証明書を発行し、メール添付にて提出する。

## 4. 語学研修付き留学 手続きの流れ【学籍：留学】

語学研修付き留学……語学研修（1 学期相当）と留学が同一大学で行われ、受入れ先大学からの受入通知に「語学研修付き留学」と明記されている場合、語学研修期間も含めて「留学」の学籍とする。



\*1 アカデミックカレンダーは、留学先大学のホームページ等に掲載されています。該当期間を印刷の上、提出してください。

\*2 現在の履修状況が確認できる正式な書類を提出してください。  
ex) 履修登録後、WEB 上で履修確認表を出力し、メール添付にて提出する。  
履修証明書を発行し、メール添付にて提出する。

### 【重要！】

語学研修終了後、「語学研修後の成績通知書」と「学部への入学許可通知」をメール添付にて提出してください。

## 学費の減免について

### 【留学中の学費の減免について】

私費留学期間中、本学学費が在籍料（年額 20 万円、半期 10 万円）相当額に減免されます。

ただし、後述の留学に伴う「履修登録延期」を希望する場合、帰学する学期（前期）の学費については上記は適用されません。

学費減免手続きは、「留学」の願い出の正式な受理をもって自動的に行われます。経理課への手続きは不要です。

### 【休学中の学費の減免について】

休学期間中、在籍料（年額 20 万円、半期 10 万円）を納入します。

## 3. 科目継続

留学・学外学修等の事由により、複数タームにまたがって開講される科目の履修を当年度の途中のターム末で中断し、翌年度の途中から履修を再開することを科目継続といいます。科目継続は、学芸学部開講科目のみが対象です。

### 科目継続の条件

- ・履修中断期間に本学での履修が一切ないこと。
- ・翌年度に該当科目を初めから履修できないこと。

#### 科目継続パターン一覧

対象科目の開講ターム	当年度		翌年度	
第1、3、4ターム開講科目	第1タームを履修	履修中断期間	第3、4タームを履修	
	第1、3タームを履修		履修中断期間	第4タームを履修
第1、3ターム開講科目	第1タームを履修	履修中断期間	第3タームを履修	
第3、4ターム開講科目		第3タームを履修	履修中断期間	第4タームを履修

※計画よりも早く留学・学外学修等を終え、その結果、翌年度に該当科目を初めから履修できる場合、その科目について、科目継続の資格を失います。

※1年間の留学・休学をした後、続けて留学や休学を申請する場合、科目継続の資格を失います。

### 留学前の手続き

- ① 科目継続届を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室で受け取り、科目継続を希望する科目を記入後、教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。申請の期日は以下のとおりです。
  - ・第1タームの履修を終え、履修を中断する場合 5月末日
  - ・第3タームの履修を終え、履修を中断する場合 10月15日
- ② 教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室にて科目継続願を作成後、連絡しますので受け取りに来てください。
- ③ 受け取った科目継続願に、担当教員のサイン等、必要事項の記入を授業担当教員にお願いしてください。
- ④ 記入済みの科目継続願を、教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。

### 帰学後の手続き

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室にて科目継続受け入れ許可願を受け取り、担当教員に許可をもらってください。

#### Attention!

科目継続は、帰国後の継続履修を確約するものではありません。

例えば、帰国後に継続した科目が開講されていなかった、必修科目と継続した科目の時限が重複してしまった等の場合は、渡航前に科目継続の手続きをしても継続することができません。

次頁「4. 履修登録延期」を行う場合は、翌年度の前期中に帰国し本学での履修を開始しますが、1学年間の留学とみなされるため科目継続手続きが申請可能です。

## 4. 履修登録延期（学芸学部の学生のみ）

下記の対象者が4年間で卒業するためには、履修登録延期手続きが必要です。履修登録延期手続きとは、翌年度の5月31日までに帰国の上帰学手続きを行い、通常の履修登録期間より遅れて履修登録を行った後に履修を開始するものです。

対象者：学籍種別「留学」

留学期間 2年次または3年次の後期から1学年間（ただし、第1ターム開始後に留学期間が終了する場合で、かつ5月31日までに留学先の学期末試験を含めた最終学期が終了していること。）

※協定校留学の場合は、5月中に期末試験が終了しても、協定で定められた期間が6月以降に満了する場合、この制度は利用できません。

### 留学前の手続き

留学に伴う履修登録延期願を教務課に提出してください。セミナー及び卒論指導については、留学前に担当教員の許可を得ておいてください。

### 帰学後の手続き

帰学手続きを行い、5月中に履修登録をし、前期の履修を開始してください。

#### Attention!

- \*履修登録日以前は「欠席」となります。留学が終わり次第、速やかに帰国し、本学での履修を開始することをお勧めします。また、「出席重視科目」等、授業の進度によっては登録が許可されない場合もあります。全ての科目を希望通りに履修できる制度ではないので、十分に注意してください。
- \*第1タームで完結する科目は登録できません。
- \*第1・3ターム連続で開講される科目は、授業の第7回目までに履修を開始できる場合のみ登録できます。
- \*履修登録延期願を提出して、翌年第1タームから履修を再開する場合、留学期間は後期のみとなり、翌年前期分より学費（授業料／施設設備費）が発生します。
- \*交換派遣留学の場合、留学先の学期終了が6月の場合があります。その場合、この制度は利用できません。
- \*総合政策学部開講科目は、各タームで履修が完結するため、5月末日に留学先での学期が終了した場合でも、第1タームの科目履修は認められません。第2タームからの履修開始となります。

## 5. 単位認定

留学先の大学で履修した科目が本学で開講されている科目に相当すると認められた場合、修得した単位が本学の科目の単位として認定される制度のことです。（申請された科目が必ずしも認定されるとは限りません。）

対象者：「留学」の学籍で留学した場合：本学の全開講科目が認定対象（一部例外あり）

「休学」の学籍で留学した場合：本学の英語を除く外国語科目（フランス語／ドイツ語／中国語／ロシア語／スペイン語／韓国・朝鮮語）が認定対象

留学期間：半期または1学年間

## 原則

- ・ 留学先で単位修得した科目の授業時間数が津田塾大学の授業時間数（1ターム1単位科目：約900分、2ターム2単位科目：約1,800分、3ターム3単位科目：約2,700分）と同等もしくはそれ以上で、それを証明する書類がある場合のみ認定審査の対象となります。
- ・ 留学先の単位は、本学での他の認定科目と合わせて30単位を上限として認定されます。

## 帰国後の手続き

帰国後、「単位認定願」を教務課/千駄ヶ谷キャンパス事務室にて配付いたしますので、記入後提出してください。その他単位認定に必要な書類は以下の通りです。

- ・ 留学先大学の成績証明書の原本（Transcript of Academic Record）
- ・ 留学先講義科目内容の説明書（Syllabus, Course Description or Course Catalogue）
  - \* 講義で使用したテキスト名は控えておいてください。
- ・ 大学要項（College Catalogue, Brochure, Syllabus, etc. で授業日数、時間数、及び成績評価基準についての説明があるもの）
  - \* シラバスは開講学期が終わると閲覧できなくなることがあります。プリントアウトを用意しておいてください。
- ・ 単位認定の参考資料（テキスト、ノート、レポート、返却されたテストなど）

### Attention!

- \* 留学先で修得した単位は、セミナーや英語英文学科副専攻科目、日本語教員養成課程の必修科目の単位に認定することはできません。
- \* 留学先で修得した単位は、教員免許状取得に必要な科目（教育の基礎的理解に関する科目等・教科及び教科の指導法に関する科目）としては認められません。
- \* 認定を希望する場合は、帰学届提出後早急に（2ヵ月以内）所定の申請を教務課/千駄ヶ谷キャンパス事務室で行ってください。
- \* 原則として1回のみですので、よく考えて申請してください。
- \* 単位認定手続きには、結果通知までに通常1ヵ月程度かかります。
- \* 単位認定された科目の単位は、GPAの対象外となります。

## 6. セミナー登録

各学科のセミナー等の登録は履修する前年度の10月～11月に行われます。この時期に留学中の学生（休学の学籍による留学者も含む）は以下のように各事務室の指示に従って登録手続きをしてください。

（注）学芸学部事務室（所属学科）：2017年度からの2学部体制に伴い、各学科事務室は学芸学部事務室として再編されましたが、学生窓口は、従来通り所属学科の事務室で対応しています。

### （1）学芸学部 英語英文学科

#### 留学前

留学に出発する前までに、必ず『英語英文学科留学・休学者連絡票』を、学芸学部事務室（英語英文学科）に提出してください（用紙はTsudaNetの「書類BOX」からダウンロード、または同事務室で配付しています）。登録のための連絡等は原則としてTsudaNetを通じて大学アカウントへ送信します。

\*合わせて、翻訳通訳プログラムの履修を希望する場合は、『英語英文学科留学・休学者連絡票』の希望欄にチェックを入れてください。10月初旬に大学アカウントへ、応募のための資料を送ります。

## 留学中

**注意：卒業論文、セミナーの科目継続手続きを行って留学に出た場合も、再度、登録は必要です。**

登録時期になっても連絡が来ない時は、学芸学部事務室（英語英文学科）に問い合わせてください（[eiji@tsuda.ac.jp](mailto:eiji@tsuda.ac.jp)）。

### 卒論を書く学生

登録期間は、後期開始日からの約2週間です。5月下旬に卒論指導担当教員から配布される資料「卒業論文」\*に記載のQRコードまたはURLから登録フォームにアクセスし、希望コースとテーマ（200字程度）を入力の上、送信してください。

※前期から留学している学生にはTsudaNetを通じて事務室から送信します。

### セミナーを履修する学生

登録期間は、10月下旬から11月中旬です。セミナー登録資料を10月下旬に送信します。資料表紙に記載のQRコードまたはURLから登録フォームにアクセスし、希望のセミナーを入力の上、送信してください。

## 帰国後

直ちに学芸学部事務室（英語英文学科）で卒論指導あるいはセミナーのクラス確認をしてください。

## (2) 学芸学部 国際関係学科

### 留学・休学する学生

- ・ 渡航前に全員必ず『留学・休学者連絡票』を学芸学部事務室（国際関係学科）に提出してください。
- ・ 2年セミナー：次年度前期から留学・休学を予定している場合も、出発・休学前に2年セミナーの仮登録を行ってください。ただし、実際に留学・休学した場合は、その仮登録は無効になります。再度2年セミナーの仮登録が必要です。履修前年度の10月末までに学芸学部事務室（国際関係学科）（[kokuji@tsuda.ac.jp](mailto:kokuji@tsuda.ac.jp)）へ資料を請求し、指示に従って希望のセミナーを仮登録してください。
- ・ 3年セミナー：次年度前期から留学・休学を予定している場合も、出発・休学前に3年セミナーの仮登録を行ってください。帰学・復学後、4月から『仮登録したセミナー』を履修することになります。登録前の相談期間中に留学・休学の予定についても担当教員に相談をした上で、セミナーを選択してください。留学・休学が決定したら『仮登録したセミナー』担当教員にその旨報告してください。留学・休学中にセミナーの変更をする場合は、10月中旬までに学芸学部事務室（国際関係学科）（[kokuji@tsuda.ac.jp](mailto:kokuji@tsuda.ac.jp)）に連絡してください。
- ・ 4年セミナーは原則として3年セミナーを継続しますので、担当教員に申し出てください。
- ・ 学芸学部事務室（国際関係学科）への連絡の際には、メールの件名に学籍番号と氏名をいれてください。
- ・ 後期から留学・休学する場合は、教務課で科目継続の手続きをし、次年度同じセミナーを継続してください。
- ・ 帰学・復学後、直ちに学芸学部事務室（国際関係学科）でセミナーの確認をしてください。

## (3) 学芸学部 多文化・国際協力量科

### 留学・休学する学生

- ・ 留学・休学する前に全員必ず学芸学部事務室（多文化・国際協力量科）に連絡をしてください。
- ・ 2年セミナー：2年次前期から留学・休学を予定している場合も、2年セミナーの仮登録を行ってください。実際に留学・休学した場合は、その仮登録は無効になります。復学前年度の秋に再度2年セミナーの仮登録が必要です。
- ・ 3年セミナー・4年セミナーは原則として2年セミナーを継続しますので、担当教員に申し出てください。



## (4) 学芸学部 数学科／情報科学科

### 留学前

- ① 登録ならびに登録確認は原則としてメールで行います。留学に出発する前までに登録資料の送り先となるメールアドレス、住所を『留学・休学者連絡票』に記入の上、学芸学部事務室（数学科・情報科学科）に提出してください（用紙は同事務室で配付しています）。

### 留学中

- ② 9月までに、留学先から学芸学部事務室（数学科／情報科学科）(suuji@tsuda.ac.jp) へ資料を請求してください。
- ③ 事務室は資料ができ上がり次第、連絡のあったメールアドレスに送ります。

### 帰国後

- ④ 直ちに事務室でセミナーの確認をしてください。

## (5) 学芸学部 多文化・国際協力コース、メディアスタディーズ・コースについて

### 多文化・国際協力コース

多文化・国際協力コースは、ユニットごとのセミナー登録となります。事前登録の必要はありませんが、留学前及び帰国後学芸学部事務室（多文化・国際協力コース担当）(mi@tsuda.ac.jp) で確認を行ってください。

### メディアスタディーズ・コース

### 留学前

- ① 登録ならびに登録確認は原則としてメールで行います。連絡用のメールアドレスは津田塾大学 Gmail を使用します。

### 留学中

- ② 3年セミナーの登録は10月までに、4年セミナーの登録は12月までに、留学先から学芸学部事務室（メディアスタディーズ・コース担当）(mscg@tsuda.ac.jp) へ資料を請求してください。
- ③ 学芸学部事務室（メディアスタディーズ・コース担当）は資料ができ上がり次第、連絡のあったメールアドレスに送ります。

### 帰国後

- ④ 直ちに学芸学部事務室（メディアスタディーズ・コース担当）でセミナーの確認をしてください。

## (6) 総合政策学部 総合政策学科

### 留学前

- ① 4年セミナーは原則として3年セミナーを継続しますので担当教員に申し出てください。
- ② 後期から留学・休学する場合は、担当教員に了解を得て、次年度同じセミナーを継続してください。

### 留学中

- ③ 帰学・復学後、4月から新たに2年セミナー、3年セミナーを履修予定の学生は、他の学生と同じ手順で仮登録を行います。10月末日までに千駄ヶ谷キャンパス事務室 (sc-office@tsuda.ac.jp) へ資料を請求し、指示に従って希望のセミナーを仮登録してください。メールの件名に「3年セミナー（または2年セミナー）登録希望 (P17999) 津田花子」のように学籍番号・氏名をいれてください。

### 帰国後

- ④ 直ちに千駄ヶ谷キャンパス事務室でセミナーの確認をしてください。
- ⑤ 後期に帰学・復学する場合は、帰学・復学後に履修登録をし、履修を開始してください。

## 7. 帰国後の手続き

留学から帰国したら、すみやかに大学に報告し、教務課・千駄ヶ谷キャンパス事務室・所属学科事務室等で所定の手続きを行ってください。

### 教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室

#### ① 「帰学」手続き（留学の学籍の場合）

「帰学届」提出	留学が終了したら、必要事項を記入し教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出する。所定用紙に記入する留学期間は、「留学許可通知」に記載されている期間と同一にする。
---------	---



「帰学許可通知」発送	本学での所属学科の承認を得て教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室より本人の現住所に発送する。
------------	--

#### 「復学」手続き（休学の学籍の場合）

「復学願」提出	休学が終了したら、必要事項を記入し教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出する。所定用紙に記入する休学期間は、「休学許可通知」に記載されている期間と同一にする。
---------	---



「復学許可通知」発送	提出された書類を学科会議・教授会にて審議し、学長の許可を得て、本人の現住所に教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室より発送する。
------------	---

- ② クラス指定科目の登録手続き（後期より帰学・復学する学生のみ）  
クラス指定科目や、教職関係の予備登録科目の履修を後期より希望する場合、8月下旬に抽選の申し込みを受け付ける。日程は履修要覧および掲示で確認すること。
- ③ 「科目継続」手続き  
留学前に手続きをした学生は、所定の期間に教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室で必要書類を受け取り、各自で手続きを行うこと。
- ④ 「単位認定」手続き  
単位認定の申請は帰学届提出後、2ヵ月以内に手続きを行うこと。
- ⑤ 登録延期科目の履修登録〔学芸学部〕  
事前に登録延期願を提出した学生は、帰学後、教務課の指示に従い、すみやかに登録を行うこと。

## 所属学科事務室

- ① セミナーの登録確認

## 国際センター

- ① 留学報告書（協定校留学レポート、私費留学レポート）の提出
- ② 海外留学（派遣・受入）奨学金受給者報告書の提出（該当者のみ）
- ③ 日本学生支援機構（JASSO）奨学金受給者所定報告書および本学の単位認定が確認できる成績通知書コピーの提出

# 8. 4年間で卒業する条件

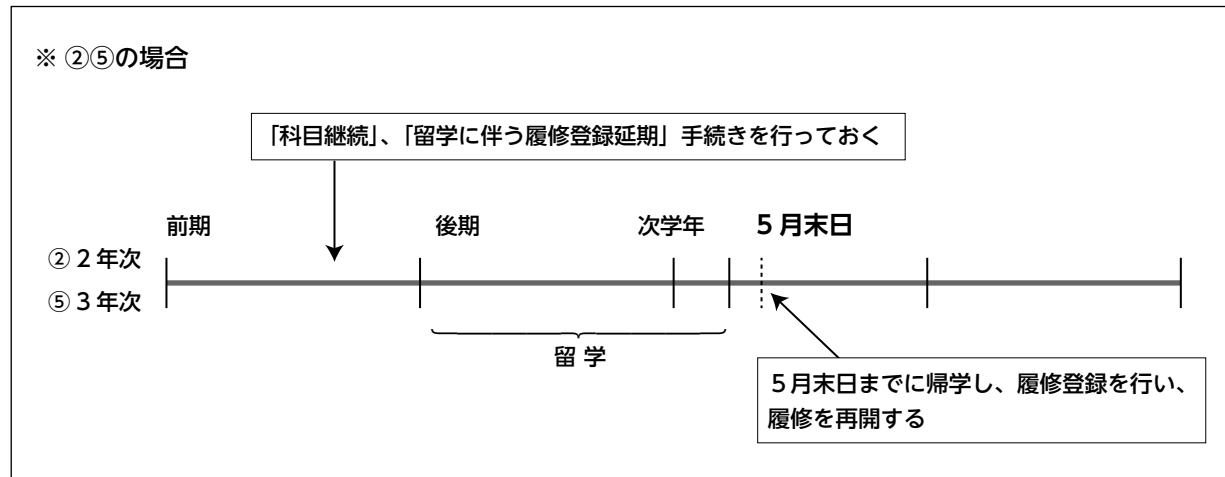
「留学」の学籍で留学した場合、以下に説明する方法で卒業要件の科目および必要単位をすべて修得することができていれば、4年間で卒業することが可能です。ただし、留学から帰ってきた年度に科目継続した科目が開講されないケースや、単位認定を希望した科目が認定されないケースもあり、卒業要件を満たすことができずに卒業が延びることがあります。

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室ならびに指導教員とよく相談してください。

### 〈学芸学部の場合〉

① 2年次前期からの留学	2年次の1年間を留学先で学び、帰学後に本学で3年次・4年次を学ぶ。2年次に本学で履修すべき科目は3年次の科目と並行して履修する。なお、1年次から2年次までの修得総単位数が32単位に満たない場合は、3年次に進級できないので注意すること。また、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。
② 2年次後期からの留学（「4.履修登録延期」する場合）※	2年次の後期から留学し、3年次の5月末日までに帰学し、かつ履修登録を行う。（前期からの履修登録をするために「留学に伴う履修登録延期」手続きが必要）。また、2年次の前期に登録した通年科目については、留学前に「科目継続」の手続きをしておくことにより、帰学後後期から同一科目を履修することが可能。
③ 2年次後期からの留学（「4.履修登録延期」をしない場合）	2年次の後期から留学し、3年次の後期に帰学する。2年次の前期に登録した通年科目については、②と同様に「科目継続」手続きをしておくことにより、帰学後後期から同一科目を履修することができる。翌年4年次に、3年次と4年次の科目を同時履修して単位を修得することで、留学期間を含めて4年間で卒業することが可能。ただし、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。

④ 3年次前期からの留学	3年次の1年間を留学先で過ごし、帰学後に本学で4年次を過ごす。3年次に本学で履修すべき科目は4年次の科目と並行して履修する。ただし、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。
⑤ 3年次後期からの留学 （「4. 履修登録延期」 必須）※	3年次の後期から留学し、4年次の5月末日までに帰学し、かつ前期から履修登録を行うようにする（前述の②に同じ）。3年次の前期に登録した通年科目については、留学前に「科目継続」の手続きをしておくことにより、帰学後後期から同一科目を履修することができる。このようにして必要な単位を修得すれば、帰学の翌年に卒業することが可能。



### 〈総合政策学部の場合〉

#### ★ 1年間の留学の場合

① 2年次前期からの留学	2年次の1年間を留学先で学び、帰学後に本学で3年次・4年次を学ぶ。2年次に本学で履修すべき科目は3年次の科目と並行して履修する。なお、1年次から2年次までの修得総単位数が32単位に満たない場合は、3年次に進級できないので注意すること。
② 2年次後期からの留学	2年次の後期から留学し、3年次の前期に留学を終了し帰学する。2年次後期に本学で履修すべき科目を3年次後期に3年次の科目と並行して履修する。3年次前期に本学で履修すべき科目は、4年次前期に4年次の科目と並行して履修する。
③ 3年次前期からの留学	3年次の1年間を留学先で学び、帰学後に本学で4年次を学ぶ。3年次に本学で履修すべき科目は、4年次の科目と並行して履修する。

#### ★ 1 Semester (学期) の留学の場合

2年次前期に1 Semester (学期) 留学	2年次の前期 (1 Semester) を留学先で学び、帰学後に本学で2年次後期・3年次・4年次を学ぶ。2年次前期に本学で履修すべき科目は3年次前期の科目と並行して履修する。なお、1年次から2年次までの修得総単位数が32単位に満たない場合は、3年次に進級できないので注意すること。
2年次後期に1 Semester (学期) 留学	2年次の後期 (1 Semester) を留学先で学び、帰学後に本学で3年次・4年次を学ぶ。2年次後期に本学で履修すべき科目は3年次後期の科目と並行して履修する。なお、1年次から2年次までの修得総単位数が32単位に満たない場合は、3年次に進級できないので注意すること。

3年次前期に1 Semester (学期) 留学	3年次の前期(1 Semester)を留学先で学び、帰学後に本学で3年次後期・4年次を学ぶ。3年次前期に本学で履修するべき科目は4年次前期の科目と並行して履修する。
3年次後期に1 Semester (学期) 留学	3年次の後期(1 Semester)を留学先で学び、帰学後に本学で4年次を学ぶ。3年次後期に本学で履修するべき科目は4年次後期の科目と並行して履修する。

(注) 前期：第1、2ターム、後期：第3、4ターム

## 9. 教職課程履修と留学について (学芸学部)

教育職員免許状取得希望者は、教育職員免許法で定められた科目を履修しなければなりません。また、教職課程履修者のためのオリエンテーション、説明会等に必ず出席し、所定の手続きを期間内に行うことが必要です。

教育職員免許状の取得を目指し、かつ在学中に留学を希望する場合は、留学する時期により、それぞれ留学前または留学後に決められた手順を踏むことで、留学と教育実習を両立することができます。しかし、留学期間を含めて本学を4年間で卒業することはできません。詳細は履修要覧「教職課程」のページをご覧ください。

4年間で卒業後、科目等履修生として教職課程を履修し、教育職員免許状を取得することは可能です。いずれにしても、留学前に教務課教職課程担当者とよく相談してください。

# V 留学のための奨学金

## 1. 津田塾大学の奨学金

本学には、留学する学生を支援するための給付奨学金制度があります。年2回の募集があります。

奨学金名	対 象	支給金額
津田塾大学海外留学（派遣・受入）奨学金	海外の大学に1学年間以上留学しようとする学部生（応募時2年次以上）	上限50万円
	海外の大学院・大学に1学年間以上留学しようとする大学院生	
条件等	1. 留学のための渡航予定があり、応募締切日までに入学許可書（1学年間以上）を手に入れていること。 2. 月額換算5万円以上の留学のための給付奨学金と、本奨学金を重複して受給することはできない。 3. 全期間、語学研修またはインターンシップの場合は応募できない。 4. 詳細は5月と11月に発表される募集要項で確認すること。	

※津田塾大学大学院海外学術研究奨学金として「学会・学術調査」を対象とするもの（上限15万円）が別途有。

※申請時には、①指定の願書、②留学先大学の入学許可証、③最新の成績通知書もしくは、最新のGPAが表示されたTsuda Net Web履修成績成績照会ページ（全科目表示）のコピー（大学院生は学部・大学院の成績通知書または成績証明書）、④家計支持者の年収がわかる公的書類、⑤語学能力を証明する書類、⑥奨学金の奨励金申請に係る確認事項（所定書式）が必要です。

## 2. 学外の奨学金

### （1）大学を通して応募する奨学金

下記の奨学金は、本学を通して奨学金の申し込み手続きが必要となるものです。

#### 給付

募集案内を入手次第、国際センターの掲示板、ウェブサイト等でお知らせします。

団体名・奨学金名	対 象	支給金額
日本学生支援機構（JASSO） 留学生交流支援制度 （双方向協定型・短期派遣）	本学の協定校に半年以上留学する学部生・大学院生で、本学から当該奨学金受給の推薦を受けた者	留学先の地域により月額6万円・7万円・8万円・10万円
日本学生支援機構（JASSO） 留学生交流支援制度 （大学院学位取得型）	海外の大学院にて修士又は博士の学位取得を目指す学生	奨学金：留学先地域により月額89,000円～148,000円 授業料：上限250万円/年（支給期間は原則として修士2年間、博士3年間まで）

官民協働海外留学支援制度 ～トビタテ！留学 JAPAN 代 表プログラム	在籍大学の認める学修計画により 留学を行う学部生・大学院生	奨学金（月額）：6万円・12万円・16万円 （地域等による） 留学準備金：15万円または25万円（地 域による） 授業料：上限30万円（12ヵ月以内の留 学の場合）
--	----------------------------------	---

（金額は2018年度実績）

## 賞与

募集案内を入手次第、学生生活課の掲示板等でお知らせします。

団体名・奨学金名	対 象	支給金額（月額）
日本学生支援機構（JASSO） 「第二種奨学金」 （短期留学）奨学金 ※有利子貸与	本学在学中に海外の短期大学・大 学・大学院に3ヵ月以上、1年以 内の短期留学をする学部生・大学院 生、または、3ヵ月以上1年以内の 研究のための留学をする大学院生	【学 部 生】 2万円・3万円・4万円・ 5万円・6万円・7万円・ 8万円・9万円・10万円・ 11万円・12万円から選択 【大学院生】 5万円・8万円・10万円・ 13万円・15万円から選択
日本学生支援機構（JASSO） 「第二種奨学金」 （海外）奨学金 ※有利子貸与	学部・大学院（修士・博士）の学生 において、卒業見込み者及び修了後 3年以内の者で、海外の大学院への 進学を希望する学生	【学 部 生】 2万円・3万円・4万円・ 5万円・6万円・7万円・ 8万円・9万円・10万円・ 11万円・12万円から選択 【大学院生】 5万円・8万円・10万円・ 13万円・15万円から選択

## （2）個人で直接応募できる奨学金

奨学金情報が入り次第、国際センターの掲示板、ウェブサイト等でお知らせします。

各国政府奨学金	出願条件等は国や種類によって異なる。 詳細は、日本学生支援機構（JASSO）の運営する「海外留学支援サイト」で確認すること。
---------	---

## 奨学金の探し方

国別、実施団体（JASSO、地方自治体、外国政府、民間団体等）別に調べてください。以下は近年募集のあった主な給付型奨学金です。年度によって募集内容が異なる場合がありますので、ご注意ください。また、民間団体の奨学金はそれぞれ条件を設けています。留学先大学が奨学金を設けている場合もあります。

団体名・奨学金名（学部生対象）
アーモスト大学内村鑑三スカラシップ（隔年募集）／大真奨学金奨学生／ 船橋市国際交流協会カリフォルニア州立大学イーストベイ校奨学金*／ 業務スーパージャパンドリーム財団派遣留学奨学金／平沢和重奨学基金 平沢奨学金（ベイツ大学）／ IELTS 奨学金／飯塚教育英会海外留学支援奨学金（栃木）／（財）霞山会／金澤磐夫記念財団奨学金／ 公益財団法人平和中島財団／米イリノイ大学 小山八郎記念奨学金／松下幸之助国際スカラシップ／ 公益社団法人日本中国友好協会／公益財団法人ロータリー日本財団／「埼玉発世界行き」*／ 私費訪中留学生奨学金／重田教育財団海外留学奨学金／戸田市海外留学奨学生*／ 高円宮記念クイーンズ大学留学奨学金／米日カウンスル渡邊利三寄付奨学金

## 団体名・奨学金名（大学院生対象）

麻生オックスフォード大学院ニューカレッジ奨学金／  
 CWAJ 奨学金プログラム海外留学大学院女子奨学生奨学金／フルブライト奨学金／  
 富士ゼロックス小林節太郎記念基金小林フェローシップ／  
 公益財団法人平和中島財団／本庄国際奨学財団奨学金（海外留学日本人大学院生奨学金）／IELTS 奨学金／  
 伊藤国際教育交流財団日本人奨学金／飯塚毅育英会海外留学支援奨学金（栃木）／金澤磐夫記念財団奨学金／  
 経団連国際教育交流財団（日本人大学院生奨学生、産業リーダー人材育成奨学金）／  
 皇太子明仁親王奨学金（ハワイ大学）／米日カウンシル渡邊利三寄付奨学金／松下幸之助国際スカラシップ／  
 松下幸之助財団（国際スカラシップ、「研究助成」）／公益財団法人日本中国友好協会／  
 中島記念国際交流財団日本人海外留学奨学金／オックスフォード上廣セントクロス奨学金給付型派遣留学生／  
 公益財団法人ロータリー日本財団／「埼玉発世界行き」\*／私費訪中留学生奨学金／  
 重田教育財団海外留学奨学金／吉田育英会 日本人派遣留学プログラム奨学金

\* 印は地方自治体、無印は民間の奨学金

上記以外の奨学金については日本学生支援機構（JASSO）のウェブサイトを参照してください。

〈海外留学のための奨学金〉

<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>



## 留学体験記 3 私費留学 (英国 サセックス大学)

学芸学部 国際関係学科 酒井 莉乃

(留学期間：2017.6～2018.6 留学開始時：3年次)

私は、3年次第2タームから12か月間、イギリスのサセックス大学にて留学をしていました。私の留学の特徴として、私費留学であること、6月からのコースで大学に入学したことが挙げられます。まず、私費留学にした理由は2つあります。1つ目は協定校の応募に間に合わなかったことです。就活の時期を考えると3年次の後期からの留学が無難であると意識していたものの、決心するのが遅く、知らぬ間に応募期間が残り1週間となっていました。さらに、私の英語力では応募資格を満たせなかったため、協定校はあきらめることにしました。2つ目は、大学の選択肢が広がることです。私は国際開発学を学びたいと考えていたため、それを叶えられる大学をエージェンシーの協力の下で探しました。結果として留学中は国際開発学の科目を中心に取ることができ、多くを学ぶことができました。

2つ目の特徴である、6月からのコースとは、条件付き入学のことを指します。VISAの申請までに必要な語学のスコアを満たすことができなかつたため、6月から10週間の語学研修に参加することを条件に大学への入学許可を得ました。条件付きであることは悔しく思いましたが、結果的には研修期間があつてよかったと思いました。なぜなら、慣れない場所での生活基盤を整えてから授業に挑めたからです。時間と気持ちに余裕がある期間に街を散策し、現地での生活に慣れたため、9月からの授業に最初から集中することができました。また、友人ができたことも研修を受けてよかったと考える理由の一つです。週に1回の大教室での授業が多くなかなか友達を作ることができなかった私にとって、研修中に毎日顔を合わせ、街を一緒に探検した友人の存在は大きな支えとなりました。授業を理解できず落ち込んだ時は毎回タピオカミルクティーを飲みながら互いを励まし合ったこと、テスト期間に図書館で夜中まで一緒に勉強したことなど、共に戦った思い出はこの先ずっと心に残ると思います。

留学中の経験・思い出はこのハンドブックでは語り切れないくらい濃いものとなりました。卒業後の進路を具体化することもできたため、これからは目標に向かって知識と経験を積んでいこうと思います。



バスケット部の仲間たちと

# VI 留学と就職

「留学に行ってみたいけれど、就活がどうしても気になる」「留学は就職に有利？不利？」など、留学と就職に関するさまざまな質問が国際センターや学生生活課に寄せられます。

留学経験を就職活動にどのように生かすか、また、留学と就職活動を両立する上でのポイントなど、留学前にしっかりと研究して、留学と就職に関わる不安や疑問をクリアにしましょう。

## 1. 留学前の就職活動準備

学生生活課主催の進路ガイダンスを利用しながら、就職活動に関する準備を進めてください。毎年後期には各企業および就職情報会社の主催するセミナーや説明会も開催されますので、関心のあるものに参加してみることもよいでしょう。

留学前には次のような準備をしておくといよいでしょう。

### 自分のライフプラン・キャリアプランをイメージする

まず自分はどのような仕事に就きたいのか、どのように生きていきたいのか、どんな人になりたいのかをイメージしてみましょう。そして、「留学」してどんなことを身に付けたいのか、それをキャリア（就職）にどう活かしていきたいのか、などを考えてみましょう。さらに、留学先で学びたいことや学問以外にやりたいことなども考えてみましょう。

### 企業研究・業界研究をしてみる

帰国後すぐに就職活動を始める方が多いようですが、世の中にはどのような企業があるのか分からないでいると、エントリー（応募）までに時間がかかることになります。また、帰国時期によっては、企業研究、エントリー、説明会・セミナー参加、選考という一連の就職活動のピークにすぐに直面して、とまどうことが多いようです。

業界・企業研究は、時間に余裕のある留学前に行うといよいでしょう。大学で実施するガイダンスや企業説明会へ参加、キャリア・センターで企業ファイルを調べること、OGに会ってお話を聞くことも有用です。また企業や就職情報会社主催の説明会も利用してください。

### 自分の就きたい仕事をイメージする

就職活動は、世の中にある仕事と自分の就きたい仕事をマッチングさせていく作業でもあります。企業研究・業界研究を行い、自分の希望する仕事を現実と重ね合わせながらイメージしてやるのが大切です。

「留学したので語学を生かせる仕事をしたい、海外とつながりのある仕事がいい」と考えがちですが、大切なのは、「語学ができる」というよりも「語学を使って何をしたいのか」ということです。語学はあくまでも手段であって、目的ではありません。「語学」や「海外」を主眼にしすぎて、就職したら何をしたいのかということあまり考えないまま就職活動を始めると長引く場合があります。

「語学以外に留学からどのようなことを学んできたか、その経験をこれからどのように活かしていきたいか」という質問にもしっかりと答えられるように、留学生生活を過ごしてください。

### 就職用の筆記試験（SPI や一般常識）の傾向を知る

帰国してすぐに筆記試験となることもあります。市販の問題集を解いて、試験の内容や傾向を知っておきましょう。

### 学生生活課に相談する

留学出発前に学生生活課に立ち寄って、これからの予定や準備の仕方などについて確認しておきましょう。

## キャリア・センターの各種報告書を利用する

キャリア・センターには、就職活動を経験した4年生の就職試験内容報告書（企業、教員、公務員、進学）がファイルされており、自由に閲覧できます。応募から選考、内定時期まで報告されていますので、志望業界や企業の動き、選考方法について確認することができます。（ただし、毎年必ず同じスケジュールで選考が進むとは限らないので注意してください。）

## 2. 留学中の情報収集

留学している間は勉強や現地での生活が予想以上に大変で、就職について考える時間があまり取れなかったという人が多いようです。一方で、留学中に海外の地で自分にじっくりと向きあったので、自己分析ができてよかったという人もいます。

留学期間中は、まず留学先での生活を楽しみ、しっかり学んでくることが一番大切です。そのうえで、時間を見つけて次のような情報収集を行うとよいでしょう。

### キャリア・センター WEB 掲示板

キャリア・センターに届く資料の一部（イベント・インターンシップ情報、求人票、等）を Web 上で閲覧できます。パソコン、スマートフォン、タブレットなど各種端末で閲覧できますが、ダウンロード、印刷はできません。

キャリア・センター WEB 掲示板 <https://bit.ly/2PkZFdM>

※各自の津田塾大学のメールアドレス（@gm.tsuda.ac.jp のアドレス）とパスワードでログインが必要です。

Google Drive のアプリは使用せず、必ず Chrome、Safari などのブラウザでアクセスしてください。

### 情報収集をする

多くの企業がウェブサイト上や、就職情報サイト（マイナビ、リクナビなど）に採用活動に関する情報を公開しており、そこからエントリーができます。可能な範囲内で、業界研究や企業研究、エントリー等をするとういでしょう。そのためにも、日本語を入力できるパソコンを日本から持参することをお勧めします。

また、留学中は日本に関するニュースから離れてしまうことが多く、一般常識的な話題に疎くなる傾向があります。新聞社のウェブサイトなどを利用して、日本国内のニュースや話題などを知っておくとよいでしょう。

### 留学生向けの就職情報サイトをチェックしておこう

留学経験者を対象とした就職情報のウェブサイトもあります。イギリス、アメリカ、オーストラリアで留学中の学生を対象とした合同企業説明会の実施や、帰国後の学生を対象とした説明会を日本で実施します。ぜひ確認するようにしましょう。

▶ ディスコ <http://www.careerforum.net/>

▶ マイナビ国際派就職 <http://global.mynavi.jp/>

### TOEIC® を受ける

留学後の英語力について、客観的な数字（スコア）が無ければアピールが難しいことがあります。帰国後の受験でもよいのですが、スコアが出るまでに時間がかかるので、留学中に受験しておくとういでしょう。

### 留学先大学のキャリア・センターを利用しよう

留学先の大学にキャリア・センターがある場合には、ぜひ利用し、英文履歴書の書き方などについて相談してみてください。

### 3. 帰国後の活動

帰国の時期によって、就職活動の仕方にも注意が必要です。まず、学生生活課に相談をして、自分なりの就職活動を行いましょう。

#### 「進路カード」を提出する

帰国後はなるべく早く学生生活課に「進路カード」を提出してください。進路カードは卒業予定者全員が提出する大切な書類です。

提出の際、カードをもとに現在の採用活動の状況、これからの就職活動の進め方、現在募集している企業についてなどアドバイスします。

#### 焦らず、環境に慣れる

周囲の友人が活動しているからといって、焦りは禁物です。まずは日本の環境に慣れることから始めましょう。ある留学経験者は、「最初の数日間は自分が日本語を話していることにも違和感があった」と話していました。時差やコミュニケーションの取り方に慣れるには多少時間がかかります。日本の生活に慣れることから始めましょう。

#### インターネットとキャリア・センターの求人票を中心に活動を進める

留学経験者向けの合同企業説明会は、ディスコやリクルートが随時開催します。また一部企業では、留学帰国者などを対象とした採用活動を行っています。多くの情報は企業のウェブサイトで情報提供されますので、志望企業のサイトをよく確認しましょう。

大学への求人票は、採用広報開始時期に公開します。語学力を求める求人も随時届きます。求人票や募集告知ポスターはキャリア・センターに掲示しますので、必ず目を通すようにしましょう。

#### 留学経験者の進路

最終的に自分の個性を活かせるところをじっくり選び、満足度の高い結果になっています。2017年3月、2018年3月に卒業した留学経験者の主な進路は次の通りです。(順不同)

##### ● 就 職

アクセンチュア、浅野国際特許事務所、味の素、渥美坂井法律事務所・外国法共同事業、アルファポリス、伊藤忠ケミカルフロンティア、魚力、エアウィーヴ、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、エンカレッジ・テクノロジー、カシオ計算機、(社)共同通信社、近鉄エクスプレス、近鉄コスモス、ケイヒン、JX エネルギー、JTB グローバルマーケティング & トラベル、JTB PTE LTD、シャープ、ジャルパック、水ing、ストラパック、セイコーエプソン、セールスフォース・ドットコム、全日空商事、双日、テクノコア、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム、東京女子大学、TOTO、豊国印刷、豊田通商、トラスコ中山、トランスコスモス、ナガセ(東進ハイスクール)、長野信用金庫、日鉄住金物産、日本放送協会、日本カーバイド工業、日本技術貿易、日本経済新聞社、日本航空、日本通運、日本ビジネスシステムズ、日本放送協会、農畜産業振興機構、野村アセットマネジメント、パーソルテンプスタッフ、パイオラックス、バンドー化学、ビジネスコンサルタント、日立コンサルティング、日立製作所、日立物流バンテックフォワードディング、エクイニクス・ジャパン・エンタープライズ、フィリップモリスジャパン、富士通、ブリックス、プリンスホテル、三井食品、三井住友海上火災保険、三菱商事、麺食、森・濱田松本法律事務所、山梨中央銀行、ヤマハ発動機、郵船クルーズ、ユニクロ、楽天、リクルートコミュニケーションズ、和信化学工業

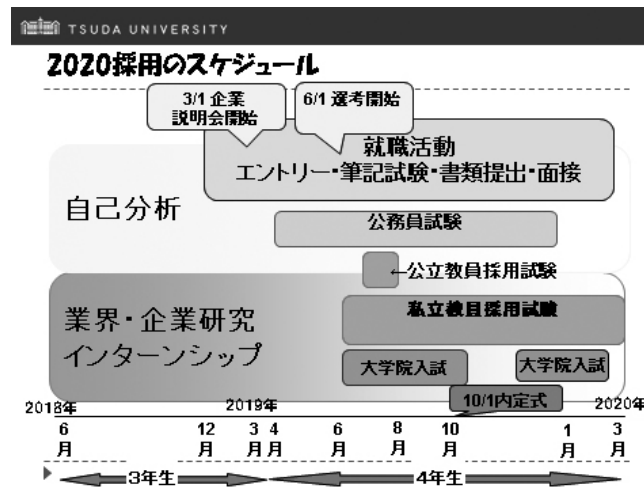
国家公務員：関東信越国税局

公立中学・高等学校教員：東京都(英語)

##### ● 進 学

津田塾大学大学院、東京大学大学院、東京外国語大学大学院、早稲田大学大学院、アベリストウィス大学大学院、サンフランシスコ州立大学院、ブラッドフォード大学大学院、メルボルン大学大学院、キングストン大学(学部)

## 4. 進路決定までのスケジュール



この図は、次の 2019 年度卒業・修了予定者の就職・採用活動日程を基にしています。

- 広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の 3 月 1 日以降
- 採用選考活動開始：卒業・修了年度の 6 月 1 日以降
- 正式な内定日：卒業・修了年度の 10 月 1 日以降 (2018 年 10 月 31 日現在)

### ☆ 2020 年度 (2021 年 3 月) 卒業・修了予定者の就職・採用活動に関する日程等について

2020 年度卒業・修了予定者の就職・採用活動日程について、内閣府より現行ルールと同じとするように関係機関に働きかけることが発表されました。今後の動向に関する情報には注意をはらってください。

- 広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の 3 月 1 日以降
- 採用活動開始：卒業・修了年度の 6 月 1 日以降

【参考 URL (内閣官房ホームページ)】

[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shushoku\\_katsudou/index.html](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shushoku_katsudou/index.html) (2018 年 10 月 31 日発表)

## 5. 4 年間で卒業を目指す場合

帰国してすぐに就職活動を始めることとなりますので、2 年次から学内ガイダンスには出席するなど早くから準備をすることが大切です。

### 留学前・留学中にしておいてほしいこと

- 留学の目的を再確認。行動計画を立てる。  
⇒行ってみたらできるだろう、変わるだろう...では何もできない、変わらない。
- 新聞(WEBでも可)をしっかり読んでおく。
- 日本の友人との人間関係(繋がり)を大切に。  
⇒帰国後に助けてくれる人・GAPを指摘してくれるのは国内の友人。
- 日本について現地の言葉で意見できるようになる。  
⇒「外交官」として、特に政治経済、震災による経済的な影響、日本文化・歴史・宗教など。海外では常に「日本人」として「個人」の意見が求められる
- 留学先の経済に注目。日本企業との関係を調べる。  
⇒その国にどのぐらい企業が進出しているのか、どういう位置づけなのか？  
日本人会のような交流の場はあるか？

8/5/18 「留学と就職」(講師：株式会社ディスコ) 資料より

# VII 渡航準備

## 1. パスポートとビザの申請

### (1) パスポートの申請

パスポート（旅券）…… 日本国籍および身分を証明する公式な文書。有効期間 10 年間のものと 5 年間のものがあり、申請時にどちらかを選ぶ（20 歳未満の場合は 5 年間有効の旅券のみ）。発行までに約 7 日かかる。

- 申請に必要な書類等：
- ①一般旅券発給申請書（5 年用、10 年用）1 通
  - ②戸籍謄本または抄本（6 ヶ月以内に発行されたもの）1 通
  - ③写真 4.5cm × 3.5cm（6 ヶ月以内に撮影されたもの）1 枚
  - ④身元確認の書類 1 つあるいは 2 つ（運転免許証、健康保険証、国民年金手帳、学生証など）
  - ⑤前回取得した旅券（ある場合）

手数料：10 年間有効 16,000 円、5 年間有効 11,000 円

申請先：東京都民

- 東京都庁旅券課（都庁都民広場）
- 都庁立川分室（立川駅ビル「ルミネ立川店」）
- 都庁有楽町分室（東京交通会館）
- 都庁池袋分室（サンシャインシティ ワールドインポートマートビル）

都民以外

各都道府県のパスポート申請窓口

※学生は住民票を移してなくても、現在居住している都道府県で申請することができます。（「居所申請」）その場合は、上記①～⑤の書類のほかに、⑥居所申請申出書、⑦住民票の写し（6 ヶ月以内に発行されたもの）、⑧居所の記載された学生証または在学証明書、⑨居所の賃貸借契約書や居所宛の郵便物（学生証に居所が記載されているときは不要）が必要です。

問い合わせ：東京都パスポート電話案内センター ⇒ Tel 03-5908-0400

外務省ウェブサイト [http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass\\_2.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html)

(2019 年 2 月現在)

※パスポートの有効期間の残りが 1 年未満の場合は、新しいパスポートに切り替えることができます。

※パスポートの有効期間が 3 ヶ月または 6 ヶ月以上ないとビザの申請ができない国があります。長期滞在ビザの場合、パスポートの有効期間が 1 年以上残っていないとビザの申請ができない国もあります。

留学先国の条件とパスポートの有効期間を早めに確認してください。

※消費税等の変更に伴い、手数料が変わる場合があります。

### (2) ビザの申請

留学先国の入国法に従って、出発に間に合うよう必要なビザを取得した上で入国してください。またビザが免除される場合でも電子登録で渡航認証を申請する必要がある国（アメリカ、カナダ、オーストラリア）や、ビザ申請とは別に電子登録が必要な国もあります（フランス）。手続き方法、必要書類については頻繁に改正されますので、必ず各国大使館または総領事館のウェブサイト等で最新の情報を入手し、確実に申請してください。

## 2. 海外旅行保険

留学が決まったら、必ず海外旅行保険に加入します。海外で診療、治療を受けることになった場合、保険に加入していないと、想像以上の高額な医療費の請求を受けることになります。留学先の国や大学によっては、現地の保険に入ることが義務づけられていることもあります。放課後や休暇中は適用されない場合が多いうえ、現地と日本間の移動、急病や盗難・破損、緊急時に保護者の渡航にかかる費用、賠償責任など、カバーされない部分があり、十分ではありませんので、渡航前に日本で海外旅行保険に加入してください。

(※「留学」の学籍で渡航する学生は、保険証書のコピーを本学に提出することが義務付けられています。)

保険会社ではさまざまな保険タイプを用意していますので、内容やサービス、現地事務所の有無などをよく検討してください。

### 〈参考になるウェブサイト〉

外務省海外安全ホームページ「海外旅行保険加入のおすすめ」 <http://www.anzen.mofa.go.jp>

一般社団法人海外邦人安全協会 <http://www.josa.or.jp/index.html>

一般社団法人日本損害保険協会「海外旅行損害保険」 <http://www.sonpo.or.jp/>

## 3. 健康面について

### (1) 健康管理

- 環境の変化で体調をくずすことがないように毎日の生活を自己管理しましょう。免疫を高めておくことが大切です。
- 頭痛や腹痛など普段かかりやすい病気や症状を現地の言葉で伝えられるようにしておきましょう。常備薬の持参をお勧めします。持病がある場合、出発前にゆとりを持ってかかりつけ医に相談しましょう。
- 歯の治療を済ませておきましょう。
- 自分の血液型、食べ物や薬のアレルギーについても理解しておきましょう。
- 少なくとも出発の3か月前に、渡航先でかかる危険性の高い感染症について情報を集めましょう。予防接種の中には、数回接種するものがあるため、必要に応じて早めに予防接種を受けるようにしてください。

参考ウェブサイト 厚生労働省検疫所 FORTH (予防接種について)

<https://www.forth.go.jp/useful/attention/02.html>

国立国際医療研究センター病院トラベルクリニック

<http://travelclinic.ncgm.go.jp>

### (2) 感染症についての注意

- 食べ物や飲み物、動物、鳥、虫、むやみな水遊び、傷口からの感染など感染症には注意が必要です。渡航先の情報は確認しておきましょう。

参考ウェブサイト 厚生労働省検疫所 FORTH (海外で健康に過ごすために)

<https://www.forth.go.jp/destinations/index.html>

- もしもの時のため現地の情報を収集しておきましょう。

参考ウェブサイト 外務省ホームページ (世界の医療事情)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>

- 日本にいるときと同様、性行為感染症に注意してください。

### (3) 証明書の作成

- 定期健康診断の英文証明書は、ウェルネス・センター医務室で発行しています。
- 予防接種や検査が必要な時は、直接医療機関を受診してください。

東京都福祉保健局 健康安全部感染症対策課 が作成している冊子「海外旅行者・帰国者のための感染症予防ガイド」は、すぐに活用できる情報 URL をひとまとめにしたガイドブックです。ウェブでも確認できます。

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/smph/iryo/kansen/yoboguide.html>

## 4. その他

渡航準備に際し、金品の所持、クレジットカードの利用、銀行口座開設や、実際の留学生活に必要とされる情報は、国際センターにある留学体験者の報告書や、その国の政府観光庁等の基本情報で確認してください。

### 留学生危機管理サービス (OSSMA LOCATOR) の加入について

“留学”の学籍で留学する場合、学外学修に履修申請して参加する場合、あるいは大学主催の奨学金を利用して海外活動や語学研修に参加する場合、留学生危機管理サービス (OSSMA LOCATOR) に加入します。

渡航前に必ず基本登録を行ってください。

OSSMA LOCATOR では安否確認や危機管理に関する情報提供を行います。



## Ⅷ 危機管理

### 1. 留学中の安全対策

日本は世界でも特に治安の良い国だといわれています。その中で育ち毎日生活しているわたしたちは、危険に対する感覚が十分とは言えないのではないのでしょうか。したがって留学先の国でもつい日本と同じ感覚で無防備に行動してしまいがちです。そしてそれが思いも寄らないトラブルに巻き込まれる原因となり、最悪の場合には生命を失う結果へとつながる可能性があります。

海外での安全対策を考える上で最も心得ておくべきことは、「**自分の身は自分で守る**」 = 「**自己防衛 (Self-Protection)**」ということです。

#### (1) 留学前

留学先の国・地域の治安、宗教、政治、文化の特徴、日本との違い、習慣、タブー等をよく調べる必要があります。日本では問題にならない行動が他国では大変失礼な行為に当たり、危害を加えられる結果になることもあります。「知らない」ことが危険を生むことになることを理解しましょう。

下記のホームページを参照し、治安情勢に注意してください。

**外務省海外安全ホームページ** (<http://www.anzen.mofa.go.jp/>)

国・地域別の治安情勢が掲載されていて、それぞれの国・地域に応じた安全対策の目安として「危険情報」が发出されています。国・地域別「安全の手引き」の項目等を参考にして、留学前のみならず留学中もその国・地域の情報をチェックしましょう。

※外務省からの危険情報によっては、津田塾大学から渡航の延期もしくは留学の中止を勧告する場合があります。

#### (2) 留学中

留学先の大学に到着したら、留学生担当者から安全に関するパンフレット類（セクシュアルハラスメント対策を含む）を入手するとともに、大学の安全対策を確認し、周辺の治安についても尋ねてください。また、安全に関するオリエンテーションがあれば必ず出席するようにしましょう。夜間に学生を送迎してくれるエスコートサービスを利用できる大学もあります。

さらに友人や地域の人々からも日常的に情報収集するようにし、地元の警察署発行の防犯パンフレット類も入手しておきましょう。万が一被害にあってしまった場合には適切に行動できるように予め対処方法や緊急連絡体制を確認しておくことも大切です。

現地の緊急時の連絡先を一覧にして常に携帯しておきましょう。

警察署、消防署、在外大使館・領事館、保険会社、病院等

### 「安全な海外旅行のための心得5箇条」

1. 現地の法律を守り、風俗や習慣を尊重すること。
2. 危険な場所には近づかないこと、夜間の外出は控えること。
3. 多額の現金、貴重品は持ち歩かないこと。
4. 見知らぬ人を安易に信用しないこと。
5. 犯罪被害に遭ったら：命が一番大事。

(外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/> より)

※4. についてはニセ警官・ニセガイド等のケースもよくあるので注意すること。

※上記に加えて、薬物（大麻等）には絶対に手をださないこと。その国では合法であっても、日本の法律では薬物を所持・譲受・使用等した場合には処罰の対象となることがあります。

## (3) 海外留学時の安全に関するウェブサイト

外務省海外安全ホームページ

海外留学 <https://www.anzen.mofa.go.jp/study/>

主なコンテンツ：・海外安全虎の巻      ・海外安全劇場  
 ・海外邦人事件簿      ・海外で困ったら 大使館・総領事館のできること など

外務省ホームページ 世界の医療事情 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>

厚生労働省 検疫所ホームページ 海外渡航者のための感染症情報 <http://www.forth.go.jp/>

## (4) 地域別主な事例とアドバイス

### 1. 外務省海外安全ホームページ

国・地域別「安全の手引き」を参照してください。 [https://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/safety\\_guidance.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/safety_guidance.html)

#### 過去の主な事例：

**アジア** 鳥インフルエンザ等各種感染症発生……うがい、手洗い、鳥への接触を避ける。

大気汚染（中国）……マスク着用、うがい

民族・宗教・政治対立による暴動、テロ……人込みを避ける。記念日の集会を避ける。不用意な発言に注意する。

自然災害（台風、地震、津波）……情報収集、食糧等の備蓄、懐中電灯等常備

薬物……面白半分で手を出さない。帰国時に安易に荷物を預からない。国によっては持っているだけで死刑になることもある。

**北米** 各種感染症（コロナウィルス、ジカウィルス他）……感染情報の収集

窃盗、強盗、殺人……夜間・早朝の外出はしない。一人歩きはしない。強盗などに遭遇した場合には抵抗しない。

テロ……人込みを避ける。記念日の集会を避ける。

**中南米** 政治対立による暴動……人込みを避ける。記念日の集会を避ける。不用意な発言に注意する。

犯罪組織対警察の攻防……人込みを避ける。警察等の情報収集をする。

感染症への注意

**欧州** テロ……人込みを避ける。警察等の情報収集をする。

デモ……記念日の集会を避ける。

**その他** 写真撮影……宗教上、政治上の事情から写真撮影禁止の場合がある。知らずに撮影すると逮捕される。

地域特有の情報を十分に把握する必要がある。

服装……素足、肩出しは国により売春婦と思われる為、危険である。

※国・地域の習慣、風習、社会常識を十分に把握することが必要です。

## 2. 帰国生からのアドバイス：実際に起きた事例。危険は身近にある。

国名	コメント
アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ドラッグは身近にあるものなので、友人同士のパーティーであっても、口に入れるものには注意するようオリエンテーションで指導があった。</li> <li>• アルコールは21歳以上は合法だが、それ以下の年齢、21歳以上であっても大学内での飲酒は厳しく制限されている。(ミネソタ州)</li> <li>• 交通規則、夜間外出など、危険は常に存在すると心得て、単独の行動や夜間の外出は避けるようにしている。</li> <li>• 大学の Public Safety に電話をすると、夜間の学内移動に付き添ってくれる。</li> <li>• frostbite (凍傷) に気をつけるように学校で指導された。(ミネソタ州)</li> <li>• 深夜の一人歩きはしない。</li> <li>• パスポートやI-20、保険の証明書などの身分証明書はしっかり管理する。</li> <li>• マリファナが合法の州ではキャンパス内で麻薬を吸っている学生を見かける事がある。電線に靴が大量にかかっているのを見かけたら、付近で麻薬を販売している目印と教わった。</li> <li>• 自転車盗難が一番頻繁に起こる犯罪。きちんと施錠すること。</li> <li>• 音楽を聞きながら道を歩かない。</li> <li>• 歩きながら携帯をいじらない (スマートフォンを狙った犯罪が増えている)。</li> <li>• 見知らぬ人に声をかけられたら無視して逃げること。</li> <li>• レイプに気をつけること。自分からそういう雰囲気をかもし出さないこと。</li> <li>• 暗くなったら一人で出歩かず、遅くなったら近くでもバスを使って帰る。</li> <li>• 現金はあまり多く持たないようにしてクレジットカードで支払う。</li> <li>• アメリカは運転免許の取得が容易なため、車の運転が荒いドライバーが多いので気をつけること。</li> <li>• マリファナ (大麻) が合法なので吸っている姿をよく見る。ブラウニーに入れて食べることもあるようなので、知らない家で出された食料には少し注意したほうがよい。しかし無理にすすめることはないの、自ら手を出さなければ安全。(ワシントン州)</li> <li>• 都会に行くときはカバンに南京錠をし、自転車もロック方法に気をつけて盗難されないようにしている。(カリフォルニア州)</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 留学生も基本的に NHS (英国国営保健サービス、National Health Service) に加入でき、無料で診察を受けることができる (注: 診察内容、地域によって異なる場合がある)。</li> <li>• ATM が 24 時間無料なので現金を持ち歩かず、必要な分のみをおろして使っている。</li> <li>• ATM はほとんど屋外にあるため、背後を確認し、ボタンを手などで隠して操作している。</li> <li>• デビットカード (銀行口座とオンラインで連動しており口座から購入時に引き落とされる) を利用している。</li> <li>• クレジットカードの不正使用をされ、半年の間に 2 回も使用不可になった。</li> <li>• 外出先で携帯を盗難された。パソコン、携帯電話などの電子機器は放置せずしっかり管理すること。</li> <li>• 大学の facebook のグループ機能で周辺地域の危機情報を確認し、事件発生地域には近づかないようにしている。</li> <li>• 英国内では交通機関や郵便局のストライキが多い。</li> <li>• タバコとみせかけてドラッグであることも多い。タバコを勧められても吸わないこと。</li> <li>• 暗くなってからの一人での外出・一人歩きは避けた方がよい。また、ロンドンなど大都市に行く時は、スリの被害に遭わないよう、自分の身の回り品に特に気を付けた方がよい。</li> <li>• 土地に慣れるために、初めの何週間かは他の人たちの様子 (横断歩道のシステム、人気がなくなる時間帯など) をよく観察するようにした。</li> <li>• 思ったよりもホームレスが多く、「おつりをください」と気軽に話しかけられるので注意が必要である。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アライグマなど、身近な場所にいる動物に安易に触れないこと。</li> <li>• 治安は、日本とほとんど変わらず良いという認識だったが、日本とは異なり様々なバックグラウンドを持つ人が多く、互いを尊重するポリシーがあるので、他の国や宗教などについて軽率に発言することは避けるべきだと感じた。</li> </ul>

国名	コメント
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本にいるときと同様に、夜は一人で出歩かない等の基本的な注意をして行動するよう心がける。</li> <li>学生ビザで滞在する全ての学生が加入を義務付けられている OSHC (Overseas Student Health Cover、外国人留学生健康保険) に加入したので病院での診察も無料で受けられた(注: 病気や怪我などの際に適切な医療を少ない負担で受けられる制度)。</li> <li>ANU では、ANU Security という平日に 23 時頃まで使える車での送迎サービスがあるので、大学内に夜遅くまで滞在し、帰りが一人になる時は利用していた。</li> <li>ANU では、海での遊び方 (サメやクラゲ等に注意すること、潮の満ち引きに注意すること) について留学担当者から注意があった。</li> <li>自転車は盗難に遭うため、ロックが必要である。</li> <li>寮のキッチンでの盗難がある。冷蔵庫やカップボードから食材を盗まれたりする。</li> <li>飲酒は屋外では禁止。</li> </ul>
中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国人全てが反日感情を持っているわけではなく、日本に対して良いイメージを持っていたり日本文化が好きなのも多い。しかし大学がある南京は歴史的な関係上、過去に日本に関連した事件があった日には反日的な動きになるため、窮屈な思いをした。歴史の勉強をしておくと思う。反日感情を感じた時は屋外で日本語を話さないようにした。</li> <li>自動車や二輪車が激しく走行しているため、道路横断中など、交通事故に注意すること。</li> <li>いたるところで工事をしているため粉塵に気をつけること (室内にも入ってきた)。</li> <li>留学生の間で麻薬が蔓延していることもあるため、バーやクラブへ行く時は注意すること。また、麻薬の取締まりが非常に厳しいので、知らず知らずのうちに巻き込まれないよう注意。</li> <li>10 月の連休や旧正月には詐欺が増えるので気をつけること。</li> <li>鉄道の駅ではダフ屋やスリに警戒すること。</li> <li>何か事件が起きるのは午前 1 時過ぎが多いということで、お酒を飲むような場所に行ったら、1 時までには帰るようと言われた。</li> <li>パスポートを常に身につける。法律で外国人はパスポートを身につけることが義務付けられている。(南京)</li> <li>無駄に現金を持って歩かないように留学担当者に言われた。スマホで支払いするシステムが普及しているので、現金がなくても買い物や食事ができる。(南京)</li> </ul>
台湾	<ul style="list-style-type: none"> <li>淡江大学がある地域は台湾でも冬は寒くなるので服装に気をつけること。</li> <li>車やバイクの運転が危険なので、歩行中、バス乗車中も危険を感じた。</li> <li>台湾の地下鉄 (MRT) では改札の前にある黄色い線を越えたら飲食は禁止で、ガムや飴を口に含んでいても注意され、罰金を科されることもあるため気をつけること。</li> <li>台湾は基本的には安全だが、一人では出歩かず、台湾の人と一緒に行動するようにしている。</li> </ul>
韓国	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国にいるという自覚を持ち、気を抜かないことが大切。</li> <li>梨花女子大学の学生証はクレジットカードの役割も果たすので、利用している。</li> <li>大学がある近辺の鉄道駅周辺で日本人学生が襲われたことがあると聞いたので、夜はそのような場所を通らないように注意している。</li> <li>日本人と分かると騙そうとする人がいるので、気をつけている。</li> <li>留学中、MERS が大流行したため、マスクと消毒液は常に持ち歩いていた。</li> <li>日本より交通マナーが悪いので、道を歩くときは注意が必要。横断歩道を歩いていても車が突っ込んでくることもある。</li> </ul>
フィリピン	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜は決して一人で出歩かず、複数で行動すること。</li> <li>やむを得ない場合以外は、一人でタクシーに乗らない。</li> <li>金銭の管理を怠らないこと。知人は ATM 利用直後にバッグを切られたり、盗られたりしたことがある。</li> <li>蚊を媒介に感染するデング熱に注意する。そのためにも虫除けの薬を欠かさないこと。</li> <li>暑さのため体力の消耗が多く、日本ではかからないような原因不明の体調不良 (咳、湿疹、腹痛) に罹ることが多かったので、早目に病院に行くことを勧めたい。</li> <li>ジープニー (乗合タクシー) に乗っているときや道を歩いているときに物乞いやストリートチルドレンに話しかけられるのであまり相手にしないようにすること。</li> <li>スリに気を付けること。</li> </ul>

国名	コメント
スウェーデン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 変な人に話しかけられたら逃げる。</li> <li>• 夜は出歩かないこと。</li> <li>• 1年未満の留学生は銀行口座開設ができない。国際キャッシュカードを作ること。</li> <li>• 冬になると地面が凍るので自転車の運転は危険である。</li> </ul>
スペイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大学があるアルカラは他所に比べ安全な町であるが、所持品には常に気をつける必要がある。バッグやリュックは前に持ったり、大金を持ち歩かないようにしている。</li> <li>• 多様な手口のスリに気をつけること。</li> <li>• マドリードなど大きな町に行く場合は更なる注意が必要である。</li> </ul>
メキシコ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 深夜に地下鉄・乗合バスには乗らない、危険な地区には近寄らない。</li> <li>• タクシーの利用に際しては、どんな場合においても細心の注意を払うこと。特に流しのタクシー（リブレ/Libre）や無認可の白タクは利用しないこと。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ドイツでは個人で薬を購入することは基本的に禁止されている。また、ある友人は常備薬を日本から送ってもらったが、税関で止められていた。税関での受取は手続きが非常に煩雑である上、返送されたり、破棄されることもある。そのため、普段使っている薬はドイツに行くときに留学生活の間に必要な分量を持って行くのが最も良い方法だと思う。</li> <li>• 貴重品は肌身離さず持ち歩く。公共交通機関を使用する際に身分証を求められることがあるため、パスポートを持ち歩くように言われた。</li> <li>• 特に日本人の女性はドイツでは小柄なので、治安や安全面は日本と同様に考えず、中央駅、川沿いの地下道など、治安が悪い場所には近づかないように心掛ける。</li> <li>• 財布をポケットにいれない、スマホや財布をカフェのテーブルに置きっぱなしにしない。</li> </ul>

2013年～2017年度協定校派遣生の報告書より

※上記のコメントはあくまでも留学経験者による個人的な意見を元に掲載しています。

## 2. 緊急連絡体制

留学前に留学中の緊急時の連絡体制を予め確認しておきましょう。

### 在留届の提出

3ヵ月以上海外に滞在する場合は、現地到着後住所等が決まり次第速やかに在外公館（日本大使館、領事館等）に「在留届」を提出することが旅券法で義務づけられています。この登録をしておくこと、日本政府からの緊急連絡や行政サービスを受けることができるとともに、パスポートの紛失や盗難など万一の場合、適切な助言を受けることができます（提出はFax、郵送、インターネット、持参でも可）。

「在留届」には、氏名、本籍、パスポート番号、海外での住所、留守宅などの連絡先等を記入することになっています。用紙は在外公館はもちろん、インターネットやFax、郵送でも入手できます。「在留届」を提出していないと、不測の事態が生じた場合の対応や日本の家族への連絡ができませんので、忘れずに手続きするようにしましょう。

外務省ウェブサイト：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/>

3ヵ月未満の海外滞在の場合には外務省の「たびレジ」に登録してください。

たびレジウェブサイト：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg>

在留届 外務省 ORRnet：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

### 関係者への滞在先の周知

家族と本学に留学中の滞在先の①住所、②電話番号（携帯含む）、③Fax番号、④メールアドレスを知らせておきましょう。緊急時に必ず連絡がつくようにすることが肝要です。なお、本学ウェブサイト（<http://www.tsuda.ac.jp/>）に海外滞在中の教職員学生向けの緊急を含むお知らせを掲載することがありますのでチェックするようにしてください。

## 本学関連部署の連絡先

〔関連部署〕	〔電話番号〕	〔Fax〕	〔Email〕
〈小平キャンパス〉			
国際センター	042-342-5164	042-342-5290	cie@tsuda.ac.jp
学生生活課	042-342-5132	042-342-5112	gakse00@tsuda.ac.jp
教務課	042-342-5130	042-342-5131	kyoumu@tsuda.ac.jp
学芸学部事務室			
英語英文学科	042-342-5150	042-342-5152	eiji@tsuda.ac.jp
国際関係学科	042-342-5155	042-342-5156	kokuji@tsuda.ac.jp
多文化・国際協力学科	042-342-5001	042-342-5156	tabunka-jimu@tsuda.ac.jp
数学科／情報科学科	042-342-5160	042-342-5161	suuji@tsuda.ac.jp
総務課	042-342-5111	042-341-2444	soumu@tsuda.ac.jp
守衛所（夜間休日受付）	042-342-5180		
〈千駄ヶ谷キャンパス〉			
千駄ヶ谷キャンパス事務室	03-6447-5911	03-6447-5913	sc-office@tsuda.ac.jp
防災管理室（夜間休日受付）	03-3478-7230		

### \*留学生危機管理サービス（OSSMA LOCATOR）の加入について

“留学”の学籍で留学する場合、学外学修に履修申請して参加する場合、あるいは大学主催の奨学金を利用して海外活動や語学研修に参加する場合、留学生危機管理サービス（OSSMA LOCATOR）に加入します。

渡航前に必ず基本登録を行ってください。

OSSMA LOCATOR では安否確認や危機管理に関する情報提供を行います。

### 本学への連絡

本学へのメールでの問い合わせ、連絡の際には本人確認の意味もあるので本学のGmailアドレス（@gm.tsuda.ac.jp）から送信してください。

### 留学先大学の担当部署への届け出

留学する大学に到着したら、担当部署（例：International Office）に連絡先等を届けるとともに、担当部署の電話番号やメールアドレスも入手し、緊急時の連絡体制を相互に確認しましょう。

※休暇等でどこかに出かけるときは、留学先大学に必ず行き先及び連絡先を伝えるようにしてください。

※緊急に日本に帰国する場合などは留学先大学だけではなく津田塾大学国際センターにも連絡してください。

※有事の場合には津田塾大学から留学中の学生に帰国勧告を行うことがあります。その際には必ず大学の指示に従ってください。

## Ⅸ 学外学修について

### 学外学修とは

#### 対象となる活動

津田塾大学における「学外学修」は、「主にギャップターム（第2ターム）期間を活用し、自律的に学外で学修する活動」と定め、キャンパスあるいはカリキュラムを超えて学ぶことを指します。

「学外学修」は、具体的には以下のような活動が含まれます。

- a) 国内外の民間企業、官公庁、NPO 等でのインターンシップ
- b) 国内外でのボランティア
- c) 海外での短期研修（協定校以外での語学研修も含む）
- d) 自主研究、自主プロジェクト
- e) 学外での学生会議やコンテスト

各活動については、以下に示す所定の手続きを経れば単位認定しますが、単位認定される活動は事前事後学習を含み7日間（週末含まず実働5日間）以上の活動のものが対象となります。学外学修センターでは概ね1か月以上の活動を奨励しています。

#### 休学中の場合

休学中に従事する活動についても、休学前に学外学修申請書を提出し、学外学修に関する科目の履修が認められれば学外学修の成果を復学後に単位認定することができます。詳しくは教務課に相談してください。

#### 各プログラムへの応募

各プログラムへの参加は、特記がない場合は個人による直接応募となります。応募、費用の支払い、渡航の手配、ビザ申請、宿泊先の手配等は各自で行ってください。本ハンドブックや学外学修センターで案内をしているプログラム以外でも単位認定の対象（審査あり）となります。詳細は学外学修センターにお問い合わせください。

#### 学外学修に関する科目

学外学修の単位修得を希望する場合、以下の3科目から該当する科目を選択してください。各科目は年間を通して随時履修登録が可能です。1年次から毎年履修することもできます。科目の詳細についてはシラバス、履修手続きについては「学外学修ハンドブック」で確認してください。

#### インDEPENDENTスタディ（1単位 [随意科目]）

##### 【活動例】

1. 海外の大学（協定校以外も含む）が実施しているサマープログラムに参加する。
2. 国内外で開催されている研究会、セミナー、討論大会、ビジネスコンペ、学生会議等に参加する。（事前学習1日間、事後学習1日間を含めて計7日間以上の活動期間であること）
3. 津田塾大学で開講されている授業科目以外、もしくは授業では取り上げないが関連する研究領域において、津田塾大学教員の指導の下自主的に実施する個別もしくはグループ研究活動に従事する。
4. 自らプロジェクトを企画し、実施する。

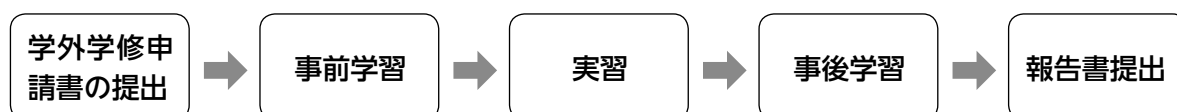
<b>インターンシップ（1単位【随意科目】）*</b>
<b>【活動例】</b> 1. 国内外の民間企業、官公庁、自治体、非営利組織、コミュニティ等でのインターンシップ（就労体験）（事前学習 1 日間、事後学習 1 日間を含めて計 7 日間以上の活動期間であること）
<b>サービスマーケティング（1単位【随意科目】）</b>
<b>【活動例】</b> 1. 国内外の非営利組織やコミュニティにおいて、5 日間以上の奉仕活動に参加する。（学内での事前学習 1 日、事後学習 1 日含めて計 7 日間以上） 2. 「キャンパス・ボランティア」として、津田塾大学のキャンパス内における大学の公式活動（塾祭運営支援等）に自発的に 5 日間以上参加する。（学内での事前学習 1 日、事後学習 1 日含めて計 7 日間以上）

※「随意科目」については、履修要覧で詳細を確認してください。これらの学外学修に関する科目は、履修登録制限（学芸学部：48 単位、総合政策学部：42 単位）には含まれません。また、GPA を算出する際の単位にも含まれません。

※総合政策学部の「インターンシップ」については、科目区分、単位認定の方法が異なります。詳しくは千駄ヶ谷キャンパス事務室にご確認ください。

### 学外学修の申請・履修の流れ

学外学修の申請は、原則実習開始の 2 週間前までに学外学修センターで行ってください。履修の流れは以下の通りです。詳細については学外学修センターにお問い合わせください。





## サマースクール協力校

以下に紹介するのは津田塾大学と協力関係にある大学で開講され、主に本学から派遣実績のあるプログラムの例です。(ここに記載されていないプログラムへの参加も単位認定の対象となります)

※協力校の都合により、記載内容が変更される場合があります。

### 南カリフォルニア大学 インターナショナルアカデミー

University of Southern California International Academy

ロスアンゼルスにあるアメリカ最難関校のひとつ。映画芸術学部が有名でスターウォーズのジョージルーカス監督も卒業生。ハリウッドやディズニーランドも近い。(インターナショナルアカデミーは付属語学学校)



コ ー ス	語学研修 Intensive English Program (週 20 時間) オプションで USC 生たちとの会話セッションもある。
開 講 時 期	2019 年 7 月 1 日～ 8 月 16 日 (7 週間)
参 加 費	\$3,575 + 諸経費、渡航費、滞在費 (2019 年度)
ウェブサイト	<a href="http://international.usc.edu/intensive-english-program/">http://international.usc.edu/intensive-english-program/</a>
応 募	個人応募 (学内とりまとめあり)
補 足	応募の際、東京在住の日本人スタッフによるサポートがあります。

### ジュネーブ国際・開発研究大学院

The Graduate Institute of International and Development Studies

スイス・ジュネーブにあり、国際関係分野では権威ある大学院。卒業生にアナン元国連事務総長など。周辺に UNHCR、ILO、WHO などの国連機関がある。サマープログラムは学部生も受講可。



コ ー ス	Summer Programme on the United Nations and Global Challenges
開 講 時 期	2019 年 8 月 19 日～ 8 月 30 日 (2 週間)
参 加 費	2,800CHF ※上記のほか、諸経費、渡航費、滞在費がかかります。(2018 年度)
ウェブサイト	<a href="http://graduateinstitute.ch/home/study/programmes/online-and-non-degree-programmes/summer_winter.html">http://graduateinstitute.ch/home/study/programmes/online-and-non-degree-programmes/summer_winter.html</a>
応 募	津田塾生特別枠あり
補 足	割引はありませんが、津田塾生向けに特別枠があります。

**ユトレヒト大学サマースクール**

Utrecht Summer School

オランダ・ユトレヒトにあり、オランダ国内大学ランキング1位。ユトレヒトはミッフィーの作者ディック・ブルーナの出身地。



コ ー ス	ヨーロッパの歴史、文化・芸術、ビジネスなど他分野にわたり数多くのコースがオファーされています。
開 講 時 期	コースによって異なりますが、多くは7月から開講。1週間のコースから4週間のものまであります。
参 加 費	コースによって異なります。受講料以外に、諸経費、渡航費、滞在費がかかります。
ウェブサイト	<a href="https://www.utrechtsummerschool.nl">https://www.utrechtsummerschool.nl</a>
応 募	個人応募（学内とりまとめあり）

**ブリティッシュコロンビア大学 バンクーバーサマープログラム**

University of British Columbia Vancouver Summer Program

カナダの名門校ブリティッシュコロンビア大学で開講されるサマープログラムです。語学研修ではなく、様々な分野の講義がオファーされています。Computer Engineering の分野、Arts の分野（ジャーナリズム、国際貿易/経済、政治）や Education の分野（英語教授法）などがあります。



コ ー ス	オファーされている講義群から2コースを選択。
開 講 時 期	7月13日～8月13日（4週間）
参 加 費	CAD\$5,250（カナダドル）+ 渡航費（2019年度）
ウェブサイト	<a href="https://vancouversummerprogram.ubc.ca/">https://vancouversummerprogram.ubc.ca/</a>
応 募	大学を通して応募（3月末締切）
補 足	3月末応募締切のため、2019年度の申し込みは終了

## X 留学 Q & A

### 留学準備

Q：在学中に1年間留学したいのですが、何から準備してよいかわかりません。

留学の目的、留学後の進路はどうするか等を検討し、留学の形態（協定校留学／私費留学）や開始時期、学校選びの条件を具体化する必要があります。まずはこの「津田塾生のための留学ハンドブック」をよく読んだ上で、インターネット等で情報収集をしてみましょう。学内で開催される説明会にもぜひ参加してください。

Q：TOEFLの点数がなかなか上がりません。

本学にはTOEFLやIELTSなどの語学試験対策講座があります。積極的に活用しましょう。また国際センターでは語学試験対策の本の貸出を行っています。利用してください。

### 協定校留学制度

Q：協定校に留学したいです。どのように選考するのですか？

毎年、春と秋に選考試験を実施します。まず、英語または留学先の大学で使用する言語に関する一次試験があります。次に、合格者に対して面接試験を行います。応募資格や募集人数は、協定校によって様々です。募集要項で確認してください。ほとんどの協定校が語学スコアの提出を求めていますので、早めにスコア取得の準備を開始してください。毎年4月に協定校留学説明会を実施しています。ぜひ参加してください。

Q：交換留学と派遣留学の違いは何ですか？

本学学生を派遣し、協定校からも留学生を受け入れる制度を「交換留学」と呼んでいます。「派遣留学」は本学学生を派遣するだけで、協定校からの受け入れはありません。派遣留学では留学先大学の授業料減免は一部大学を除きありませんが、履修、生活面においてどちらも同様のサービスを受けられます。

Q：協定校選考試験の倍率は高いですか？

協定校によって募集条件が異なるため（語学要求点、必要経費など）倍率はまちまちですが、一般的に言って語学スコアの高い大学、留学費用のかかる大学にはそれほど多くの応募はありません。年度によっても異なります。いずれにしても、協定校留学は津田塾大学の皆さんのための制度ですので、倍率などは気にせずに行きたい協定校があったら選考試験を受けてみてください。

## 費用・奨学金

Q：留学費用はどれくらいかかりますか？

為替レートにもよりますが、授業料はアメリカの州立大学で年間 100～400 万円程度、私立大学では年間 120～500 万円程度、英国の場合は年間 130～200 万円程度（文系）です。また、アメリカ・英国ともこのほかに年間 100～170 万円程度の生活費が必要です。協定校留学の場合は、協定の内容により異なります。

Q：留学のための奨学金について教えてください。

本学には学部生と大学院生を対象とした「津田塾大学海外留学（派遣・受入）奨学金」があります（給付）。前期と後期に募集があり、毎年 30 人程度受給しています。その他、日本政府や外国政府による奨学金、地方自治体や民間団体による奨学金、留学先大学による奨学金があります。学外の奨学金は一般的に申請締切が早いので、留学を思い立ったら同時に奨学金も調べましょう。（P.77～79 参照）

Q：留学中の津田塾大学の学費はどうなりますか？

※ 留学期間中の本学学費は在籍料相当額に減免されます。（協定校留学で本学学費全額減免の場合を除く）  
ただし、後期から留学を開始し、登録延期願を提出して翌年の前期に帰学し通年科目・前期科目を登録する場合は前期の学費は減免されません。（P.61・67 参照）

## 手続き

Q：留学する場合も留学先大学の入学試験を受けるのですか？

留学生用の入試はありません。願書、成績証明書、TOEFL などの語学スコア、推薦状、エッセーなどの書類の審査によって合否が決められます。語学力のみが足りない場合には、事前語学研修の参加や語学科目の履修を義務付ける「条件付入学許可」を出す大学もあります。

Q：推薦状は誰に書いてもらえばよいですか？

セミナーの先生あるいは自分を良く知っている先生に依頼しましょう。その際には推薦状を書くに困らないだけの十分な情報を提供してください。留学の動機やその大学を選んだ理由、留学先での学習計画、サークル活動、ボランティア活動、将来の希望などについてまとめたレジメに成績証明書や語学などのスコアをそえて依頼するとよいでしょう。締切までに十分な時間的余裕を持って丁寧にお願ひしてください。（詳しくは P.100 参照）

## 推薦状依頼の心得

外国の大学では推薦状は具体的な内容を求められます。美辞麗句を並べたものは効果がありません。自分を良く知っている（評価している）先生に依頼しましょう。その際には推薦状を書くに困らないだけの十分な情報を提供してください。また、時間的余裕を持って（1 ヶ月くらい）依頼しなければ断られることがありますので、注意してください。

### 1. 手 順

- ①依頼する先生に面会のアポイントメントを取る
- ②推薦人となってもらえるかどうか伺う
- ③必要な書類を持参する

### 2. 持参する書類

- ①所定用紙（あれば）
- ②郵送する必要があるれば切手を貼った返信用封筒
- ③レジメ（学科・学年・氏名、志願先大学名、志願理由、留学先での学習計画、サークル活動、ボランティア活動、将来の希望などについて書いたもの。氏名はパスポート記載のローマ字表記で。）
- ④成績通知書あるいは成績証明書のコピー
- ⑤ TOEFL や IELTS など語学能力証明書のコピー

### 3. 推薦人に伝える情報

- ①依頼時：推薦人が何人必要で、他に誰に依頼している（する）か  
何語で書くのか  
推薦状のあて先  
推薦状の送付（提出）先  
締切  
※奨学金のための推薦状の場合は奨学金とその奨学財団の概要、ならびに奨学金の必要性を説明する
- ②依頼後：締切までに送付（提出）してくれたか確認する  
出願先から受けた可否の結果を伝える
- ③留学後：帰国報告（会えない状況であれば手紙でも可）

Q：財政能力証明書を提出しなければなりません、どうすればよいのでしょうか。

留学期間中にかかる学費と生活費、雑費の合計を上回る額の預金がある銀行等で英文の残高証明書を作ってもらいます。ご両親などの口座を利用する場合には、口座名義人の名前で資金援助する旨を書いたサポートレターを添えてください。

【例1】口座名義人と本人が異なる場合のサポートレター

2-1-10 Tsuda-machi  
Kodaira-shi, Tokyo  
187-0025 JAPAN

March 20, 2018

To whom it may concern:

I hereby certify that the fund in my account of The Bank of Tsuda is available and will be provided for my daughter, Hanako Kokusai during her study at American State University from September 2018 through May 2019.

Sincerely yours,

*Masao Kokusai*  
Masao Kokusai

Q：複数の大学から入学許可をもらった場合、入学しない大学にはどのように断ればよいでしょう。

入学する大学を決めたら、他の大学には辞退の手紙を書きましょう。正式な受入れの書類(アメリカの場合I-20あるいはDS-2019)が届いていたら手紙と一緒に返送します。

【例2】入学辞退の手紙

2-1-10 Tsuda-machi  
Kodaira-shi, Tokyo  
187-0025 JAPAN

March 20, 2018

Dean of Admissions  
American State University  
Springfield, CA 95929  
USA

Dear Dean of Admissions:

Thank you for your letter stating that I have been admitted as a transfer student in the School of Social Science. Regretfully, I must decline your offer due to financial and personal reasons.

Thank you very much for your assistance in this matter.

Sincerely yours,

*Hanako Kokusai*  
Hanako Kokusai

## 就 職

Q：留学をして卒業がのびると就職に不利にならないですか？

留学のために大学卒業まで5年かかること（4年間で大学を卒業できないこと）が就職活動の際に不利に働くことはまずありません。また、留学経験が必ずしも有利に働くわけでもありません。留学経験を就職活動にどのように生かすかしっかりと考えることが大切です。(P.81～84も参考にしてください。)

※学籍に関するQ&Aは、P.60～61を参照してください。

## XI 留学データ

### (1) 津田塾大学生の国別留学者数

留学開始年度 留学先国	2013年		2014年		2015年		2016年		2017年	
アメリカ	34		35		25		28		26	(1)
カナダ	5		7		13		12	(1)	6	
メキシコ	1				1					
コスタリカ							1			
アルゼンチン							1		1	
フィンランド					1		1			
アイルランド			1		3		1			
英国	16	(2)	15	(1)	21		19	(2)	16	
スペイン	2		4		2				2	
オーストリア									1	(1)
フランス			2				2			
イタリア	1									
スウェーデン	2				1					
ドイツ					2					
エストニア	1									
ロシア					1		1			
中国	3		1		2		2		5	
台湾	3		2		2		5		2	
フィリピン	2		2		1		1		2	
マレーシア							2			
韓国	3		3		2		3		4	
オーストラリア	5		7		12		12		11	
ニュージーランド	1				3		3		1	
エジプト			1							
マルタ共和国			1							
オマーン			1							
パレスチナ							1			
合計人数	79	(2)	82	(1)	92	(0)	95	(3)	77	(2)

※協定校留学と語学留学を含む私費留学をあわせた留学者数（当該年度に留学を開始した人数）

※カッコ内は大学院生（内数）

## (2) 津田塾大学生の学科・学年別留学者数

留学開始年度		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	5年間計
学科・学年							
英 文 学 科	1年生	0	0	0	0	0	0
	2年生	1	1	1	0	0	3
	3年生	19	19	17	30	18	103
	4年生	20	16	23	17	13	89
国際関係学科	1年生	0	0	0	0	0	0
	2年生	0	1	1	1	0	3
	3年生	26	32	23	23	23	127
	4年生	9	8	21	17	19	74
数 学 科	1年生	0	0	0	0	0	0
	2年生	0	0	0	0	0	0
	3年生	0	0	1	1	0	2
	4年生	0	0	0	1	0	1
情 報 科 学 科	1年生	0	0	0	0	0	0
	2年生	1	0	0	0	0	1
	3年生	0	1	2	1	2	6
	4年生	1	0	3	1	0	5
総合政策学科	1年生	—	—	—	—	—	0

※ 協定校留学と語学留学を含む私費留学をあわせた留学者数（学部生のみ、当該年度に留学を開始した人数）



### (3) 津田塾生の主な留学先大学 (2014 ~ 2017 年度)

#### アメリカ

アーカディア大学  
 イースタン・ワシントン大学  
 インディアナ大学パーデュー大学  
 インディアナポリス\*  
 ウィチタ州立大学  
 ウェスタン・オレゴン大学  
 ウェスタン・ワシントン大学\*  
 ヴァルパライソ大学  
 エヴァンズビル大学  
 オハイオ大学  
 オレゴン州立大学  
 カリフォルニア大学アーバイン校  
 カリフォルニア大学サンディエゴ校  
 カリフォルニア大学デービス校\*  
 カリフォルニア大学リバーサイド校  
 カリフォルニア州立大学チョコ校  
 カリフォルニア州立大学ノースリッジ校  
 カリフォルニア州立大学ロングビーチ校  
 カンザス大学\*  
 キャンベルズビル大学  
 サラー・ロレンス大学\*  
 サンフランシスコ州立大学  
 スペルマン大学\*  
 テネシー工科大学  
 ネブラスカ大学オマハ校  
 ニューメキシコ州立大学  
 ハワイ大学ヒロ校  
 フィンドレー大学  
 ブリンマー大学\*  
 ベルビュー大学  
 マサチューセッツ大学ボストン校  
 ミドルテネシー州立大学  
 南オレゴン大学  
 ミネソタ州立大学モアヘッド\*  
 ミネソタ州立大学モアヘッド(私費留学)  
 モンタナ大学  
 モンロー大学  
 ランドルフ大学\*

#### 英国

アベリストウィス大学\*  
 ウェストミンスター大学  
 エセックス大学  
 エディンバラ大学\*  
 エディンバラ大学(私費留学)  
 オックスフォード・ブルックス大学  
 グラスゴー大学  
 グロスターシャー大学

ケント大学  
 サセックス大学  
 シェフィールド大学  
 ニューカッスル大学  
 バンガー大学  
 ブライトン大学  
 ブラッドフォード大学  
 ブリストル大学\*  
 ヨーク大学\*  
 ヨーク大学(私費留学)  
 ランカスター大学  
 リーズ大学(私費留学)  
 ロンドン大学ゴールドスミス校  
 ロンドン大学東洋アフリカ研究学院

#### カナダ

コンコルディア大学\*  
 トンプソンリバーズ大学  
 ビクトリア大学  
 プリンス・エドワード・アイランド大学\*  
 マギル大学\*

#### アイルランド

ダブリンシティ大学

#### オーストラリア

アデレード大学  
 ウーロンゴン大学  
 オーストラリア国立大学\*  
 クイーンランド工科大学  
 グリフィス大学  
 スウィンバーン工科大学  
 ディーキン大学  
 ニューキャッスル大学  
 フリンダーズ大学  
 メルボルン大学  
 ボンド大学  
 南オーストラリア大学  
 モナッシュ大学

#### ニュージーランド

オークランド大学

#### 韓国

国民大学\*  
 梨花女子大学\*

#### 中国

南京大学海外教育学院\*  
 復旦大学  
 北京外国語大学  
 香港樹仁大学\*

#### フィリピン

フィリピン大学\*

#### メキシコ

メトロポリタン自治大学\*

#### マレーシア

サンウェイ大学

#### 台湾

国立台湾大学  
 国立屏東大学  
 淡江大学\*

#### オーストリア

アッパーオーストリア応用科学大学

#### スウェーデン

ブレーキング工科大学\*

#### スペイン

アルカラ大学カルデナル・シスネロス校\*  
 (2016.4 協定終了)  
 サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学

#### ドイツ

ザールラント大学  
 ブレーメン応用科学大学\*

#### フィンランド

ヘルシンキ大学  
 ラップランド大学

#### ロシア

極東連邦大学

\* 協定校留学



TSUDA  
UNIVERSITY

津田塾生のための  
留学ハンドブック

発行日 2019年4月1日  
編集・発行 津田塾大学国際センター  
〒187-8577 東京都小平市津田町2-1-1  
☎042-342-5164  
印刷 株式会社文伸